令和５年度

教職員研修計画

京都府教育委員会

教職員研修計画について

教職員の研修については、地方公務員法第 39 条に定めるほか、特に教育公務員については、教育基本法第９条並びに教育公務員特例法第 21 条に絶えず研究と修養に努めることが定められ、同法第 23 条及び第 24 条には、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修の実施が義務付けられています。

グローバル化、情報化の進展等、社会が急速に変化するとともに、先行き不透明で予測困難な時代が到来する中、新しい時代の教育に対応できるよう学習指導要領等の趣旨を実現するため、教師の資質能力の向上に向けた環境を整えることが不可欠です。こうした状況を踏まえ、令和４年 12 月に中央教育審議会において『「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）』が取りまとめられました。そこでは今後の方向性として、子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）の実現が求められています。

京都府においては、平成 30 年３月に「求められる京都府の教員像」の見直しを図り、「京都府の教員に必要な５つの力」を掲げるとともに、教育公務員特例法第 22 条の３に基づき、職種や経験年数に応じて観点別に「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を策定しました。また、令和３年３月に策定した「第２期京都府教育振興プラン」、令和４年８月に国から示された「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」を基に、「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を改定しました。

本書は教育公務員特例法第 22 条の４に基づく研修計画として、教職員の主体的な資質能力の向上と京都府の教育課題の解決等に資することを目的に、「求められる京都府の教員像」「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」と、それらを踏まえ京都府総合教育センターが実施する研修講座の概要等を掲載しています。

各学校等における教職員の研修計画作成等の際には、本書の内容を十分に踏まえ、積極的な活用が図られるよう努めてください。

目　　次

求められる京都府の教員像 ---------- 1

京都府教員等の資質能力の向上に関する指標 ---------- 4

京都府総合教育センターの研修講座 ---------- ２２
単位制履修制度の概要 ---------- ２３
２～６年目研修講座 ---------- ２７
７～15年目研修講座 ---------- ２９
中堅教諭等資質向上研修講座 ---------- ３１
特別支援教育及び教育相談について深く学びたい場合の推奨講座 ---------- ３２
困難な状況におかれた子どもの支援について学びたい場合の受講モデルプラン ---- ３３
研修講座情報一覧（日付順）---------- ３４
「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧 ---------- ４８

研修講座の実施概要 ---------- ６０
研修講座の実施概要の見方 ---------- ６１
基本研修
初任期育成研修（101～） ---------- ６４
中堅教諭等資質向上研修（251～） ---------- １０２
専門研修
基本的資質能力（301～） ---------- １０６
人権（351～） ---------- １１２
学習指導（401～） ---------- １１６
生徒指導（451～） ---------- １３２
マネジメント（501～） ---------- １４０
チーム学校（551～） ---------- １４６
京都ならではの教育（601～） ---------- １５０
養護教諭としての専門領域（651） ---------- １５２
栄養教諭としての専門領域（701） ---------- １５４
事務職員講座（751～） ---------- １５６
指導者養成研修及び中核職員養成研修（901～） ---------- １６０
地域教育支援研修 ---------- １６４
（ ）内は講座番号

学校ＤＸ研修 ---------- １６６

講座の受講について ---------- １８２
オンライン・オンデマンド・Ｗｅｂ＋・ｅラーニング研修講座 ---------- １８３
Ｗｅｂコンテンツ視聴研修 ---------- １９０
出前講座 ---------- １９１
講師対象講座 ---------- １９３
京の教員特別セミナー ---------- １９５

研修講座の申込等 ---------- １９６

様　式 ---------- ２００

研修履歴一覧表の見方 ---------- ２０６

※「教職員研修計画」は、「様式」を含め総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードできます。

求められる京都府の教員像

京都府の教員に必要な５つの力

■気づく力

児童生徒一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも**気づくことができる力**

■伸ばす力

豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童生徒一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に**伸ばすことができる力**

■挑戦する力

探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、**挑戦することができる力**

■つながる力

他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員として**つながることができる力**

■展望する力

次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を**展望することができる力**

児童生徒の変化に「気づく力」

○　児童生徒への教育的愛情と、教職への使命感や情熱を有している。
○　高い人権意識や多様性を尊重する姿勢を持ち、自らが人権教育の担い手であるという自覚を有している。
○　児童生徒一人一人を深く理解し、その小さな変化を見逃さず、愛情と信頼と期待とで包み込みながら、受容的・共感的に関わることができる。
○　様々な要因により困難な状況におかれている児童生徒や、特別な配慮を必要とする児童生徒の状況を理解し、適切な支援を行うことができる。

児童生徒の可能性を「伸ばす力」

○　豊かな感性とコミュニケーション能力を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれている。
○　教科や教職に関する高い専門性と優れた指導力を有している。
○　高い授業力を有し、児童生徒に確かな学力をはぐくむことができる。
○　児童生徒一人一人の自己肯定感を高めながら、その個性や能力を引き出し、最大限に伸ばして、未来を切り拓く力をはぐくむことができる。

自らを高め、新たな課題に「挑戦する力」

○　自律的に学ぶ姿勢を持ち続け、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を教職生涯にわたって高め、教育改革の推進や教育課題の解決に積極的に取り組むことができる。
○　探究心や学び続ける姿勢を持ち、研修やＯＪＴ等を通じて自己研鑽に不断に取り組むとともに、同僚性の構築や若手教職員の人材育成に積極的に関わることができる。
○　適切なセルフマネジメントと効率的な業務の遂行に取り組み、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、人間性を高め、児童生徒への効果的な教育活動を行うことができる。

学校内外の多様な人材と「つながる力」

○　社会的良識と高いコンプライアンス意識を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域社会から信頼される。
○　組織の一員としての自覚を有し、自らの使命を理解して、役割を積極的に果たすことにより、学校運営に貢献することができる。
○　他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームの一員として、様々な教育改革や教育課題に組織的・協働的に対応することができる。

広い視野で未来を「展望する力」

○　広い視野で時代や社会、環境の変化を把握しながら、情報を適切に収集・選択・活用し、知識を有機的に結び付け構造化することができる。
○　様々な教育改革や複雑化・多様化する教育課題を的確に把握し、改革の実現や課題の解決に向け適切に対応することができる。
○　次代の京都府を担う人材や国際社会で活躍する人材を育成するために、京都の自然、歴史、伝統・文化について理解を深めるとともに、多様な文化に興味・関心を持ち、地域創生やグローバル化に対応した教育を推進できる。

京都府教員等の資質能力の向上に関する指標

京都府教育委員会

1 指標の構成

京都府教育委員会では、校種や職種に応じて、次の６つの指標を策定しましたので、該当する指標を資質能力の向上を図る際の目安としてください。

なお、特別支援学級の担任等については、それぞれの校種の指標とあわせて、特別支援学校の指標も参照してください。

■ 義務教育諸学校の指標

対象校種：小学校、中学校、義務教育学校

対象職種：首席副校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

■ 高等学校の指標

対象校種：高等学校

対象職種：首席副校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

■ 特別支援学校の指標

対象校種：特別支援学校

対象職種：首席副校長、副校長、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

□ 養護教諭の指標

対象校種：全ての校種

□ 栄養教諭の指標

対象校種：全ての校種

□ 校長の指標

対象校種：全ての校種

※ 指標の対象となる職種は、校長、首席副校長、副校長、教頭、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師（常時勤務の者及び地方公務員法第28条の５第１項に規定する短時間勤務の職を占めるものに限る。）です。ただし、教育公務員特例法施行令第２条に規定する臨時的に任用された者等を除きます。

2 指標におけるキャリアステージの考え方について

１　ステージの設定

教員一人一人が採用されて以降、長期的な視点をもって、計画的にキャリアアップを図っていくためには、教職生涯にわたる自らの成長像や節目を捉えることができる視点が欠かせないことから、指標には、成長段階として、５つのステージと目安となる採用後の経験年数を設定しています。

このステージや経験年数は、大学卒業後すぐに採用され、着任する教員を例に設定していますが、教員の着任時の年齢や経歴は様々で個人差があることから、一律に当てはめることが困難な場合も想定されます。このため、各教員は、指標のステージや経験年数を目安に、自身の経歴やキャリアを踏まえて自らが今どの位置にあるのかなどを常に省察しながら、キャリアアップを図っていくことが必要です。

また、教員が一定の経験を積んだ段階では、一人一人の経歴や経験の違いにより、学習指導や生徒指導等の各分野や領域ごとの専門性に差異が生じてしまう場合が想定されますので、特に経験が浅い、早いステージにおいては、全ての観点の資質能力をバランス良く身に付けるよう努力することが大切です。

２　ステージごとに求められる役割と資質能力

各ステージにおいて観点ごとに求められる具体的な資質能力については、指標で示していますが、以下では、各ステージがどのような段階で、大枠としてどのような役割や資質能力が求められるのかを示しています。

ステージ０（着任時・教職経験０年）

教職生涯の出発点において、教員養成課程を修了し、将来にわたって成長していく上で必要となる資質能力や知識の基本をしっかりと身に付けた段階であり、これらの資質能力や知識は、京都府教育委員会が任命権者として採用段階で志願者に求めるものであるとともに、大学等における教員養成の目標となるものである。

〈求められる資質能力〉

○　児童生徒への教育的愛情、教職への使命感や情熱、教員という職に適した基本的な人間性

○　学習指導や生徒指導をはじめとする教育活動全般にわたる基本的な知識と基礎的な指導技術

○　京都府の教育施策に対する知識と理解、その実現に向け他者と連携して取り組む意欲と姿勢

ステージ１（初任期・教職経験１年～６年）

大学等で学んだ知識や指導技術を生かしながら、初任者・新規採用者研修や２年目研修等の受講、日々の業務遂行におけるＯＪＴ等を通して、学習指導や生徒指導等の専門性や指導技術等の基礎・基本を身に付け、教職生涯の基盤を構築する段階

〈求められる資質能力〉

○　教育公務員としての自覚・使命感
○　管理職や先輩教職員等から積極的に学び、その学びを自身の教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）に生かす力
○　校務分掌組織の一員として、責任を持って役割を果たし、学校運営に参画しようとする意欲・態度

ステージ２（中堅期・教職経験７年～15年）

研修や経験を通して実践的指導力を高め、自己の指導スタイルを確立し、ミドルリーダーとして校務分掌の業務を遂行するとともに、先輩教職員から学びつつ、後輩教職員に対して経験や年齢が近い立場から助言するなど、人材育成に関わる段階

〈求められる資質能力〉

○　ミドルリーダーとしての自覚・責任感
○　安定した教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）と課題に応じた工夫ができる実践的指導力
○　校務分掌組織の中心として他の組織とも連携しながら学校運営に積極的に貢献できる力

ステージ３（充実期・教職経験16年～24年）

研修や経験を通して実践的指導力をさらに高めるとともに、学校内外に幅広い視野を持って教育実践を発展させながら、校務分掌組織の主任等として学校経営に参画し、同僚や後輩教職員への助言・支援も行うなど、中核教員としての役割を担う段階

〈求められる資質能力〉

○　中核教員としての、自己の役割と責任の自覚
○　これまでの教育実践を省察し、さらに積極的に実践的指導力を高める姿勢を有し、自らの経験をもとに同僚や後輩教職員に適切な助言・支援ができる優れた教育実践力
○　校務分掌組織をまとめて導くリーダー性、分掌間の連携を円滑に進める調整力

ステージ４（熟練期・教職経験25年～）

豊富な経験と継続的な自己研鑽に裏打ちされた優れた教育実践力、他の教職員の模範となる安定感や信頼感を有し、さらなる工夫・改善にも不断に取り組むとともに、各分野におけるリーダー（副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭等を含む。）として学校経営に積極的に参画する段階

〈求められる資質能力〉

○　学校内外におけるリーダーとしての自己の役割と責任の自覚
○　経験や高い専門性をもとに、広く周囲に適切な指導・助言ができる優れた教育実践力及び人材育成能力
○　企画力、実行力、分析力、判断力、リーダー性

学校経営に参画するためには、さらに以下の資質能力が求められる。

〈求められる資質能力〉

○　学校教育のさらなる充実に向けた改善意欲
○　学校教育目標の達成に向け、校長を補佐し円滑に組織を動かすマネジメント能力
○　教職員の服務、勤務時間、健康等の適切な管理ができる人事管理能力（管理職）

校長については、学校を統括する者としてのリーダーシップ等、校長に特に求められる資質能力を他の職と区別するため、別の指標を設けています。

【採用からの年数の目安について】

○　**ステージ１（初任期）**は、基礎・基本を形成する期間として、新規採用以降１年目から６年目として設定
○　**ステージ２（中堅期）**以降は、キャリアラインの分かれ目となる40歳代半ばまでの期間を９年ずつに分け、前期の７年目から15年目を中堅教諭等資質向上研修の対象となる期間を含む**ステージ２（中堅期）**、後期の16年目から24年目を**ステージ３（充実期）**として設定
○　**ステージ４（熟練期）**は、キャリアラインが分かれる時期である40歳代半ば以降の期間として設定

ステージ４（熟練期）の中に、「**学校経営への参画**」として、学校経営に参画するために必要な資質能力の枠を設定

指　　標

義務教育諸学校

観点	（主な要素）	ステージ0 着任時	ステージ1 初任期（1年～6年）
基本的資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。 ○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。 ○学習評価に関する基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。	○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。 ○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。	○担当する児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○同学年の教員と協力しながら、担任として責任をもって学級経営ができる。 ○キャリア教育の視点を生かした教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。	○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。	○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようと努力できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期（7年～15年）	充実期（16年～24年）	熟練期（25年～）	【学校経営への参画】
○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。	○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。	○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。
○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究について、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。	○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができ、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。	○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に不断に取り組み、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。	○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等を学校全体の取組として推進できる。 ○ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を学校全体の取組として推進できる。 ○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。
○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として児童生徒一人一人が尊重された学級経営を行うとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。 ○キャリア教育の視点を生かした効果的な教育活動全体の進行管理ができる。 ○情報モラル教育について、学校全体の取組として推進できる。
○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。	○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。	○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。

高等学校

観点	（主な要素）	ステージ0 着任時	ステージ1 初任期（1年～6年）
基本的資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする生徒への支援	○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。 ○教科・科目の内容についての専門的な知識がある。 ○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。 ○学習評価に関する基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。	○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を理解している。 ○生徒の興味を引き出す教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。
生徒指導	ホームルーム経営、生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	○生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。 ○ホームルーム担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。	○担当する生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。 ○生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。 ○生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○同学年の教員と協力しながら、担任として責任をもってホームルーム経営ができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、生徒の希望進路の実現に向けた指導ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。	○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。	○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようと努力できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期（7年～15年）	充実期（16年～24年）	熟練期（25年～）	【学校経営への参画】
○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。	○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。	○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。
○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○教科・科目に関する高い専門性を有し、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、効果的な授業を行うことができる。 ○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究について、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。	○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえつつ、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができ、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。	○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえつつ、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に不断に取り組み、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。	○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等を学校全体の取組として推進できる。 ○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえつつ、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を学校全体の取組として推進できる。 ○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。
○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。 ○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。 ○生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として生徒一人一人が尊重されたホームルーム経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。	○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○不登校やいじめ等の生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。	○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○不登校やいじめ等の生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。	○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。 ○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。 ○不登校やいじめ等の生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、効果的な教育活動全体の進行管理ができる。 ○情報モラル教育について、学校全体の取組として推進できる。
○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。	○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。	○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。

特別支援学校

観点	（主な要素）	ステージ0 着任時	ステージ1 初任期（1年～6年）
基本的資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○一人一人の児童生徒を大切にし、ICT等を有効に活用して、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。 ○それぞれの障害の特性を理解し、個別の指導計画や教育支援計画について基礎的な知識を有している。 ○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。 ○学習評価に関する基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。	○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく授業ができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○それぞれの障害の特性を理解し、生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。 ○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。	○担当する児童生徒の個性や学齢に応じた個別指導と集団指導に取り組むことができる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○同学年の教員と協力しながら、担任として責任をもって学級経営ができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。	○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。	○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようと努力できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期（7年～15年）	充実期（16年～24年）	熟練期（25年～）	【学校経営への参画】
○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。	○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○一人一人の児童生徒の特性に応じ、ICT等を有効に活用して、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○一人一人の児童生徒の特性に応じ、ICT等を有効に活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○一人一人の児童生徒の特性に応じ、ICT等を有効に活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。	○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。
○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究について、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく効果的な授業ができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。	○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づき、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができ、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。	○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づき、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に不断に取り組み、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。	○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等を学校全体の取組として推進できる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画に基づき、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を学校全体の取組として推進できる。 ○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。
○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として児童生徒一人一人の特性に合った学級経営を推進するとともに、学部全体の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。	○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動全体の進行管理ができる。 ○情報モラル教育について、学校全体の取組として推進できる。
○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。	○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。	○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。

養護教諭

観点	（主な要素）	ステージ0 着任時	ステージ1 初任期（1年～6年）
基本的資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
養護教諭としての専門領域	保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用、情報モラル教育	○養護教諭の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○児童生徒の怪我や病気、事故等への対応について、専門的な知識に基づき対応できる。 ○学習指導要領等及び学校保健安全法や保健管理、保健教育について基礎的な知識を有している。 ○健康相談や保健指導の基本的な方法を理解している。 ○保健組織活動の意義と重要性を理解している。 ○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務の改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。	○児童生徒の怪我や病気、事故等の対応について、専門的な知識に基づき、的確に対応し、指導できる。 ○児童生徒の発達段階に応じた健康課題を把握し、適切に対処できる。 ○保健教育における自身の役割を理解し、専門性を生かした保健教育ができる。 ○健康相談の基本的な過程を理解し、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談を実施できる。 ○保健室経営計画を作成し、児童生徒の課題に応じた保健室経営ができる。 ○保健組織活動を推進できるよう、企画運営に参画できる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして基本的な業務ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。	○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。	○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようと努力できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期（7年～15年）	充実期（16年～24年）	熟練期（25年～）	【学校経営への参画】
○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。	○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。	○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と他の教職員への指導ができる。
○児童生徒の怪我や病気、事故等への対応や未然防止について知識を深め、的確に対応できるとともに校内全体へ助言できる。 ○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めることができる。 ○児童生徒の実態に応じた保健教育を推進できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、次年度の取組に生かせる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう、内容の工夫や改善を図ることができる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。	○児童生徒の怪我や病気、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識をもち、的確に対処できるとともに校内全体へ助言できる。 ○児童生徒の心身の健康問題に対して、他の教職員への指導的役割を果たすことができる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう指導できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、養護教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、学校教育目標の実現に向けた取組ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の養護教諭に助言・支援できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。	○児童生徒の怪我や病気、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識をもち、的確に対応できるとともに校内だけでなく地域や府内へ発信できる。 ○近隣の学校と連携し、地域全体で健康づくりを進め、自らの実践を発信できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して養護教諭としての専門性を生かした助言ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の養護教諭に指導的役割を果たすことができる。 ○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。	○養護教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しをもった対応の方向性を示すことができる。
○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○専門性と中長期的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○専門性と中長期的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○中長期的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。	○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。	○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。

栄養教諭

観点	（主な要素）	ステージ0 着任時	ステージ1 初任期（1年～6年）
基本的資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
栄養教諭としての専門領域	学校給食の管理、食に関する指導、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用、情報モラル教育	○学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている。 ○衛生管理の重要性について理解し、適切に実施しようとしている。 ○学習指導要領等や食に関する指導について、基礎的な知識と基礎的な指導技術を有している。 ○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有している。 ○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を理解している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。	○学校給食実施基準に基づいた献立が作成できる。 ○適切な衛生管理の実施のため、調理従事者や施設設備の衛生等に関して日常的に点検・確認ができる。 ○学習指導要領等を理解し、食に関する指導の指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて的確に対応できる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かした基本的な業務ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。	○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。	○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようと努力できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深め、給食の献立の作成や食に関する指導と関連付けられる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期（7年～15年）	充実期（16年～24年）	熟練期（25年～）	【学校経営への参画】
○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。	○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。	○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。
○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成できる。 ○適切な衛生管理の実施のため、専門的な立場から他の教職員へ指導・助言を行うことができる。 ○学習指導要領等を理解し、教科・科目の指導内容と関連付けて食に関する指導を実施できる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員と連携して的確に対応できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。	○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校にも積極的に発信できる。 ○学習指導要領等を理解し、児童生徒の学習段階や系統性も踏まえ、食に関する指導を的確に実施できる。 ○食に関する健康課題や栄養相談について高度な専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員へ指導的役割を果たすことができる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、栄養教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に助言・支援できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。	○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校を含めてのリーダーとして、積極的に助言できる。 ○近隣の学校と連携し、食に関する指導、食中毒や食物アレルギー等の健康課題への対応等について、地域全体に向けて自らの実践を発信できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して栄養教諭としての専門性を生かした助言ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に指導的役割を果たすことができる。 ○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。	○栄養教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しをもった対応の方向性を示すことができる。
○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○専門性と中長期的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○専門性と中長期的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○中長期的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。	○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導を効果的に実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。	○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。

校長

観点	（主な要素）	校長に求められる資質能力
基本的資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○高潔清廉な人格で、心身ともに健康であり、児童生徒に対する深い愛情と教職への誇りをもって学校経営を行い、教職員、児童生徒、保護者等からの厚い信頼が確立されている。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、教職員の模範となる高いコンプライアンス意識を有し、教職員をまとめて組織的協働に繋げるために的確なコミュニケーションができる。 ○学校の最高責任者として広い視野と高い識見をもち、迅速で的確な判断・決断を行うことができる。 ○学校の最高責任者として高い使命感を持つとともに、自己を省察し職能を成長させるために学び続けることができる。 ○自校の役割やアイデンティティを確立し、明確に発信しながら、教職員と児童生徒に自校への誇りと愛着を醸成することができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	○高い人権感覚を有し、人権尊重の精神に基づく行動の模範となり、教職員を指導できる。 ○人権教育に関する高い識見を有し、あらゆる教育活動を通した人権教育を、年間を見通して計画的に推進できる。 ○教職員の人権意識の高揚と人権教育に関する実践力・指導力の向上に向け、日常的・系統的な研修等の取組を推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒への支援について、校内体制を確立し、その背景にある様々な状況を踏まえて関係機関とも連携しながら、課題解決に向けて統括できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮等を推進していくための校内体制の構築ができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の管理、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	○教育の動向を把握し、地域の実情も踏まえた適切な学校教育目標を策定し、その実現に向け、教職員を指揮・統率して取り組むことができる。 ○学習指導要領等の内容に精通し、教育課程の編成を統括し、学校の教育目標の実現に向けた教育活動を指揮・統率できる。 ○学習指導要領等の理念の実現、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向け、興味を引き出す教材研究や他の教職員との協働した授業研究等を通した授業改善を促すための校内体制を構築し、学校全体の取組を指揮・統率できる。 ○校内研修を活性化して課題を明確化させ、学校全体の授業改善を指揮・統率できる。
生徒指導	児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	○児童生徒に対する深い理解があり、受容的・共感的に関わることができるとともに、教職員が児童生徒に適切な指導・支援ができるよう、自らの経験に基づく的確な指導ができる。 ○児童生徒一人一人の状態の見立てに基づき、必要に応じて指導・支援のための校内体制を構築するとともに、保護者や関係機関と適切に連携できる。 ○キャリア教育の視点を生かした効果的な教育活動の進行管理を行うとともに、地域社会等との連携も含めた校内体制を構築できる。 ○いじめや不登校、生徒指導上の問題事象の未然防止や解決に向け、法や制度的な枠組みを踏まえ、危機管理意識と見通しをもって組織的な対応を指揮・統率できる。 ○教職員の情報活用力と情報モラル教育の実践力が向上するよう的確な指導ができる。
マネジメント	アセスメント、ビジョンやリーダーシップ、学校経営、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○データや学校の内外環境に関する情報の収集・分析から得た学校を取り巻く状況や自校の課題を踏まえた学校づくりのビジョンを定め、その実現に向けてリーダーシップを発揮しながら的確な学校経営を行うことができる。 ○自校の教職員の業務状況や健康状態を的確に把握し、教職員の意欲を最大限に引き出しつつ、多忙化の解消と効率的な業務の遂行のための管理ができる。 ○学校や地域の特色を踏まえつつ、社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進を指揮・統率できる。 ○組織のリーダーとして、危機管理マニュアルの的確な運用等、学校安全の確保に向けた危機管理及び危機対応を迅速で的確に行うことができる。
チーム学校	教職員の掌握と指導、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材との連携・協働（ファシリテーション）、人材育成	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な校内体制を構築し、活動を統括できる。 ○学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化できるよう、保護者や地域社会、専門家や関係機関、他の学校とビジョンを共有し、連携体制を構築して、教育目標の実現に向けた取組を指揮・統率できる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を指導・支援し、校内全体の人材育成を指揮・統率できる。 ○副校長・教頭や主幹教諭等の計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた次世代のリーダーを育成することができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○社会情勢や世の中の出来事に精通し、社会全体の大きな流れの中で教育のあるべき方向性を見据え、高い識見と豊かな教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向け、教育哲学や教育理念を周囲に伝播できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を構想し、組織的な取組として指揮・統率できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための学校全体の取組を指揮・統率できる。

京都府総合教育センターの研修講座

単位制履修制度の概要

京都府総合教育センターの研修については、「単位制履修制度」を採用しています。

１　趣旨

単位制履修制度は、教職員個々の意欲を大切にし、キャリアステージに応じた研修を計画的・継続的に受講できるようにすることを基本的な考え方としています。また、研修履歴を活用することで、今後の研修計画に生かし、計画的な人材育成につなげようとするものです。

２　単位数

(1) １講座の受講をもって１単位履修を基本とする。

(2) 国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会の実施する研修の一部も１～３単位として認定する。

３　研修の分類体系

◇基本研修　　…該当者全員を対象とする、初任期育成研修及び中堅教諭等資質向上研修

◇専門研修　　…専門的力量の向上をねらいとして行う研修（職能別研修を含む。）

◇指導者養成研修　…各学校や地域における指導者を養成することを目的とした研修

◇中核職員養成研修…各学校や地域で中核となる教員及び事務職員を養成することを目的とした研修

４　研修講座の分野と主な観点

各研修講座は、以下の４分野を、指標に定める主な観点に分類しています（基本研修を除く。）。

分野	主な観点
教科（事務職員は実務）	学習指導
領域等	基本的資質能力、人権、京都ならではの教育
コミュニケーション能力	生徒指導
チームマネジメント能力	マネジメント、チーム学校

５　研修年期に応じて求められる履修単位数

規定された研修年期に必要な単位数の講座を受講してください。

(1) 必修講座の履修単位数

ア　初任期育成研修【基本研修】

受講対象者	初任者・新規採用者研修	ステップアップ研修	
		新規採用者 令和５年度実施	２年目教員 令和６年度実施
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	20単位	－	８単位
幼稚園教諭、保育教諭	11単位	－	－
養護教諭、栄養教諭	16単位	－	－
実習助手、寄宿舎指導員	９単位	３単位	－
事務職員	８単位	－	－
学校図書館司書	７単位	－	－
学校施設管理職員	９単位	－	－

イ　中堅教諭等資質向上研修【基本研修】

「中堅教諭等資質向上研修講座（Ｐ．３１）」を参照してください。

(2) 選択講座の履修単位数

対象年期	履修単位数	頁
２～６年目	５単位：「２～６年目研修講座」を参照	27～28
７～15年目	９単位：「７～15年目研修講座」を参照	29～30
16年目以降	各分野・観点からできるだけ偏りなく選択し、計画的に受講	－

６　単位制履修制度早分かり表（教諭の場合）

教諭の生涯にわたる標準的な単位数は**６０単位**としています。この単位数には、国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定するものも含みます。

※今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、単位数を変更する場合もあります。

<table>
<tr><th colspan="3">必修</th><th>年</th><th>年期</th><th>標準的な単位
※１</th></tr>
<tr><td>初任期
育成研修</td><td>初任者研修</td><td>20単位</td><td>1</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td>２年目教員ステップアップ研修</td><td>８単位</td><td>2</td><td rowspan="4">２～６年目
※２</td><td rowspan="4">５単位</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>7</td><td rowspan="9">７～15年目
※３</td><td rowspan="9">９単位</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td></tr>
<tr><td colspan="2">中堅教諭等資質向上研修※４</td><td>５単位</td><td>10</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="8"></td><td rowspan="8"></td><td>11</td></tr>
<tr><td>12</td></tr>
<tr><td>13</td></tr>
<tr><td>14</td></tr>
<tr><td>15</td></tr>
<tr><td>16</td><td rowspan="3">16年目以降

○各分野・観点から偏りなく、計画的に受講すること</td><td rowspan="3">13単位

指導的力量向上に向けた標準的な単位</td></tr>
<tr><td>17</td></tr>
<tr><td>○管理職、主幹教諭、指導教諭等は職能に応じて受講すること。</td><td>・
・
・</td></tr>
<tr><td colspan="3">33単位</td><td></td><td></td><td>27単位</td></tr>
</table>

※１…「標準的な単位」は、選択講座等の履修単位数の合計
（研修履歴一覧表の「研修等履修状況」に記載）

※２…「２～６年目研修講座（Ｐ．２７～２８）」を参照

※３…「７～15年目研修講座（Ｐ．２９～３０）」を参照

※４…「中堅教諭等資質向上研修講座（Ｐ．３１）」を参照

7　事務職員のキャリアステージに応じて求められる単位数と履修内容

規定されたキャリアステージ在位中に必要な単位数の講座を受講してください。事務職員の選択講座等については、「研修講座情報一覧（日付順）（Ｐ．３４～４６）」を参照してください。

(1) 主事

講座種別	履修単位数
必修	主事１級在位中に**４単位**を受講 ※新規採用者研修の必修講座８単位を取得していれば、履修したものとする。
指定	指定講座の中から主事２級在位中に**１単位**を受講
選択	選択講座の中から主事在位中に**６単位**を受講

(2) 主任

講座種別	履修単位数
指定	指定講座の中から主任在位中に**３単位**を受講 主任：１単位、主任（係長相当職）：２単位
選択	選択講座の中から主任在位中に、各分野・観点からできるだけ偏りなく**４単位**を受講
※推薦により、次の講座を受講した場合、チームマネジメント能力の２単位として**選択**講座の受講単位に充当します。２単位を超えた場合は「総単位数」に充当します。 ・ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ ・小・中学校事務職員リーダー支援講座Ⅰ・Ⅱ	

(3) 事務主任・専門幹

講座種別	履修単位数
選択	選択講座の中から事務主任・専門幹在位中に、各分野・観点からできるだけ偏りなく**８単位**を受講

(4) 指定講座一覧

内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

※指定講座として次の講座を受講する場合は、申込講座番号９５１～９６１で申込をしてください。

講座番号欄に記載の講座番号で申込をした場合は、選択講座となります。

申込 講座番号	講座名 （副題を除く）	講座 番号	主事 ２級	主任	主任 （係長相当職）
９５１	ビジネスマナー講座（企業連携）	301	指定	指定	指定
９５２	コミュニケーション講座（企業連携）	302	指定	指定	指定
９５３	教職員のメンタルヘルス講座	313			指定
９５４	人権教育講座Ⅰ	352	指定	指定	指定
９５５	人権教育講座Ⅱ	353	指定	指定	指定
９５６	図書館教育講座	431		指定	指定
９５７	「今を生きる子どものこころ」講座	466		指定	指定
９５８	コミュニケーション発展講座（企業連携）	552			指定
９５９	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	553			指定
９６０	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ	753	指定	指定	
９６１	学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ	754	指定	指定	指定

８　単位制履修制度早分かり表（事務職員の場合）

事務職員の生涯にわたる標準的な単位数は**３０単位**としています。この単位数には、国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定するものも含みます。

※今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、単位数を変更する場合もあります。

<table>
<tr><th>標準職務
上の職位</th><th>職務の級</th><th>職名</th><th>キャリア
ステージ</th><th>必修・指定</th><th>選択及び
標準的な単位</th></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">１級</td><td rowspan="3">主事</td><td>新規採用者</td><td>８単位</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">主事</td><td>（４単位）※</td><td rowspan="2">６単位</td></tr>
<tr><td>２級</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>主任</td><td rowspan="2">３級</td><td>主任</td><td rowspan="2">主任</td><td>１単位</td><td rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>係長</td><td>主任
（係長相当職）</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>困難係長</td><td rowspan="2">４級</td><td rowspan="2">事務主任</td><td rowspan="3">事務主任
・
専門幹</td><td rowspan="3"></td><td>８単位</td></tr>
<tr><td>課長補佐</td><td>指導的力量向上に向けた標準的な単位</td></tr>
<tr><td>困難課長補佐</td><td>５級</td><td>専門幹</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">○事務長は職能に応じて受講すること。</td><td></td><td>12単位</td><td>18単位</td></tr>
</table>

※…新規採用者研修必修８単位を取得していれば、履修したものとする。

２～６年目研修講座

１　受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の２～６年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員　等

２　受講講座と受講単位数

受講対象者	２年目	２～６年目	合計
	必修	選択	
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	８単位	５単位	13単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員　等		４単位	４単位

必　修　**（講座ごとの申込は不要）**

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭は、以下の**８単位**を２年目に必ず受講してください。

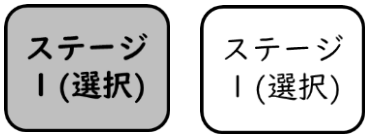
講座名	単位数
２年目教員「ステップアップ１～３」講座	３単位
２年目教員「テーマ研修」	５単位

※該当校に事前に要項及び受講対象者調査票兼申込書等の関係書類を別途送付します。その回答をもって受講手続きとしますので、講座ごとの受講申込は不要です。

選　択　**（要申込）**

２～６年目に受講してください。

選択講座に該当する講座は、**選択講座一覧表**を参照してください。また、研修講座の実施概要では、「ステージ」の欄に、右のアイコンを表示しています。



※推薦等により、次の講座を受講した場合、分野（観点）欄に記載の分野の２単位として**選択**講座の受講単位に充当できます。２単位を超えた分は「総単位数」に充当されます。

講座名	分野（観点）
小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ	教科（学習指導）

３　選択講座一覧表

次の一覧表を参照してください。

なお、受講対象校種及び内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

No	講座名	No	講座名
	【教　科】		
401	小学校国語科教育講座	406	小中算数科・数学科教育講座
402	小・中・高国語科の授業におけるＩＣＴ活用講座	407	高等学校数学科教育講座 ～ＩＣＴを効果的に活用した授業例から学ぶ～
403	中高国語科教育講座	408	小学校実技どんとこい！理科＆家庭科講座
404	小学校社会科教育講座	409	中学校理科授業づくり講座【授業構想編】 ～小中のつなぎとＩＣＴ活用を意識して～
405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座	410	中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】 ～小中のつなぎとＩＣＴ活用を意識して～

No	講座名	No	講座名
	【教　科】		
411	高等学校理科実験講座 ～ＩＣＴを活用した実験を授業へ～	427	幼児教育と小学校教育の架け橋講座
413	幼小特支「図画工作科の授業づくり」講座 ～造形遊びの指導とＩＣＴ活用～	428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座 ～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～
414	小学校実技どんとこい！ 「つくってみよう」音楽科＆図画工作科講座	431	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習・情報センターとしての在り方～
415	箏×尺八　合わせて奏でる和楽器基礎実技講座	432	小学校プログラミング教育講座
416	中高音楽「能の節を謡ってみよう＆タブレットでお囃子を創ろう」講座	433	中学校・高等学校プログラミング教育講座
417	中高美術講座～映像メディア表現～	434	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ⅰ
418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～	435	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ⅱ
419	小学校家庭科講座 ～深める授業づくりのためのＩＣＴ活用～	436	最新ＩＣＴ動向講座～Society5.0社会を学ぶ～
420	中高家庭科講座～これからの学習評価とＩＣＴを活用した授業づくり～	437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）
421	小中外国語教育講座～すぐに役立つ言語活動～	438	地球環境学講座
422	中高外国語科教育講座Ⅰ～言語活動を通した授業設計と評価～	439	特別支援学級における授業づくり講座 ～知的障害に焦点を当てて～
424	道徳科の授業実践力向上講座	440	聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座
425	総合的な学習（探究）の時間講座	441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座
426	中堅期へのジャンプアップ講座～個別最適化された学びを実現するＩＣＴ活用～		
	【領域等】		
301	ビジネスマナー講座（企業連携）	353	人権教育講座Ⅱ ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～
303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座 （企業連携）	354	子どもの貧困と学習支援講座
304	これからのＩＣＴ教育講座	601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ ～山城郷土資料館で学ぶ～
313	教職員のメンタルヘルス講座	602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ ～丹後郷土資料館で学ぶ～
351	スクールソーシャルワーク講座	651	養護教諭講座
352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～	701	栄養教諭・学校栄養職員講座
	【コミュニケーション能力】		
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	458	特別支援教育コーディネーター―推奨講座【基礎】
452	特別活動講座～よりよく合意形成を図る話合い活動を目指して～	459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座
453	学級、ホームルーム経営講座 ～学級、ホームルーム経営の充実を考える～	460	学校における教育相談講座【領域①②③】
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～	461	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～ 【領域①②③】（センター）
455	生徒指導講座 ～新しい「生徒指導提要」を理解する～	462	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～ 【領域①②③】（北部）
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座	466	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～	467	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～《ｅラーニング》
	【チームマネジメント能力】		
501	道徳教育の推進講座	551	特別支援教育コーディネーター―推奨講座【実践】
502	教育法規演習講座 ～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～		

７～15年目研修講座

１　受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の７～15年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員　等

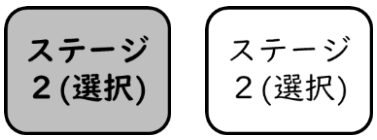
２　選択講座の受講単位数

受講対象者	単位数
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	**９単位**
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員	**７単位**
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員　等	**５単位**

選　択　**（要申込）**

７～15年目に受講してください。

選択講座に該当する講座は、**選択講座一覧表**を参照してください。また、研修講座の実施概要では、「ステージ」の欄に、右のアイコンを表示しています。



※推薦等により、次の講座を受講した場合、分野（観点）欄に記載の分野の２単位として**選択**講座の受講単位に充当できます。２単位を超えた分は「総単位数」に充当されます。

講座名	分野（観点）
ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ	チームマネジメント能力（マネジメント）
小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ	教科（学習指導）

３　選択講座一覧表

次の一覧表を参照してください。

なお、受講対象校種及び内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

※教育相談＜中級＞・＜上級＞講座（講座番号 463、464、465）は、受講条件があります（詳細は「特別支援教育及び教育相談について深く学びたい場合の推奨講座（Ｐ．３２）」を参照）。

No	講座名	No	講座名
	【教　科】		
401	小学校国語科教育講座	411	高等学校理科実験講座 ～ＩＣＴを活用した実験を授業へ～
402	小・中・高国語科の授業におけるＩＣＴ活用講座	412	最先端科学から学ぶ講座
403	中高国語科教育講座	413	幼小特支「図画工作科の授業づくり」講座 ～造形遊びの指導とＩＣＴ活用～
404	小学校社会科教育講座	414	小学校実技どんとこい！ 「つくってみよう」音楽科＆図画工作科講座
405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座	415	箏×尺八　合わせて奏でる和楽器基礎実技講座
406	小中算数科・数学科教育講座	416	中高音楽「能の節を謡ってみよう&タブレットでお囃子を創ろう」講座
407	高等学校数学科教育講座 ～ＩＣＴを効果的に活用した授業例から学ぶ～	417	中高美術講座～映像メディア表現～
408	小学校実技どんとこい！理科＆家庭科講座	418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～
409	中学校理科授業づくり講座【授業構想編】 ～小中のつなぎとＩＣＴ活用を意識して～	419	小学校家庭科講座 ～深める授業づくりのためのＩＣＴ活用～
410	中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】 ～小中のつなぎとＩＣＴ活用を意識して～	420	中高家庭科講座～これからの学習評価とＩＣＴを活用した授業づくり～

No	講座名	No	講座名
	【教　科】		
421	小中外国語教育講座～すぐに役立つ言語活動～	433	中学校・高等学校プログラミング教育講座
422	中高外国語科教育講座Ⅰ～言語活動を通した授業設計と評価～	434	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ⅰ
423	中高外国語科教育講座Ⅱ ～言語活動をデザインする～	435	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ⅱ
424	道徳科の授業実践力向上講座	436	最新ＩＣＴ動向講座～Society5.0社会を学ぶ～
425	総合的な学習（探究）の時間講座	437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）
427	幼児教育と小学校教育の架け橋講座	438	地球環境学講座
428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座 ～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～	439	特別支援学級における授業づくり講座 ～知的障害に焦点を当てて～
429	学力充実講座	440	聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座
431	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習・情報センターとしての在り方～	441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座
432	小学校プログラミング教育講座		
	【領域等】		
302	コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	353	人権教育講座Ⅱ ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～
303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座 （企業連携）	354	子どもの貧困と学習支援講座
304	これからのＩＣＴ教育講座	601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ ～山城郷土資料館で学ぶ～
313	教職員のメンタルヘルス講座	602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ ～丹後郷土資料館で学ぶ～
351	スクールソーシャルワーク講座	651	養護教諭講座
352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～	701	栄養教諭・学校栄養職員講座
	【コミュニケーション能力】		
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	460	学校における教育相談講座【領域①②③】
452	特別活動講座～よりよく合意形成を図る話合い活動を目指して～	461	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～ 【領域①②③】（センター）
453	学級、ホームルーム経営講座 ～学級、ホームルーム経営の充実を考える～	462	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～ 【領域①②③】（北部）
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～	463	教育相談＜中級＞講座Ⅱ ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】
455	生徒指導講座 ～新しい「生徒指導提要」を理解する～	464	教育相談＜中級＞講座Ⅲ～コロナ禍における不登校の理解と支援～【領域③】
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座	465	教育相談＜上級＞講座Ⅰ～思春期の子どものこころーネットの問題がどう影響しているのか～【領域①】
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～	466	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～
458	特別支援教育コーディネーター―推奨講座【基礎】	467	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～《ｅラーニング》
459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座		
	【チームマネジメント能力】		
501	道徳教育の推進講座	506	校内研修の充実講座Ⅱ～ＩＣＴを活用した校内研修～
502	教育法規演習講座 ～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	551	特別支援教育コーディネーター―推奨講座【実践】
503	ミドルからはじめるマネジメント講座	553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）
504	ミドルからはじめる学校の特色づくり講座	554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）
505	校内研修の充実講座Ⅰ～ミドルからはじめるカリキュラム・マネジメントの実践～		

中堅教諭等資質向上研修講座

１　受講対象者（対象者は別途通知します。）

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の中堅教諭等資質向上研修対象となる教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員

２　受講講座

講座		講座番号	実施日（視聴期間）	研修形態	会　場	受講対象
「共通」講座Ⅰ	a	251	６月 16 日(金)	Ｗｅｂ＋（オンライン）研修	各所属校（園）	受講者番号が奇数の方
	b	252	６月 26 日(月)	Ｗｅｂ＋（オンライン）研修	各所属校（園）	受講者番号が偶数の方
「共通」講座Ⅱ	a	253	７月 24 日(月)	オンライン研修	各所属校（園）	受講者番号が奇数の方
	b	254	８月４日(金)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者
				オンライン研修	各所属校（園）	受講者番号が偶数の方
「共通」講座Ⅲ	a	255	８月 18 日(金)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者
				オンライン研修	各所属校（園）	受講者番号が奇数の方
	b	256	８月 25 日(金)	オンライン研修	各所属校（園）	受講者番号が偶数の方
「共通」講座Ⅳ		257	11月８日(水)〜11 月 29 日(水)	ｅラーニング研修	各所属校（園）	全員
「共通」講座Ⅴ	a	258	１月 22 日(月)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者（受講者番号が奇数の方）
				オンライン研修	各所属校（園）	受講者番号が奇数の方
	b	259	２月９日(金)	集合研修	総合教育センター	対面受講希望者（受講者番号が偶数の方）
				オンライン研修	各所属校（園）	受講者番号が偶数の方

※講座ごとの受講申込は不要です。**詳細は、別途通知している「実施の手引き」を参照してください。**

※集合研修については、会場の都合等により抽選を行う場合があります。

３　欠席について

(1) 欠席する場合は、講座が始まるまでに、管理職から電話で連絡してください。

市町（組合）立学校　　：**地域教育支援部（0773-43-2934）と市町（組合）教育委員会**

府立学校（附属中学校含む）：**地域教育支援部（0773-43-2934）**

(2) 法定研修のため、欠席の場合は**欠席届（様式２）**を必ず**地域教育支援部へ直接提出**してください。

４　注意点

中堅教諭等資質向上研修対象者が「共通」講座以外のセンター研修を受講する場合は申込が必要です。その際、申込書（様式１）の教職経験「７〜15 年」は、**「2」（半角）**を選択してください。

特別支援教育及び教育相談について深く学びたい場合の推奨講座

＜特別支援教育＞　　※問合せ先：特別支援教育部（075-612-2953）

○特別支援教育コーディネーター養成を兼ねた推奨講座　特支Co

基礎	アセスメント	実践に生かす
４５８ 特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】	４４２ 心理検査から支援を深める講座 ※ただし、当講座は業務として心理検査を担当する者を対象とします。	４５７ 多様性を認め合える教科指導と学級経営講座～個別最適な学びと協働的な学びの実現～
５５１ 特別支援教育コーディネーター推奨講座【実践】	４５９　京都教育大学サテライト 「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座	

※上記の研修講座は指標やステージを参考に、各自のニーズに合わせて受講してください。

※実施概要欄の特支Co印は受講条件を示しているものではありません。どなたでも受講が可能です。

※「特別支援コーディネーター養成講座受講カード」の発行は、令和４年度末をもって終了しました。

＜教育相談＞　　※問合せ先：教育相談部（075-612-2959）

○教育相談について深く学びたい場合の推奨講座

＜初級＞ → ＜中級＞Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ → ＜上級＞Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

※本年度は中級Ⅱ・Ⅲのみ開講　　※本年度は上級Ⅰのみ開講

○ニーズに合わせて教育相談を学びたい場合の推奨講座

＜初級＞
４６１（センター）
４６２（北　部）
（いずれかの会場で受講）

※初級の受講に当たっては、以下の講座を受講することを推奨しています。

４６０　学校における教育相談講座（eラーニング研修）

【領域①】事例を見立てる力を付けたい
＜中級＞Ⅰ（Ｒ６年度実施予定）→ **４６５　＜上級＞Ⅰ**

【領域②】心のしくみについて知りたい
４６３　＜中級＞Ⅱ → ＜上級＞Ⅱ（Ｒ７年度実施予定）

【領域③】相談技法を学びたい
４６４　＜中級＞Ⅲ → ＜上級＞Ⅲ（Ｒ６年度実施予定）

＜中級・上級講座の受講条件＞※次の(1)、(2)のどちらかに該当すること。

(1) 初級講座を受講済である者
(2) 教育相談を学ぶ意欲が高い者や、校内の教育相談を推進する者
※「教育相談講座受講カード」の発行は、令和５年度末をもって終了します。
（これまでの研修履歴は受講管理システムの「研修講座一覧表」で確認することができます。）

※初級講座：臨床心理学の知見の基礎を学ぶ講座です。また、子どものこころの理解の基本や相談活動において「聴く」ことの重要性について学びます。

困難な状況におかれた子どもの支援について学びたい場合の受講モデルプラン

基本モデルプラン

更に学びを深めたい場合

○子どもの貧困対策・スクールソーシャルワークを学ぶ

- ３５１　スクールソーシャルワーク講座
- ３５４　子どもの貧困と学習支援講座

更に学びを深めたい場合：

- ３５２　人権教育講座Ⅰ
- ３５３　人権教育講座Ⅱ
- ４６６「今を生きる子どものこころ」講座
- ４６７「今を生きる子どものこころ」講座《ｅラーニング》

○教育相談を学ぶ

＜初級＞
４６１（センター）
４６２（ 北　部 ）

※初級の受講に当たっては、以下の講座の受講を推奨しています。

４６０　学校における教育相談講座（ｅラーニング研修）

事例を見立てる力をつけたい
＜中級＞Ⅰ（Ｒ６年度実施予定）

心のしくみについて知りたい
４６３　＜中級＞Ⅱ

相談技法を学びたい
４６４　＜中級＞Ⅲ

更に学びを深めたい場合：

- ４６５　＜上級＞Ⅰ
- ＜上級＞Ⅱ（Ｒ７年度実施予定）
- ＜上級＞Ⅲ（Ｒ６年度実施予定）

○特別支援教育を学ぶ

- ４５８　特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】
- ５５１　特別支援教育コーディネーター推奨講座【実践】

更に学びを深めたい場合：

- ４４２　心理検査から支援を深める講座 ※業務として心理検査を担当する者を対象としています。
- ４５７　多様性を認め合える教科指導と学級経営講座
- ４５９　京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座

研修講座情報一覧（日付順）

一覧表では、各研修講座の「日付、講座番号、講座名、研修区分、受講対象、研修形態、会場、研修概要掲載ページ」の情報を示しています。

１　記号、表記

(1) 研修区分

講座番号	研修区分	表記
101～259	基本研修	法定研
301～755	専門研修	一般
901～911	指導者養成研修及び中核職員養成研修	推薦
951～961	事務職員指定講座	指定

(2) 受講対象

ア　対象ステージ

	基本研修（法定研）	ステージ		選択講座に該当する講座		受講不可
		主な受講対象	受講可能	主な受講対象	受講可能	
記号	■	◎	○	◎選	○選	－

イ　事務職員

	選択講座	受講が可能となるステージ	指定講座	別途通知	受講不可
記号	◎	○	指定	別途	－

ウ　講師

	受講可	受講不可
記号	○	－

(3) 研修形態

「研修講座の実施概要の見方（Ｐ．６１～６２）」を参照してください。

(4) 会場

会場名	表記
京都府総合教育センター	センター
京都府総合教育センター北部研修所	北部研修所
各所属校（園）	各所属校（園）
その他	その他

２　その他

各研修講座の詳細については「研修講座の実施概要（Ｐ．６０～１６５）」を参照してください。

4月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中・7～15	16～24	25～
3	月	101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		102	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
13	木	103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座a	法定研	■	―	―	―
20	木	104	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座b	法定研	■	―	―	―
27	木	124	初任者研修「小学校教科教育１」講座A	法定研	■	―	―	―
28	金	175	新規採用者研修「幼稚園教諭・保育教諭１」講座	法定研	■	―	―	―
4月公開動画		195	新規採用者研修「学校事務職員１」講座	法定研	―	―	―	―
		200	新規採用者研修「学校施設管理職員１」講座	法定研	―	―	―	―
		221	2年目教員「ステップアップ１」講座	法定研	■	―	―	―

5月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中・7～15	16～24	25～
11	木	125	初任者研修「小学校教科教育１」講座B	法定研	■	―	―	―
		138	初任者研修「中学校教科教育１」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		139	初任者研修「中学校教科教育１」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
18	木	152	初任者研修「高等学校教科教育１」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		153	初任者研修「高等学校教科教育１」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
		167	初任者研修「特別支援学校１」講座	法定研	■	―	―	―
		192	新規採用者研修「実習助手１」講座	法定研	■	―	―	―
19	金	509	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座	一般	―	―	―	◎
		755	府立学校新任事務長講座	一般	―	―	―	―
25	木	109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座a	法定研	■	―	―	―
26	金	434	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅰ	一般	◎選	◎選	◎	◎
29	月	KT1	講師対象講座Ⅰ（センター）	一般	―	―	―	―
30	火	KT2	講師対象講座Ⅱ（北部）	一般	―	―	―	―
5月公開動画		309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	一般	―	―	―	◎
		460	学校における教育相談講座【領域①②③】	一般	◎選	◎選	○	○
		753	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ	一般	―	―	―	―
		960	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ【指定】	指定	―	―	―	―

6月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中・7～15	16～24	25～
1	木	110	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座b	法定研	■	―	―	―
2	金	406	小中算数科・数学科教育講座	一般	○選	◎選	○	○
		451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	一般	◎選	◎選	◎	○
		901	小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ	推薦	○選	◎選	○	○
5	月	438	地球環境学講座	一般	◎選	◎選	◎	◎
8	木	120	初任者研修「学級、ホームルーム経営・教育相談」講座a	法定研	■	―	―	―
		178	新規採用者研修「養護教諭１」講座	法定研	■	―	―	―
		185	新規採用者研修「栄養教諭１」講座	法定研	■	―	―	―
9	金	403	中高国語科教育講座	一般	○選	◎選	○	○
12	月	311	府立特別支援学校総括主事講座	一般	―	―	―	◎
13	火	179	新規採用者研修「養護教諭２」講座	法定研	■	―	―	―
		186	新規採用者研修「栄養教諭２」講座	法定研	■	―	―	―
		405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座	一般	○選	◎選	○	○
		439	特別支援学級における授業づくり講座～知的障害に焦点を当てて～	一般	◎選	○選	○	○
		510	最新教育動向講座Ⅰ	一般	○	○	◎	○
		603	京の教育「みやび」講座	一般	―	―	○	◎

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	4月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
101	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	65	3	月
102	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	65		
103	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	65	13	木
104	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	66	20	木
124	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	72	27	木
175	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	89	28	金
195	ー	ー	ー	ー	ー	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	96	4月公開動画	
200	ー	ー	ー	ー	ー	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	98		
221	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	99		

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	5月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
125	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	73	11	木
138	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	77		
139	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	77		
152	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	82	18	木
153	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	82		
167	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	87		
192	ー	ー	ー	ー	ー	ー	※P．95参照	その他	95		
509	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	143	19	金
755	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	158		
109	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	67	25	木
434	○	○	○	○	○	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	128	26	金
KT1	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	193	29	月
KT2	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	193	30	火
309	ー	ー	ー	ー	ー	ー	eラーニング研修	各所属校（園）	109	5月公開動画	
460	◎	◎	◎	◎	○	○	eラーニング研修	各所属校（園）	136		
753	○	◎	◎	○	○	○	eラーニング研修	各所属校（園）	157		
960	ー	指定	指定	ー	ー	ー	eラーニング研修	各所属校（園）	157		

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	6月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
110	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	68	1	木
406	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	118	2	金
451	○	○	○	○	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	133		
901	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	161		
438	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	その他	129	5	月
120	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	71	8	木
178	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	90		
185	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	93		
403	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	117	9	金
311	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	110	12	月
179	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	91	13	火
186	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	93		
405	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	118		
439	◎	◎	◎	◎	○	○	Web＋研修（集合）	その他	129		
510	○	○	○	○	○	ー	オンライン研修	各所属校（園）	144		
603	ー	ー	ー	○	○	ー	集合研修	その他	151		

6月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
15	木	121	初任者研修「学級、ホームルーム経営・教育相談」講座b	法定研	■	―	―	―
		193	新規採用者研修「実習助手２」講座	法定研	■	―	―	―
16	金	251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰａ	法定研	―	■	―	―
		404	小学校社会科教育講座	一般	○選	◎選	○	○
19	月	440	聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座	一般	◎選	○選	○	○
		909	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅠ	推薦	―	―	―	◎
20	火	196	新規採用者研修「学校事務職員２」講座	法定研	―	―	―	―
		198	新規採用者研修「学校図書館司書１」講座	法定研	―	―	―	―
		201	新規採用者研修「学校施設管理職員２」講座	法定研	―	―	―	―
		904	ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ	推薦	―	○選	◎	○
22	木	126	初任者研修「小学校教科教育２」講座A	法定研	■	―	―	―
		154	初任者研修「高等学校教科教育２」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		155	初任者研修「高等学校教科教育２」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
		168	初任者研修「特別支援学校２」講座	法定研	■	―	―	―
23	金	462	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）	一般	○選	◎選	○	○
26	月	252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰｂ	法定研	―	■	―	―
27	火	176	新規採用者研修「幼稚園教諭・保育教諭２」講座	法定研	■	―	―	―
		427	幼児教育と小学校教育の架け橋講座	一般	◎選	◎選	○	○
		907	小・中学校事務職員リーダー支援講座Ⅰ	推薦	―	―	―	―
29	木	127	初任者研修「小学校教科教育２」講座B	法定研	■	―	―	―
		140	初任者研修「中学校教科教育２」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		141	初任者研修「中学校教科教育２」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
30	金	424	道徳科の授業実践力向上講座	一般	○選	◎選	○	○
		461	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）	一般	○選	◎選	○	○
6月公開動画		119	初任者研修「地域連携・情報教育」講座	法定研	■	―	―	―
		301	ビジネスマナー講座（企業連携）	一般	◎選	○	○	○
		951	ビジネスマナー講座（企業連携）【指定】	指定	―	―	―	―
		429	学力充実講座【１回目】	一般	○	○選	◎	○
		456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座	一般	◎選	○選	○	○
		501	道徳教育の推進講座	一般	◎選	◎選	◎	◎
		503	ミドルからはじめるマネジメント講座	一般	○	○選	◎	○
		751	実務初任者「学校事務職員」講座	一般	―	―	―	―
		304	これからのICT教育講座	一般	◎選	◎選	◎	◎

7月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
3	月	354	子どもの貧困と学習支援講座	一般	○選	○選	◎	○
		407	高等学校数学科教育講座～ICTを効果的に活用した授業例から学ぶ～	一般	○選	○選	◎	○
4	火	421	小中外国語教育講座～言語活動を通した授業設計と評価～	一般	○選	◎選	◎	○
5	水	452	特別活動講座～よりよく合意形成を図る話合い活動を目指して～	一般	◎選	○選	○	○
6	木	174	初任者研修「特別支援学校授業参観」講座	法定研	■	―	―	―
7	金	180	新規採用者研修「養護教諭３」講座	法定研	■	―	―	―
		187	新規採用者研修「栄養教諭３」講座	法定研	■	―	―	―
		401	小学校国語科教育講座	一般	○選	◎選	○	○
		507	危機管理講座Ⅰ	一般	○	○	○	◎
10	月	437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）	一般	○選	◎選	○	○
14	金	305	校長講座	一般	―	―	―	◎
18	火	197	新規採用者研修「学校事務職員３」講座	法定研	―	―	―	―
		202	新規採用者研修「学校施設管理職員３」講座	法定研	―	―	―	―
24	月	253	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱａ	法定研	―	■	―	―
25	火	105	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座a	法定研	■	―	―	―

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	6月	
	主事		主任		事務主任 専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
121	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	71	15	木
193	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	95		
251	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	103	16	金
404	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	118		
440	◎	◎	◎	◎	○	○	Web＋研修（集合）	その他	130	19	月
909	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	ー		
196	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	96	20	火
198	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	その他	97		
201	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	98		
904	ー	ー	別途	別途	別途	ー	オンライン研修	各所属校（園）	162		
126	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	73	22	木
154	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	82		
155	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	83		
168	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	87		
462	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	北部研修所	136	23	金
252	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	103	26	月
176	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	90	27	火
427	○	○	○	○	○	○	集合研修	北部研修所	125		
907	ー	ー	別途	別途	別途	ー	集合研修	センター	163		
127	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	73	29	木
140	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	78		
141	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	78		
424	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	124	30	金
461	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	136		
119	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	71	6月 公開動画	
301	◎	◎	◎	◎	○	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	107		
951	ー	指定	指定	指定	ー	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	107		
429	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	126		
456	◎	◎	◎	◎	○	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	134		
501	◎	◎	◎	◎	○	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	141		
503	ー	◎	◎	◎	○	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	141		
751	○	○	○	○	○	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	157		
304	○	○	○	○	○	○	eラーニング研修	各所属校（園）	108		

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	7月	
	主事		主任		事務主任 専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
354	○	○	○	○	○	○	Web＋研修（集合）	センター	114	3	月
407	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	119		
421	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	123	4	火
452	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	133	5	水
174	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	89	6	木
180	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	91	7	金
187	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	93		
401	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	117		
507	ー	ー	ー	ー	○	ー	集合研修	センター	143		
437	○	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	129	10	月
305	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	108	14	金
197	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	97	18	火
202	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	98		
253	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	103	24	月
105	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	その他	66	25	火

7月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
26	水	106	初任者･新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座b	法定研	■	―	―	―
		129	初任者研修「小学校教科教育３」講座B	法定研	■	―	―	―
		203	新規採用者研修「学校施設管理職員４」講座	法定研	―	―	―	―
		414	小学校実技どんとこい！「つくってみよう」音楽科＆図画工作科講座	一般	◎選	○選	○	○
		752	校務講座	一般	―	―	―	―
27	木	107	初任者･新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座c	法定研	■	―	―	―
		128	初任者研修「小学校教科教育３」講座A	法定研	■	―	―	―
		351	スクールソーシャルワーク講座	一般	○選	◎選	○	○
28	金	108	初任者･新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座d	法定研	■	―	―	―
		188	新規採用者研修「栄養教諭４」講座	法定研	■	―	―	―
		701	栄養教諭･学校栄養職員講座	一般	◎選	◎選	○	○
31	月	130	初任者研修「小学校教科教育４」講座	法定研	■	―	―	―
		411	高等学校理科実験講座～ICTを活用した実験を授業へ～	一般	◎選	◎選	○	○
7月 公開動画		426	中堅期へのジャンプアップ講座～個別最適化された学びを実現するICT活用～	一般	◎選	○	―	―
		455	生徒指導講座～新しい「生徒指導提要」を理解する～	一般	◎選	◎選	○	○
		458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】	一般	○選	◎選	○	○
		312	管理職「教育の情報化推進」講座	一般	―	―	―	◎

8月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
1	火	131	初任者研修「小学校教科教育５」講座	法定研	■	―	―	―
		307	府立学校副校長講座シリーズⅠ	一般	―	―	―	◎
2	水	156	初任者研修「高等学校教科教育３」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		157	初任者研修「高等学校教科教育３」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
		169	初任者研修「特別支援学校３」講座	法定研	■	―	―	―
3	木	142	初任者研修「中学校教科教育３」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		143	初任者研修「中学校教科教育３」講座（北部）※一部別日開催	法定研	■	―	―	―
		601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～	一般	○選	◎選	○	○
4	金	254	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱb	法定研	―	■	―	―
		314	絵本のひみつ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～研修講座（奈良県連携）	一般	○	◎	○	○
		466	「今を生きる子どものこころ」講座～今、あらためて不登校を考える～	一般	○選	◎選	○	○
		957	「今を生きる子どものこころ」講座～今、あらためて不登校を考える～【指定】	指定	―	―	―	―
7	月	118	初任者･新規採用者研修共通「人権教育･特別支援教育」講座	法定研	■	―	―	―
		506	校内研修の充実講座Ⅱ～ICTを活用した校内研修～	一般	○	○選	◎	○
8	火	181	新規採用者研修「養護教諭４」講座	法定研	■	―	―	―
		402	小･中･高国語科の授業におけるICT活用講座	一般	○選	◎選	○	○
		419	小学校家庭科講座～深める授業づくりのためのICT活用～	一般	○選	◎選	○	○
		422	中高外国語科教育講座Ⅰ～授業でできる即興型英語とディベート～	一般	○選	◎選	◎	○
		651	養護教諭講座	一般	◎選	◎選	○	○
9	水	352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～	一般	○選	◎選	○	○
		954	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～【指定】	指定	―	―	―	―
		408	小学校実技どんとこい！理科＆家庭科講座	一般	◎選	○選	○	○
		418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～	一般	◎選	◎選	○	○
17	木	122	初任者研修「道徳教育･生徒指導」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		416	中高音楽「能の節を謡ってみよう＆タブレットでお囃子を創ろう」講座	一般	○選	◎選	○	○
18	金	123	初任者研修「道徳教育･生徒指導」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
		255	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲa	法定研	―	■	―	―
		441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導･支援講座	一般	◎選	○選	○	○

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	7月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
106	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	その他	66	26	水
129	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	74		
203	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	99		
414	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	121		
752	○	○	○	○	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	157		
107	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	その他	67	27	木
128	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	74		
351	○	○	○	○	○	○	集合研修	センター	113		
108	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	その他	67	28	金
188	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	94		
701	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	155		
130	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	74	31	月
411	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	120		
426	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	125	7月公開動画	
455	◎	◎	◎	◎	○	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	134		
458	◎	◎	◎	◎	○	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	135		
312	ー	ー	ー	ー	ー	ー	eラーニング研修	各所属校（園）	110		

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	8月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
131	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	75	1	火
307	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	109		
156	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	83	2	水
157	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	83		
169	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	87		
142	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	78	3	木
143	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	79		
601	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	その他	151		
254	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	104	4	金
314	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	111		
466	◎	◎	◎	◎	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	138		
957	ー	ー	指定	指定	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	138		
118	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	70	7	月
506	ー	○	○	○	○	ー	Web＋研修（集合）	センター	142		
181	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	91	8	火
402	ー	ー	ー	ー	ー	○	オンライン研修	各所属校（園）	117		
419	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	123		
422	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	124		
651	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	153		
352	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	113	9	水
954	ー	指定	指定	指定	ー	ー	集合研修	センター	113		
408	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	119		
418	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	122		
122	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	72	17	木
416	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	122		
123	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	72	18	金
255	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	104		
441	◎	◎	◎	◎	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	130		

8月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
21	月	302	コミュニケーション講座～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	一般	○	◎選	○	○
		952	コミュニケーション講座～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）【指定】	指定	―	―	―	―
		409	中学校理科授業づくり講座【授業構想編】～小中のつなぎとICT活用を意識して～	一般	◎選	○選	○	―
22	火	222	2年目教員「ステップアップ2」講座a（センター）	法定研	■	―	―	―
		223	2年目教員「ステップアップ2」講座a（北部）※一部別日開催	法定研	■	―	―	―
23	水	224	2年目教員「ステップアップ2」講座b（センター）	法定研	■	―	―	―
		413	幼小特支「図画工作科の授業づくり」講座～造形遊びの指導とICT活用～	一般	◎選	◎選	○	○
24	木	132	初任者研修「小学校教科教育6」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		133	初任者研修「小学校教科教育6」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
		415	箏×尺八　合わせて奏でる和楽器基礎実技講座	一般	◎選	○選	○	―
		902	小学校理科授業力向上講座シリーズⅡ	推薦	○選	◎選	○	○
25	金	199	新規採用者研修「学校図書館司書2」講座	法定研	―	―	―	―
		256	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲb	法定研	―	■	―	―
		431	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習・情報センターとしての在り方～	一般	◎選	◎選	○	○
		956	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習・情報センターとしての在り方～【指定】	指定	―	―	―	―
29	火	551	特別支援教育コーディネーター推奨講座【実践】	一般	○選	◎選	○	○
31	木	113	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座a	法定研	■	―	―	―
8月公開動画		453	学級、ホームルーム経営講座～学級、ホームルーム経営の充実を考える～	一般	◎選	◎選	○	○
		502	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	一般	○選	○選	◎	◎
		310	新任管理職「ハラスメント防止」講座	一般	―	―	―	◎
		436	最新ICT動向講座～Society5.0社会を学ぶ～	一般	◎選	◎選	◎	○

9月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
4	月	433	中学校・高等学校プログラミング教育講座	一般	◎選	◎選	○	○
5	火	182	新規採用者研修「養護教諭5」講座	法定研	■	―	―	―
7	木	114	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座b	法定研	■	―	―	―
8	金	432	小学校プログラミング教育講座	一般	◎選	◎選	○	―
		464	教育相談＜中級＞講座Ⅲ～コロナ禍における不登校の理解と支援～【領域③】	一般	○	◎選	○	○
12	火	189	新規採用者研修「栄養教諭5」講座	法定研	■	―	―	―
		442	心理検査から支援を深める講座	一般	○	○	◎	○
14	木	115	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座c	法定研	■	―	―	―
15	金	910	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅡ	推薦	―	―	―	◎
19	火	905	ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ	推薦	―	○選	◎	○
21	木	116	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座d	法定研	■	―	―	―
		170	初任者研修「特別支援学校4」講座	法定研	■	―	―	―
22	金	303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	一般	○選	◎選	○	○
26	火	177	新規採用者研修「幼稚園教諭・保育教諭3」講座	法定研	■	―	―	―
28	木	144	初任者研修「中学校教科教育4」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		145	初任者研修「中学校教科教育4」講座（北部）※一部別会場	法定研	■	―	―	―
29	金	459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座	一般	○選	○選	◎	○
		508	危機管理講座Ⅱ	一般	○	○	○	◎
9月公開動画		504	ミドルからはじめる学校の特色づくり講座	一般	○	○選	◎	○
		467	「今を生きる子どものこころ」講座～今、あらためて不登校を考える～《eラーニング》	一般	○選	◎選	○	○

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	8月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
302	◎	◎	◎	◎	○	○	オンライン研修	各所属校(園)	107	21	月
952	ー	指定	指定	指定	ー	ー	オンライン研修	各所属校(園)	107		
409	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修(集合)	その他	119		
222	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	99	22	火
223	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	100		
224	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	100	23	水
413	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	121		
132	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	75	24	木
133	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	75		
415	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	121		
902	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	161		
199	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	97	25	金
256	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校(園)	104		
431	○	○	◎	◎	○	○	集合研修	その他	127		
956	ー	ー	指定	指定	ー	ー	集合研修	その他	127		
551	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	北部研修所	147	29	火
113	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修(集合)	センター	69	31	木
453	○	○	○	○	ー	○	オンデマンド研修	各所属校(園)	133	8月公開動画	
502	○	○	◎	◎	○	ー	オンデマンド研修	各所属校(園)	141		
310	ー	ー	ー	ー	ー	ー	eラーニング研修	各所属校(園)	110		
436	○	○	○	○	○	○	eラーニング研修	各所属校(園)	128		

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	9月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
433	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	127	4	月
182	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修(オンライン)	各所属校(園)	92	5	火
114	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修(集合)	センター	69	7	木
432	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	127	8	金
464	○	○	○	○	○	○	集合研修	センター	137		
189	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	94	12	火
442	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	130		
115	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修(集合)	センター	69	14	木
910	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	ー	15	金
905	ー	ー	別途	別途	別途	ー	オンライン研修	各所属校(園)	162	19	火
116	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修(集合)	センター	70	21	木
170	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	88		
303	○	◎	◎	◎	ー	○	オンライン研修	各所属校(園)	107	22	金
177	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	90	26	火
144	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	79	28	木
145	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	79		
459	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	その他	135	29	金
508	ー	ー	ー	ー	○	ー	集合研修	センター	143		
504	ー	◎	◎	◎	○	ー	オンデマンド研修	各所属校(園)	142	9月公開動画	
467	◎	◎	◎	◎	○	○	eラーニング研修	各所属校(園)	138		

10月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
2	月	308	府立学校副校長講座シリーズⅡ	一般	―	―	―	◎
		428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～	一般	○選	◎選	○	○
5	木	158	初任者研修「高等学校教科教育４」講座（センター）※一部別日開催	法定研	■	―	―	―
		159	初任者研修「高等学校教科教育４」講座（北部）※一部別日開催	法定研	■	―	―	―
6	金	754	学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ	一般	―	―	―	―
		961	学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ【指定】	指定	―	―	―	―
12	木	117	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座e	法定研	■	―	―	―
16	月	552	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～（企業連携）	一般	―	○	◎	○
		958	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～（企業連携）【指定】	指定	―	―	―	―
17	火	183	新規採用者研修「養護教諭６」講座	法定研	■	―	―	―
		553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	一般	―	○選	◎	○
		959	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）【指定】	指定	―	―	―	―
19	木	151	初任者研修「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座	法定研	■	―	―	―
		166	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座	法定研	■	―	―	―
20	金	412	最先端科学から学ぶ講座	一般	○	◎選	○	○
		420	中高家庭科講座～これからの学習評価とICTを活用した授業づくり～	一般	○選	◎選	○	○
23	月	306	副校長・教頭・事務長講座	一般	―	―	―	◎
24	火	602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～	一般	○選	◎選	○	○
26	木	136	初任者研修「小学校授業参観」講座A	法定研	■	―	―	―
		171	初任者研修「特別支援学校５」講座	法定研	■	―	―	―
27	金	425	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	一般	◎選	◎選	○	○
31	火	313	教職員のメンタルヘルス講座	一般	○選	◎選	○	○
		953	教職員のメンタルヘルス講座【指定】	指定	―	―	―	―
10月公開動画		430	全国学力・学習状況調査活用講座	一般	○	○	○	○

11月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
2	木	150	初任者研修「中学校授業参観」講座	法定研	■	―	―	―
6	月	465	教育相談＜上級＞講座Ⅰ～思春期の子どものこころ－ネットの問題がどう影響しているのか～【領域①】	一般	○	○選	◎	○
7	火	190	新規採用者研修「栄養教諭６」講座	法定研	■	―	―	―
9	木	137	初任者研修「小学校授業参観」講座B	法定研	■	―	―	―
		194	実習助手「ステップアップ」講座	法定研	■	―	―	―
10	金	906	ミドルリーダー養成講座シリーズⅢ	推薦	―	○選	◎	○
16	木	160	初任者研修「高等学校教科教育５」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		161	初任者研修「高等学校教科教育５」講座（北部）※一部別会場	法定研	■	―	―	―
17	金	554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）	一般	―	○選	◎	○
21	火	353	人権教育講座Ⅱ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～	一般	◎選	◎選	○	○
		955	人権教育講座Ⅱ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～【指定】	指定	―	―	―	―
		435	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅱ	一般	◎選	◎選	◎	◎
24	金	457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座～個別最適な学びと協働的な学びの実現～	一般	○選	◎選	○	○
		911	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅢ	推薦	―	―	―	◎
27	月	511	最新教育動向講座Ⅱ	一般	―	―	○	◎
30	木	146	初任者研修「中学校教科教育５」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		147	初任者研修「中学校教科教育５」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
		172	初任者研修「特別支援学校６」講座	法定研	■	―	―	―
		463	教育相談＜中級＞講座Ⅱ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】	一般	○	◎選	○	○
11月公開動画		505	校内研修の充実講座Ⅰ～ミドルからはじめるカリキュラム・マネジメントの実践～	一般	○	○選	◎	○
		257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳ	法定研	―	■	―	―

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	10月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
308	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	109	2	月
428	○	○	○	○	○	○	集合研修	北部研修所	126		
158	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	84	5	木
159	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	84		
754	○	◎	◎	◎	○	○	集合・オンライン研修	その他	158	6	金
961	ー	指定	指定	指定	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	158		
117	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	70	12	木
552	ー	○	◎	◎	○	ー	オンライン研修	各所属校（園）	147	16	月
958	ー	ー	ー	指定	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	147		
183	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	92	17	火
553	ー	○	◎	◎	○	ー	オンライン研修	各所属校（園）	147		
959	ー	ー	ー	指定	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	147		
151	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	81	19	木
166	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	86		
412	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	その他	120	20	金
420	ー	ー	ー	ー	ー	○	オンライン研修	各所属校（園）	123		
306	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	108	23	月
602	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	その他	151	24	火
136	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	76	26	木
171	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	88		
425	ー	ー	ー	ー	ー	○	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	125	27	金
313	◎	◎	◎	◎	○	○	集合研修	センター	111	31	火
953	ー	ー	ー	指定	ー	ー	集合研修	センター	111		
430	ー	ー	ー	ー	ー	○	オンデマンド研修	各所属校（園）	126	10月公開動画	

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	11月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
150	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	81	2	木
465	○	○	○	○	○	○	集合研修	センター	137	6	月
190	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	94	7	火
137	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	その他	77	9	木
194	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	96		
906	ー	ー	別途	別途	別途	ー	オンライン研修	各所属校（園）	162	10	金
160	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	84	16	木
161	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	85		
554	○	○	◎	◎	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	148	17	金
353	◎	◎	◎	◎	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	113	21	火
955	ー	指定	指定	指定	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	113		
435	○	○	○	○	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	128		
457	◎	◎	◎	◎	○	○	オンライン研修	各所属校（園）	135	24	金
911	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	ー		
511	○	◎	◎	◎	○	ー	集合・オンライン研修	その他	144	27	月
146	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	80	30	木
147	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	80		
172	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	88		
463	○	○	○	○	○	○	集合研修	北部研修所	137		
505	ー	◎	◎	◎	○	ー	オンデマンド研修	各所属校（園）	142	11月公開動画	
257	ー	ー	ー	ー	ー	ー	eラーニング研修	各所属校（園）	105		

12月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
1	金	417	中高美術講座～映像メディア表現～	一般	◎選	◎選	○	○
		454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～	一般	○選	◎選	○	○
5	火	184	新規採用者研修「養護教諭7」講座	法定研	■	―	―	―
		191	新規採用者研修「栄養教諭7」講座	法定研	■	―	―	―
		423	中高外国語科教育講座Ⅱ～言語活動をデザインする～	一般	○	◎選	◎	○
12	火	429	学力充実講座【2回目】	一般	○	○選	◎	○
14	木	162	初任者研修「高等学校教科教育6」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		163	初任者研修「高等学校教科教育6」講座（北部）※一部別日開催	法定研	■	―	―	―
25	月	225	2年目教員「ステップアップ3」講座（センター）※一部別形態	法定研	■	―	―	―
		226	2年目教員「ステップアップ3」講座（北部）	法定研	■	―	―	―

1月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
18	木	134	初任者研修「小学校教科教育7」講座A	法定研	■	―	―	―
		148	初任者研修「中学校教科教育6」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		149	初任者研修「中学校教科教育6」講座（北部）	法定研	■	―	―	―
22	月	258	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴａ	法定研	―	■	―	―
23	火	908	小・中学校事務職員リーダー支援講座Ⅱ	推薦	―	―	―	―
25	木	135	初任者研修「小学校教科教育7」講座B	法定研	■	―	―	―
		164	初任者研修「高等学校教科教育7」講座（センター）	法定研	■	―	―	―
		165	初任者研修「高等学校教科教育7」講座（北部）※一部別日開催	法定研	■	―	―	―
		173	初任者研修「特別支援学校7」講座	法定研	■	―	―	―
26	金	410	中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】～小中のつなぎとICT活用を意識して～	一般	◎選	○選	○	―
30	火	903	小学校理科授業力向上講座シリーズⅢ	推薦	○選	◎選	○	○

2月			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
1	木	111	初任者研修「教育実践」講座	法定研	■	―	―	―
		112	新規採用者研修「教育実践」講座	法定研	■	―	―	―
9	金	259	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴｂ	法定研	―	■	―	―

※別途通知			講座名	研修区分	対象ステージ			
日	曜	No			1	2	3	4
					初・２～６	中･7～15	16～24	25～
		211	初任者研修「他校種体験研修1」講座	法定研	■	―	―	―
		212	初任者研修「他校種体験研修2」講座	法定研	■	―	―	―
		213	幼稚園等新規採用教員研修「テーマ研修」	法定研	■	―	―	―
		214	新規採用者「テーマ研修（計画立案）」	法定研	■	―	―	―
		215	新規採用者「テーマ研修（実践研究）」	法定研	■	―	―	―
		231	2年目教員「テーマ研修」	法定研	■	―	―	―

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	12月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
417	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	センター	122	1	金
454	○	○	○	○	○	ー	Web＋研修（オンライン）	各所属校（園）	134		
184	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	92	5	火
191	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	北部研修所	95		
423	ー	ー	ー	ー	ー	○	オンライン研修	各所属校（園）	124		
429	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Web＋研修（集合）	センター	126	12	火
162	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	85	14	木
163	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	85		
225	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	100	25	月
226	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	101		

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	1月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
134	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	76	18	木
148	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	80		
149	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	81		
258	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	105	22	月
908	ー	ー	別途	別途	別途	ー	集合研修	北部研修所	163	23	火
135	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	76	25	木
164	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	86		
165	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	北部研修所	86		
173	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	89		
410	ー	ー	ー	ー	ー	○	集合研修	北部研修所	120	26	金
903	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	161	30	火

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	2月	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
111	ー	ー	ー	ー	ー	ー	オンライン研修	各所属校（園）	68	1	木
112	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合研修	センター	68		
259	ー	ー	ー	ー	ー	ー	集合・オンライン研修	その他	105	9	金

No	事務職員					講師	研修形態	会場	頁	※別途通知	
	主事		主任		事務主任専門幹					日	曜
	1級	2級	主任	係長							
211	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー		
212	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー		
213	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー		
214	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー		
215	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー		
231	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー		

「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧

一覧表では、基本研修を除く各研修講座の「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」における観点と受講対象となるステージを示しています。

１　記号

(1) 観点

	主な観点	講座内容に含まれる観点
記号	★	▽

(2) ステージ

	主な受講対象となるステージ	受講が可能となるステージ
記号	◎	○

２　その他

各研修講座の詳細については「研修講座の実施概要（Ｐ．６０～１６５)」を参照してください。

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「基本的資質能力」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
301	ビジネスマナー講座（企業連携）	★									◎	○	○	○	107
302	コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	★			▽	▽	▽	▽			○	◎	○	○	107
303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	★				▽	▽				○	◎	○	○	107
304	これからのICT教育講座	★	▽	▽	▽						◎	◎	◎	◎	108
305	校長講座	★	▽			▽	▽							◎	108
306	副校長・教頭・事務長講座	★												◎	108
307	府立学校副校長講座シリーズⅠ	★	▽			▽	▽							◎	109
308	府立学校副校長講座シリーズⅡ	★	▽			▽	▽							◎	109
309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	★	▽			▽	▽							◎	109
310	新任管理職「ハラスメント防止」講座	★	▽			▽	▽							◎	110
311	府立特別支援学校総括主事講座	★				▽	▽							◎	110
312	管理職「教育の情報化推進」講座	★		▽		▽	▽							◎	110
313	教職員のメンタルヘルス講座	★									○	◎	○	○	111
314	絵本のひみつ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～研修講座（奈良県連携）	★				▽					○	◎	○	○	111
421	小中外国語教育講座 ～言語活動を通した授業設計と評価～	▽		★				▽			○	◎	◎	○	123
422	中高外国語科教育講座Ⅰ ～授業でできる即興型英語とディベート～	▽		★				▽			○	◎	◎	○	124
424	道徳科の授業実践力向上講座	▽		★							○	◎	○	○	124
432	小学校プログラミング教育講座	▽		★	▽						◎	◎	○		127
433	中学校・高等学校プログラミング教育講座	▽		★	▽						◎	◎	○	○	127
434	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅰ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
435	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅱ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
436	最新ICT動向講座～Society5.0社会を学ぶ～	▽		★							◎	◎	◎	○	128
437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）	▽	▽	★	▽	▽					○	◎	○	○	129
438	地球環境学講座	▽		★				▽			◎	◎	◎	◎	129
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	▽	▽	▽	★						◎	◎	◎	○	133
501	道徳教育の推進講座	▽		▽		★					◎	◎	◎	◎	141
502	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	▽				★					○	○	◎	◎	141
552	コミュニケーション発展講座 ～人材育成に生かす～（企業連携）	▽				▽	★	▽				○	◎	○	147
553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	▽	▽		▽	▽	★	▽				○	◎	○	147
554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）	▽			▽	▽	★	▽				○	◎	○	148

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「人権」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
351	スクールソーシャルワーク講座		★		▽						○	◎	○	○	113
352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～		★			▽	▽	▽			○	◎	○	○	113
353	人権教育講座Ⅱ ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～		★				▽				◎	◎	○	○	113
354	子どもの貧困と学習支援講座		★								○	○	◎	○	114
304	これからのICT教育講座	★	▽	▽	▽						◎	◎	◎	◎	108
305	校長講座	★	▽			▽	▽							◎	108
307	府立学校副校長講座シリーズⅠ	★	▽			▽	▽							◎	109
308	府立学校副校長講座シリーズⅡ	★	▽			▽	▽							◎	109
309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	★	▽			▽	▽							◎	109
310	新任管理職「ハラスメント防止」講座	★	▽			▽	▽							◎	110
434	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅰ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
435	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅱ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）	▽	▽	★	▽	▽					○	◎	○	○	129
439	特別支援学級における授業づくり講座 ～知的障害に焦点を当てて～		▽	★							◎	○	○	○	129
440	聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座		▽	★							◎	○	○	○	130
441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座		▽	★					▽	▽	◎	○	○	○	130
442	心理検査から支援を深める講座		▽	★							○	○	◎	○	130
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	▽	▽	▽	★						◎	◎	◎	○	133
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座		▽	▽	★				▽	▽	◎	○	○	○	134
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～		▽	▽	★				▽	▽	○	◎	○	○	135
458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】		▽		★		▽		▽	▽	○	◎	○	○	135
459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座		▽		★				▽	▽	○	○	◎	○	135
509	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座		▽			★								◎	143
551	特別支援教育コーディネーター推奨講座【実践】		▽				★				○	◎	○	○	147
553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	▽	▽		▽	▽	★	▽				○	◎	○	147

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

1 「学習指導」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
401	小学校国語科教育講座			★							○	◎	○	○	117
402	小・中・高国語科の授業におけるICT活用講座			★							○	◎	○	○	117
403	中高国語科教育講座			★							○	◎	○	○	117
404	小学校社会科教育講座			★							○	◎	○	○	118
405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座			★							○	◎	○	○	118
406	小中算数科・数学科教育講座			★							○	◎	○	○	118
407	高等学校数学科教育講座 ～ICTを効果的に活用した授業例から学ぶ～			★							○	○	◎	○	119
408	小学校実技どんとこい！理科＆家庭科講座			★							◎	○	○	○	119
409	中学校理科授業づくり講座【授業構想編】 ～小中のつなぎとICT活用を意識して～			★							◎	○	○		119
410	中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】 ～小中のつなぎとICT活用を意識して～			★							◎	○	○		120
411	高等学校理科実験講座 ～ICTを活用した実験を授業へ～			★							◎	◎	○	○	120
412	最先端科学から学ぶ講座			★							○	◎	○	○	120
413	幼小特支「図画工作科の授業づくり」講座 ～造形遊びの指導とICT活用～			★							◎	◎	○	○	121
414	小学校実技どんとこい！ 「つくってみよう」音楽科＆図画工作科講座			★							◎	○	○	○	121
415	箏×尺八　合わせて奏でる和楽器基礎実技講座			★				▽			◎	○	○		121
416	中高音楽「能の節を謡ってみよう＆タブレットでお囃子を創ろう」講座			★				▽			○	◎	○	○	122
417	中高美術講座～映像メディア表現～			★							◎	◎	○	○	122
418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～			★							◎	◎	○	○	122
419	小学校家庭科講座 ～深める授業づくりのためのICT活用～			★							○	◎	○	○	123
420	中高家庭科講座 ～これからの学習評価とICTを活用した授業づくり～			★							○	◎	○	○	123
421	小中外国語教育講座 ～言語活動を通した授業設計と評価～	▽		★				▽			○	◎	◎	○	123
422	中高外国語科教育講座Ⅰ ～授業でできる即興型英語とディベート～	▽		★				▽			○	◎	◎	○	124
423	中高外国語科教育講座Ⅱ ～言語活動をデザインする～			★				▽			○	◎	◎	○	124
424	道徳科の授業実践力向上講座	▽		★							○	◎	○	○	124
425	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座			★			▽				◎	◎	○	○	125
426	中堅期へのジャンプアップ講座 ～個別最適化された学びを実現するICT活用～			★							◎	○			125
427	幼児教育と小学校教育の架け橋講座			★	▽	▽					◎	◎	○	○	125
428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～			★	▽	▽					○	◎	○	○	126
429	学力充実講座			★			▽				○	○	◎	○	126
430	全国学力・学習状況調査活用講座			★							○	○	○	○	126

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

1 「学習指導」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
431	図書館教育講座～調べ学習を支援する学習・情報センターとしての在り方～			★							◎	◎	○	○	127
432	小学校プログラミング教育講座	▽		★	▽						◎	◎	○		127
433	中学校・高等学校プログラミング教育講座	▽		★	▽						◎	◎	○	○	127
434	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅰ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
435	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅱ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
436	最新ICT動向講座～Society5.0社会を学ぶ～	▽		★							◎	◎	◎	○	128
437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）	▽	▽	★	▽	▽					○	◎	○	○	129
438	地球環境学講座	▽		★				▽			◎	◎	◎	◎	129
439	特別支援学級における授業づくり講座 ～知的障害に焦点を当てて～		▽	★							◎	○	○	○	129
440	聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座		▽	★							◎	○	○	○	130
441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座		▽	★					▽	▽	◎	○	○	○	130
442	心理検査から支援を深める講座		▽	★							○	○	◎	○	130
304	これからのICT教育講座	★	▽	▽	▽						◎	◎	◎	◎	108
312	管理職「教育の情報化推進」講座	★		▽		▽	▽							◎	110
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	▽	▽	▽	★						◎	◎	◎	○	133
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～			▽	★		▽	▽			○	◎	○	○	134
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座		▽	▽	★				▽	▽	◎	○	○	○	134
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～		▽	▽	★				▽	▽	○	◎	○	○	135
501	道徳教育の推進講座	▽		▽		★					◎	◎	◎	◎	141
506	校内研修の充実講座Ⅱ～ICTを活用した校内研修～			▽		★	▽				○	○	◎	○	142
510	最新教育動向講座Ⅰ			▽		★					○	○	◎	○	144
601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ ～山城郷土資料館で学ぶ～			▽				★			○	◎	○	○	151
602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ ～丹後郷土資料館で学ぶ～			▽				★			○	◎	○	○	151

2 「学習指導」に関する推薦講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
901	小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ			★							○	◎	○	○	161
902	小学校理科授業力向上講座シリーズⅡ			★							○	◎	○	○	161
903	小学校理科授業力向上講座シリーズⅢ			★							○	◎	○	○	161

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「生徒指導」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	**生指**	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座	▽	▽	▽	★						◎	◎	◎	○	133
452	特別活動講座 ～よりよく合意形成を図る話合い活動を目指して～				★						◎	○	○	○	133
453	学級、ホームルーム経営講座 ～学級、ホームルーム経営の充実を考える～				★		▽				◎	◎	○	○	133
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～			▽	★		▽	▽			○	◎	○	○	134
455	生徒指導講座 ～新しい「生徒指導提要」を理解する～				★		▽				◎	◎	○	○	134
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座		▽	▽	★				▽	▽	◎	○	○	○	134
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～		▽	▽	★				▽	▽	○	◎	○	○	135
458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】		▽		★		▽		▽	▽	○	◎	○	○	135
459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座		▽		★				▽	▽	○	○	◎	○	135
460	学校における教育相談講座【領域①②③】				★				▽	▽	◎	◎	○	○	136
461	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）				★				▽	▽	○	◎	○	○	136
462	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）				★				▽	▽	○	◎	○	○	136
463	教育相談＜中級＞講座Ⅱ ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】				★				▽	▽	○	◎	○	○	137
464	教育相談＜中級＞講座Ⅲ ～コロナ禍における不登校の理解と支援～【領域③】				★				▽	▽	○	◎	○	○	137
465	教育相談＜上級＞講座Ⅰ～思春期の子どものこころーネットの問題がどう影響しているのか～【領域①】				★				▽	▽	○	○	◎	○	137
466	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～				★				▽	▽	○	◎	○	○	138
467	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～《eラーニング》				★				▽	▽	○	◎	○	○	138
302	コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	★			▽	▽	▽	▽			○	◎	○	○	107
304	これからのICT教育講座	★	▽	▽	▽						◎	◎	◎	◎	108
351	スクールソーシャルワーク講座		★		▽						○	◎	○	○	113
427	幼児教育と小学校教育の架け橋講座			★	▽	▽					◎	◎	○	○	125
428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座 ～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～			★	▽	▽					○	◎	○	○	126
432	小学校プログラミング教育講座	▽		★	▽						◎	◎	○		127
433	中学校・高等学校プログラミング教育講座	▽		★	▽						◎	◎	○	○	127
434	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅰ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
435	新時代の学びを支えるICT教育講座Ⅱ	▽	▽	★	▽						◎	◎	◎	◎	128
437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）	▽	▽	★	▽	▽					○	◎	○	○	129
553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	▽	▽		▽	▽	★	▽				○	◎	○	147
554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）	▽			▽	▽	★	▽				○	◎	○	148

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

1 「マネジメント」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
501	道徳教育の推進講座	▽		▽		★					◎	◎	◎	◎	141
502	教育法規演習講座 ～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	▽				★					○	○	◎	◎	141
503	ミドルからはじめるマネジメント講座					★					○	○	◎	○	141
504	ミドルからはじめる学校の特色づくり講座					★					○	○	◎	○	142
505	校内研修の充実講座Ⅰ ～ミドルからはじめるカリキュラム・マネジメントの実践～					★					○	○	◎	○	142
506	校内研修の充実講座Ⅱ ～ICTを活用した校内研修～			▽		★	▽				○	○	◎	○	142
507	危機管理講座Ⅰ					★					○	○	○	◎	143
508	危機管理講座Ⅱ					★					○	○	○	◎	143
509	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座		▽			★								◎	143
510	最新教育動向講座Ⅰ			▽		★					○	○	◎	○	144
511	最新教育動向講座Ⅱ					★							○	◎	144
302	コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	★			▽	▽	▽	▽			○	◎	○	○	107
303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	★				▽	▽				○	◎	○	○	107
305	校長講座	★	▽			▽	▽							◎	108
307	府立学校副校長講座シリーズⅠ	★	▽			▽	▽							◎	109
308	府立学校副校長講座シリーズⅡ	★	▽			▽	▽							◎	109
309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	★	▽			▽	▽							◎	109
310	新任管理職「ハラスメント防止」講座	★	▽			▽	▽							◎	110
311	府立特別支援学校総括主事講座	★				▽	▽							◎	110
312	管理職「教育の情報化推進」講座	★		▽		▽	▽							◎	110
314	絵本のひみつ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～研修講座（奈良県連携）	★				▽					○	◎	○	○	111
352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～		★			▽	▽	▽			○	◎	○	○	113
427	幼児教育と小学校教育の架け橋講座			★	▽	▽					◎	◎	○	○	125
428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座 ～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～			★	▽	▽					○	◎	○	○	126
437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）	▽	▽	★	▽	▽					○	◎	○	○	129
552	コミュニケーション発展講座 ～人材育成に生かす～（企業連携）	▽				▽	★	▽				○	◎	○	147
553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	▽	▽		▽	▽	★	▽				○	◎	○	147
554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）	▽			▽	▽	★	▽				○	◎	○	148

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

２「マネジメント」に関する推薦講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
904	ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ					★						○	◎	○	162
905	ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ					★						○	◎	○	162
906	ミドルリーダー養成講座シリーズⅢ					★						○	◎	○	162
909	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅠ					★								◎	－
910	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅡ					★								◎	－
911	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅢ					★								◎	－

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「チーム学校」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	**チーム**	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
551	特別支援教育コーディネーター推奨講座【実践】		▽				★				○	◎	○	○	147
552	コミュニケーション発展講座 ～人材育成に生かす～（企業連携）	▽				▽	★	▽				○	◎	○	147
553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	▽	▽		▽	▽	★	▽				○	◎	○	147
554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）	▽			▽	▽	★	▽				○	◎	○	148
302	コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	★			▽	▽	▽	▽			○	◎	○	○	107
303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	★				▽	▽				○	◎	○	○	107
305	校長講座	★	▽			▽	▽							◎	108
307	府立学校副校長講座シリーズⅠ	★	▽			▽	▽							◎	109
308	府立学校副校長講座シリーズⅡ	★	▽			▽	▽							◎	109
309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	★	▽			▽	▽							◎	109
310	新任管理職「ハラスメント防止」講座	★	▽			▽	▽							◎	110
311	府立特別支援学校総括主事講座	★				▽	▽							◎	110
312	管理職「教育の情報化推進」講座	★		▽		▽	▽							◎	110
352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～		★			▽	▽	▽			○	◎	○	○	113
353	人権教育講座Ⅱ ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～		★				▽				◎	◎	○	○	113
425	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座			★			▽				◎	◎	○	○	125
429	学力充実講座			★			▽				○	○	◎	○	126
453	学級、ホームルーム経営講座 ～学級、ホームルーム経営の充実を考える～				★		▽				◎	◎	○	○	133
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～			▽	★		▽	▽			○	◎	○	○	134
455	生徒指導講座 ～新しい「生徒指導提要」を理解する～				★		▽				◎	◎	○	○	134
458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】		▽		★		▽		▽	▽	○	◎	○	○	135
506	校内研修の充実講座Ⅱ～ICTを活用した校内研修～			▽		★	▽				○	○	◎	○	142
651	養護教諭講座						▽		★		◎	◎	○	○	153

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「京都ならではの教育」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	栄養	1	2	3	4	
601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ ～山城郷土資料館で学ぶ～			▽				★			○	◎	○	○	151
602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ ～丹後郷土資料館で学ぶ～			▽				★			○	◎	○	○	151
603	京の教育「みやび」講座							★					○	◎	151
302	コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）	★			▽	▽	▽	▽			○	◎	○	○	107
352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～		★			▽	▽	▽			○	◎	○	○	113
415	箏×尺八　合わせて奏でる和楽器基礎実技講座			★				▽			◎	○	○		121
416	中高音楽「能の節を謡ってみよう＆タブレットでお囃子を創ろう」講座			★				▽			○	◎	○	○	122
421	小中外国語教育講座 ～言語活動を通した授業設計と評価～	▽		★				▽			○	◎	◎	○	123
422	中高外国語科教育講座Ⅰ ～授業でできる即興型英語とディベート～	▽		★				▽			○	◎	◎	○	124
423	中高外国語科教育講座Ⅱ ～言語活動をデザインする～			★				▽			○	◎	◎	○	124
438	地球環境学講座	▽		★				▽			◎	◎	◎	◎	129
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～			▽	★		▽	▽			○	◎	○	○	134
552	コミュニケーション発展講座 ～人材育成に生かす～（企業連携）	▽				▽	★	▽				○	◎	○	147
553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）	▽	▽		▽	▽	★	▽				○	◎	○	147
554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）	▽			▽	▽	★	▽				○	◎	○	148

★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「養護教諭としての専門領域」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	**養護**	栄養	1	2	3	4	
651	養護教諭講座						▽		★		◎	◎	○	○	153
441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座		▽	★					▽	▽	◎	○	○	○	130
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座		▽	▽	★				▽	▽	◎	○	○	○	134
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～		▽	▽	★				▽	▽	○	◎	○	○	135
458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】		▽		★		▽		▽	▽	○	◎	○	○	135
459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座		▽		★				▽	▽	○	○	◎	○	135
460	学校における教育相談講座【領域①②③】				★				▽	▽	◎	◎	○	○	136
461	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）				★				▽	▽	○	◎	○	○	136
462	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）				★				▽	▽	○	◎	○	○	136
463	教育相談＜中級＞講座Ⅱ ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】				★				▽	▽	○	◎	○	○	137
464	教育相談＜中級＞講座Ⅲ ～コロナ禍における不登校の理解と支援～【領域③】				★				▽	▽	○	◎	○	○	137
465	教育相談＜上級＞講座Ⅰ～思春期の子どものこころーネットの問題がどう影響しているのか～【領域①】				★				▽	▽	○	○	◎	○	137
466	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～				★				▽	▽	○	◎	○	○	138
467	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～《eラーニング》				★				▽	▽	○	◎	○	○	138

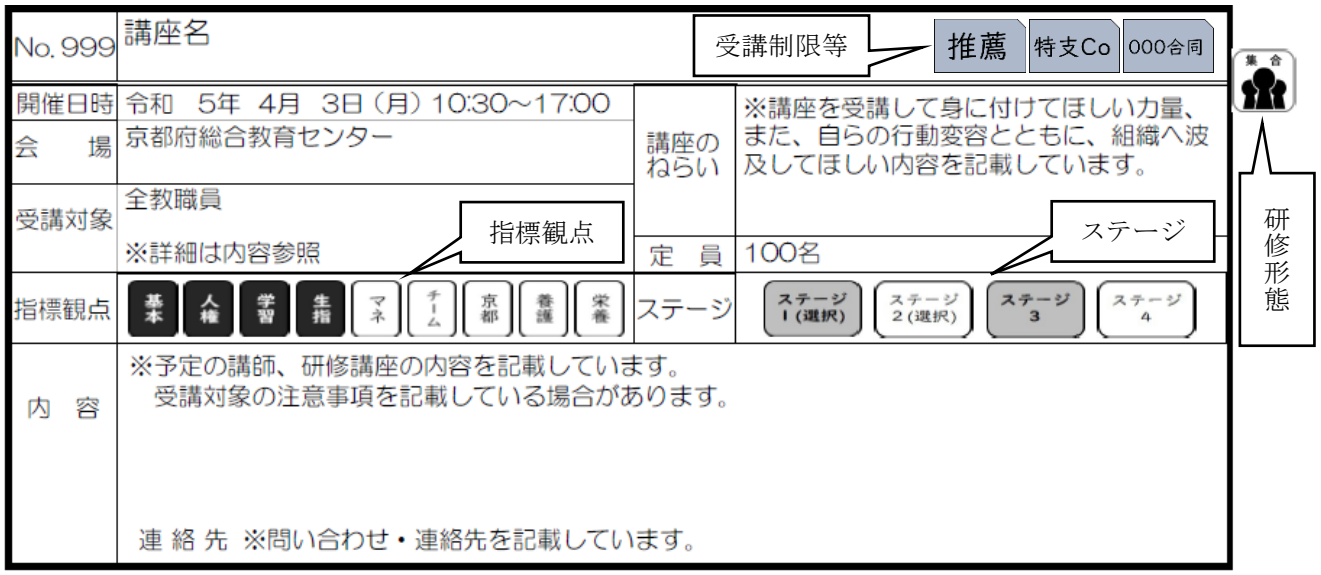
★・・・主な観点　▽・・・講座内容に含まれる観点	◎・・・主な受講対象となるステージ　○・・・受講が可能となるステージ

「栄養教諭としての専門領域」に関する講座一覧

No	講座名	観点									ステージ				頁
		基本	人権	学習	生指	マネ	チーム	京都	養護	**栄養**	1	2	3	4	
701	栄養教諭・学校栄養職員講座									★	◎	◎	○	○	155
441	病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座		▽	★					▽	▽	◎	○	○	○	130
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座		▽	▽	★				▽	▽	◎	○	○	○	134
457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～		▽	▽	★				▽	▽	○	◎	○	○	135
458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】		▽		★		▽		▽	▽	○	◎	○	○	135
459	京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座		▽		★				▽	▽	○	○	◎	○	135
460	学校における教育相談講座【領域①②③】				★				▽	▽	◎	◎	○	○	136
461	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）				★				▽	▽	○	◎	○	○	136
462	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）				★				▽	▽	○	◎	○	○	136
463	教育相談＜中級＞講座Ⅱ ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】				★				▽	▽	○	◎	○	○	137
464	教育相談＜中級＞講座Ⅲ ～コロナ禍における不登校の理解と支援～【領域③】				★				▽	▽	○	◎	○	○	137
465	教育相談＜上級＞講座Ⅰ～思春期の子どものこころーネットの問題がどう影響しているのか～【領域①】				★				▽	▽	○	○	◎	○	137
466	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～				★				▽	▽	○	◎	○	○	138
467	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～《eラーニング》				★				▽	▽	○	◎	○	○	138

研修講座の実施概要

研修講座の実施概要の見方



1　アイコンについて

(1) 受講制限等を表すアイコン

推薦 **推薦講座**	特支Co **特支推奨講座**	000合同 **合同講座**
教育局長、府立学校長の推薦を受けた者が受講可能な講座	特別支援教育コーディネーター養成を兼ねた推奨講座	別講座と合同で実施する講座

(2) 研修形態を表すアイコン

表記パターン	研修形態	会場
集合	集合研修 ※分散会場の場合も含む。	京都府総合教育センター　他
オンライン	オンライン研修 ※受講方法等はP．１８３	各所属校（園）
オンデマンド	オンデマンド研修 ※受講方法等はP．１８４	各所属校（園）
集合＋オンライン	集合・オンライン研修	各所属校（園）又は京都府総合教育センター　他
オンデマンド＋オンデマンド／集合＋オンライン	Ｗｅｂ＋研修（集合） Ｗｅｂ＋研修（オンライン） ※受講方法等はP．１８５～	京都府総合教育センター　他 ※開催日時の会場を記載しています。
eラーニング	ｅラーニング研修 ※受講方法等はP．１８９	各所属校（園）

※研修形態の補足

分散会場・・・集合した会場内にて複数の研修室で実施します。

オンライン研修・・・遠隔会議システムを用いて実施します。

オンデマンド研修・・・動画による講座を実施します。

集合・オンライン研修・・・集合研修とオンライン研修を同時に実施します。
研修形態を選ぶことができます。

Ｗｅｂ＋研修（集合）・・・オンデマンド研修と集合研修を組み合わせて実施します。

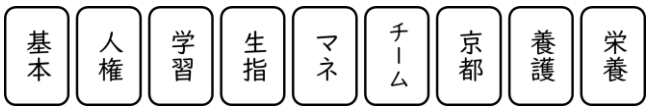
Ｗｅｂ＋研修（オンライン）・・・オンデマンド研修とオンライン研修を組み合わせて実施します。

ｅラーニング研修・・・動画視聴後、Ｗｅｂ上で確認テスト等を実施します。

(3) 指標観点を表すアイコン

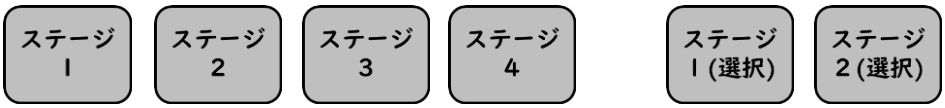
ア　講座の主な観点

イ　講座内容に含まれる観点

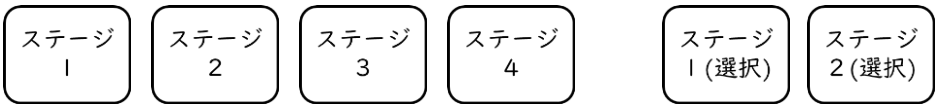


(4) ステージを表すアイコン

ア　主な受講対象となるステージ　　選択講座（Ｐ．２７～３０参照）



イ　講座の受講が可能となるステージ　　選択講座（Ｐ．２７～３０参照）



２　受講対象の略記について

基本研修について	略記
初任者研修（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の初任者研修対象教諭）	【初任者】
新規採用者研修（令和５年度に採用された幼稚園教諭・養護教諭・栄養教諭　等）	【新採】
上記の初任者研修と新規採用者研修を合同実施	【初・新】
２年目教員ステップアップ研修（令和５年度該当者）	【２年目】
中堅教諭等資質向上研修（令和５年度該当者）	【中堅教諭等】

職種について	略記
全ての職種を対象	全教職員
副校長・教頭	副・頭
総括主事	総
養護教諭	養
栄養教諭・学校栄養職員	栄
学校図書館司書	司
事務職員	事
府立学校技術職員	技
学校施設管理職員	施
寄宿舎指導員	寄
技術職員（船舶乗組員）	船
実習教諭・実習助手	実

※副校長は首席副校長、副園長を含みます。
※教諭（○○担当教諭）と表記している場合は、主幹教諭、指導教諭、教諭を全て含みます。

校種について	略記
幼稚園	幼
こども園	こ
小学校	小
中学校	中
義務教育学校	義
義務教育学校前期課程	義前
義務教育学校後期課程	義後
高等学校	高
特別支援学校	特支

※校種の前に複数の職種を表記している場合は、全ての職種が（ ）内の校種に該当します。

地域等の指定について	略記
南部地域の学校	南
北部地域の学校	北

※乙訓・山城・南丹教育局管内の小・中・義務教育学校は南部地域の学校、中丹・丹後教育局管内の小・中学校は北部地域の学校です。府立学校については、事前に連絡します。

各ページに記載している研修講座の内容等は予定です。

確定した内容等は「実施要項」として、講座実施日の前月15日を目処に京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載しますので、必ず確認してください。

基　本　研　修

（初任期育成研修）

No. 101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　4月　3日（月）	講座のねらい	京都府の教職員としての自覚と心構えをもち、教育公務員としての責務を理解する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（小・中・義・高・特支）、養、栄、司、事、施、実 ※別途通知	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本	ステージ	ステージⅠ
内　　容	教職生活のスタートにあたり、京都府の教職員としての自覚と心構えや教育公務員としての責務を理解する。 初任期育成研修の概要について理解する。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 102	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　4月　3日（月）	講座のねらい	京都府の教職員としての自覚と心構えをもち、教育公務員としての責務を理解する。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初・新】教諭（小・中・義・高・特支）、養、栄、司、事、施、実 ※別途通知	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本	ステージ	ステージⅠ
内　　容	教職生活のスタートにあたり、京都府の教職員としての自覚と心構えや教育公務員としての責務を理解する。 初任期育成研修の概要について理解する。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座ａ		
開催日時	令和　5年　4月13日（木）10:30～17:00	講座のねらい	京都府の教育の基本的な視点を理解し、自らの教育活動への展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（小A・中A・義A・高AB）、養、栄、司、事、施	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　学習　生指　マネ　養護　栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	教職員としての服務、役割、基本的な職務の内容を理解する。 京都府の人権教育及び特別支援教育の基本的な視点について学ぶ。 教育課程や教科教育の在り方について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 104	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座ｂ		
開催日時	令和　5年　4月20日（木）10:30～17:00	講座のねらい	京都府の教育の基本的な視点を理解し、自らの教育活動への展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（幼・こ・小Ｂ・中Ｂ・義Ｂ・特支ＡＢ）、実	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　学習　生指　マネ	ステージ	ステージⅠ
内　　容	教職員としての服務、役割、基本的な職務の内容を理解する。 京都府の人権教育及び特別支援教育の基本的な視点について学ぶ。 教育課程や教科教育の在り方について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 105	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座ａ		
開催日時	令和　5年　7月25日（火）13:30～17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会　　場	京都伝統工芸大学校		
受講対象	【初・新】教諭（高Ａ・特支Ａ）、栄	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	京都	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度をはぐくむ教育活動について学ぶ。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド　集合

No. 106	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座ｂ		
開催日時	令和　5年　7月26日（水）13:30～17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会　　場	京都伝統工芸大学校		
受講対象	【初・新】教諭（小Ａ・中Ａ・義Ａ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	京都	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度をはぐくむ教育活動について学ぶ。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド　集合

オンデマンド
集合

No. 107	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座ｃ		
開催日時	令和　5年　7月27日（木）13:30～17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会　　場	京都伝統工芸大学校		
受講対象	【初・新】教諭（小Ｂ・中Ｂ・義Ｂ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	京都	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度をはぐくむ教育活動について学ぶ。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド
集合

No. 108	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座ｄ		
開催日時	令和　5年　7月28日（金）13:30～17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会　　場	京都伝統工芸大学校		
受講対象	【初・新】教諭（幼・こ・高Ｂ・特支Ｂ）、養、実	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	京都	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度をはぐくむ教育活動について学ぶ。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド
オンライン

No. 109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座ａ		
開催日時	令和　5年　5月25日（木）13:30～17:00	講座のねらい	健康安全教育、防災教育の意義と役割について理解する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初・新】教諭（小Ａ・中Ａ・義Ａ・高Ａ・特支Ａ）、養、栄、司、施、実	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　マネ　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　　容	大阪教育大学附属池田小学校　教員 健康安全教育や防災教育の意義と役割について理解し、非常災害時の初期対応や日常の事故等の未然防止のための取組について学ぶ。 ※動画視聴についてはＰ．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 110	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育」講座ｂ		
開催日時	令和　5年　6月　1日（木）13:30～17:00	講座のねらい	健康安全教育、防災教育の意義と役割について理解する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初・新】教諭（幼・こ・小Ｂ・中Ｂ・義Ｂ・高Ｂ・特支Ｂ）、事		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　マネ　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　　容	大阪教育大学附属池田小学校　教員 健康安全教育や防災教育の意義と役割について理解し、非常災害時の初期対応や日常の事故等の未然防止のための取組について学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 111	初任者研修「教育実践」講座		
開催日時	令和　6年　2月　1日（木）13:30～17:00	講座のねらい	他の校種・職種の実践から学び、次年度以降の教育実践に向けた展望をもつ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小・中・義・高・特支）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　　容	１年間の研修のまとめを行う。 自身の実践と比較検討しながら、各校種・職種の代表者の実践発表を聞き、２年目の教育実践及び研修への見通しをもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 112	新規採用者研修「教育実践」講座		
開催日時	令和　6年　2月　1日（木）10:30～17:00	講座のねらい	他の校種・職種の実践から学び、次年度以降の教育実践に向けた展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】教諭（幼・こ）、養、栄、実		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　マネ　チーム　養護　栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「テーマ研修」のまとめを行う。 自身の実践と比較検討しながら、各校種・職種の代表者の実践発表を聞き、２年目の教育実践への見通しをもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 113	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座ａ		
開催日時	令和　5年　8月31日（木）13:30～17:00	講座のねらい	よりよいコミュニケーションの在り方について学び、教職員としての資質向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（高Ａ、特支Ａ）、実	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	奈良教育大学大学院　教授　粕谷　貴志 望ましいコミュニケーションの在り方について理解を深める。 具体的な事例を基にした演習を通して、コミュニケーション力向上のための方策を見いだす。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 114	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座ｂ		
開催日時	令和　5年　9月　7日（木）13:30～17:00	講座のねらい	よりよいコミュニケーションの在り方について学び、教職員としての資質向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（幼・こ・小Ａ・義前Ａ）、司、施	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	奈良教育大学大学院　教授　粕谷　貴志 望ましいコミュニケーションの在り方について理解を深める。 具体的な事例を基にした演習を通して、コミュニケーション力向上のための方策を見いだす。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 115	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座ｃ		
開催日時	令和　5年　9月14日（木）13:30～17:00	講座のねらい	よりよいコミュニケーションの在り方について学び、教職員としての資質向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（中Ａ・義後Ａ）、養、事	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	奈良教育大学大学院　教授　粕谷　貴志 望ましいコミュニケーションの在り方について理解を深める。 具体的な事例を基にした演習を通して、コミュニケーション力向上のための方策を見いだす。 ※動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 116	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座ｄ		
開催日時	令和　5年　9月21日（木）13:30～17:00	講座のねらい	よりよいコミュニケーションの在り方について学び、教職員としての資質向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭（中Ｂ・義後Ｂ・高Ｂ）、栄	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	奈良教育大学大学院　教授　粕谷　貴志 望ましいコミュニケーションの在り方について理解を深める。 具体的な事例を基にした演習を通して、コミュニケーション力向上のための方策を見いだす。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 117	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座ｅ		
開催日時	令和　5年10月12日（木）13:30～17:00	講座のねらい	よりよいコミュニケーションの在り方について学び、教職員としての資質向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・義前Ｂ・特支Ｂ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	奈良教育大学大学院　教授　粕谷　貴志 望ましいコミュニケーションの在り方について理解を深める。 具体的な事例を基にした演習を通して、コミュニケーション力向上のための方策を見いだす。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 118	初任者・新規採用者研修共通「人権教育・特別支援教育」講座		
開催日時	令和　5年　8月　7日（月）13:30～17:00	講座のねらい	京都府の人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解する。 特別支援教育の視点から指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初・新】教諭（幼・こ・小・中・義・高・特支）、養、栄、司、事、施、実	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都府の人権教育の基本的な考え方について学び、人権問題の重要な柱である同和問題についての認識を深める。 発達障害について理解するとともに、特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の在り方について個人演習による疑似体験を通して学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド

No. 119	初任者研修「地域連携・情報教育」講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	社会教育を推進するための重点課題について理解する。 情報教育の基礎的事項について理解し、情報教育を推進する教職員としての正しい知識をもつ。
会　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小・中・義・高・特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　容	京都府の社会教育について理解し、地域社会と連携した教育実践を考える。 情報モラル等、情報教育を推進するための教職員としての正しい知識を学ぶ。 児童生徒のＩＣＴ活用等の能力の育成について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 120	初任者研修「学級、ホームルーム経営・教育相談」講座ａ		
開催日時	令和　5年　6月　8日（木）10:30～17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の充実について考える。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について考える。
会　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ａ・中Ａ・義Ａ・高Ａ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	生指　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　容	学級、ホームルーム経営の基本について理解するとともに、課題解決に向けた具体的な方策について協議し、今後の実践に生かす。 教育相談の基本的な考え方や児童生徒理解の重要性について学び、児童生徒や保護者との信頼関係づくりや対応について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 121	初任者研修「学級、ホームルーム経営・教育相談」講座ｂ		
開催日時	令和　5年　6月15日（木）10:30～17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の充実について考える。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について考える。
会　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・中Ｂ・義Ｂ・高Ｂ・特支ＡＢ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	生指　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　容	学級、ホームルーム経営の基本について理解するとともに、課題解決に向けた具体的な方策について協議し、今後の実践に生かす。 教育相談の基本的な考え方や児童生徒理解の重要性について学び、児童生徒や保護者との信頼関係づくりや対応について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 122	初任者研修「道徳教育・生徒指導」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　8月17日（木）13:30～17:00	講座のねらい	道徳教育の基本的な在り方について学び、指導力の向上を図る。 生徒指導上の課題やよりよい人間関係を育成する生徒指導の在り方について学ぶ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小・中・義・特支） 〈南〉・（高Ａ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	道徳教育の目標や内容、基本的な指導の在り方等について理解する。「特別の教科　道徳」の特質を踏まえた授業の進め方について、教材分析と発問づくりの演習を通して学ぶ。生徒指導上の今日的な課題とその対応を学ぶとともに、児童生徒の個性や人間関係を踏まえた指導の在り方を学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 123	初任者研修「道徳教育・生徒指導」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　8月18日（金）13:30～17:00	講座のねらい	道徳教育の基本的な在り方について学び、指導力の向上を図る。 生徒指導上の課題やよりよい人間関係を育成する生徒指導の在り方について学ぶ。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小・中・義・特支） 〈北〉・（高Ｂ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	道徳教育の目標や内容、基本的な指導の在り方等について理解する。「特別の教科　道徳」の特質を踏まえた授業の進め方について、教材分析と発問づくりの演習を通して学ぶ。生徒指導上の今日的な課題とその対応を学ぶとともに、児童生徒の個性や人間関係を踏まえた指導の在り方を学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 124	初任者研修「小学校教科教育１」講座Ａ		
開催日時	令和　5年　4月27日（木）14:30～17:00	講座のねらい	「小学校教科教育」講座の見通しをもち、具体的な方策を考える。 国語科、算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小Ａ・義前Ａ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	国語科、算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学び、研究協議を通じて、自身の課題を明確にし、その解決に向けて具体的な方策を考える。動画視聴から各自で学び深める。また、その内容について研究協議の中でさらに深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド
オンライン

No. 125	初任者研修「小学校教科教育１」講座Ｂ		
開催日時	令和　5年　5月11日（木）14:30～17:00	講座のねらい	「小学校教科教育」講座の見通しをもち、具体的な方策を考える。 国語科、算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・義前Ｂ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	国語科、算数科及び社会科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学び、研究協議を通じて、自身の課題を明確にし、その解決に向けて具体的な方策を考える。動画視聴から各自で学び深める。また、その内容について研究協議の中でさらに深化させる。 ※動画視聴についてはＰ．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 126	初任者研修「小学校教科教育２」講座Ａ		
開催日時	令和　5年　6月22日（木）10:30～17:00	講座のねらい	国語科及び算数科等の授業構想や学習評価について、具体的な方策を理解する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ａ・義前Ａ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「学習過程と単元構想」、「効果的なＩＣＴの活用」、「指導と評価の一体化」について、演習や研究協議を通して国語科及び算数科等における具体的な方策を考える。 模擬授業に向け、グループで授業を構想する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 127	初任者研修「小学校教科教育２」講座Ｂ		
開催日時	令和　5年　6月29日（木）10:30～17:00	講座のねらい	国語科及び算数科等の授業構想や学習評価について、具体的な方策を理解する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・義前Ｂ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「学習過程と単元構想」、「効果的なＩＣＴの活用」、「指導と評価の一体化」について、演習や研究協議を通して国語科及び算数科等における具体的な方策を考える。 模擬授業に向け、グループで授業を構想する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 128	初任者研修「小学校教科教育３」講座Ａ		
開催日時	令和　5年　7月27日（木）14:30～17:00	講座のねらい	総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解し、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小Ａ・義前Ａ）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	動画視聴から、総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について、各自で学び深める。 模擬授業に向け、考えてきた指導案をグループで交流し、授業展開を構想する。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 129	初任者研修「小学校教科教育３」講座Ｂ		
開催日時	令和　5年　7月26日（水）14:30～17:00	講座のねらい	総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解し、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・義前Ｂ）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	動画視聴から、総合的な学習の時間、外国語活動・外国語科における学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について、各自で学び深める。 模擬授業に向け、考えてきた指導案をグループで交流し、授業展開を構想する。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 130	初任者研修「小学校教科教育４」講座		
開催日時	令和　5年　7月31日（月）10:30～17:00	講座のねらい	実技等の指導を伴う教科について、学習指導要領や各教科の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小・義前）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	理科、生活科、音楽科、図画工作科、家庭科、体育科の中の３教科について、主体的に問題解決をする力を育てる授業づくりの在り方等を、実技を体験しながら協働的に学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 131	初任者研修「小学校教科教育５」講座		
開催日時	令和　5年　8月　1日（火）10:30～17:00	講座のねらい	実技等の指導を伴う教科について、学習指導要領や各教科の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小・義前）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	理科、生活科、音楽科、図画工作科、家庭科、体育科の中の３教科について、主体的に問題解決をする力を育てる授業づくりの在り方等を、実技を体験しながら協働的に学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 132	初任者研修「小学校教科教育６」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　8月24日（木）10:30～17:00	講座のねらい	国語科及び算数科における学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小・義前）〈南〉	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	国語科及び算数科の授業を構想することを通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方を学ぶ。 「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 133	初任者研修「小学校教科教育６」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　8月24日（木）10:30～17:00	講座のねらい	国語科及び算数科における学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解する。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小・義前）〈北〉	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	国語科及び算数科の授業を構想することを通して、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方を学ぶ。 「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 134	初任者研修「小学校教科教育７」講座Ａ		
開催日時	令和　6年　1月18日（木）10:30～17:00	講座のねらい	１年間の教育実践について振り返ることを通して、２年目からの研修計画を構想し、今後の実践の展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ａ・義前Ａ）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	自身の授業を分析することを通して、国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を学ぶ。 授業実践の分析や研究協議を通して今年度の成果と課題を明らかにする。 ２年目からの研修計画を構想し、今後の実践への展望をもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 135	初任者研修「小学校教科教育７」講座Ｂ		
開催日時	令和　6年　1月25日（木）10:30～17:00	講座のねらい	１年間の教育実践について振り返ることを通して、２年目からの研修計画を構想し、今後の実践の展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・義前Ｂ）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	自身の授業を分析することを通して、国語科及び算数科の授業を構想・展開するための具体的な方策を学ぶ。 授業分析、研究協議を通して今年度の成果と課題を明らかにする。 ２年目からの研修計画を構想し、今後の実践への展望をもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 136	初任者研修「小学校授業参観」講座Ａ		
開催日時	令和　5年10月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	授業参観の意義や視点を学ぶとともに、授業構想や授業展開についての具体的な方策を考え、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府公立小学校 ※別途通知		
受講対象	【初任者】教諭（小Ａ・義前Ａ）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	公開授業の参観を通して、具体的な授業展開の在り方や指導と評価の工夫について学ぶ。 公開授業から学んだことを協議することを通して、授業構想や授業展開の具体について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 137	初任者研修「小学校授業参観」講座Ｂ		
開催日時	令和　5年11月　9日（木）10:30～17:00	講座のねらい	授業参観の意義や視点を学ぶとともに、授業構想や授業展開についての具体的な方策を考え、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府公立小学校 ※別途通知		
受講対象	【初任者】教諭（小Ｂ・義前Ｂ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	公開授業の参観を通して、具体的な授業展開の在り方や指導と評価の工夫について学ぶ。 公開授業から学んだことを協議することを通して、授業構想や授業展開の具体について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド　オンライン

No. 138	初任者研修「中学校教科教育１」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　5月11日（木）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の在り方や授業設計の基本的な考え方について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について、動画視聴から各自で学び、演習・協議を通して、その内容についてさらに深化させる。 ※動画視聴についてはＰ．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド　オンライン

No. 139	初任者研修「中学校教科教育１」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　5月11日（木）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の在り方や授業設計の基本的な考え方について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について、動画視聴から各自で学び、演習・協議を通して、その内容についてさらに深化させる。 ※動画視聴についてはＰ．１８７参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 140	初任者研修「中学校教科教育２」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　6月29日（木）13:30～17:00	講座のねらい	教科の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業設計の基本的な在り方、観点別学習状況の評価の趣旨や評価と評定の在り方について動画視聴により、各自で学びを深める。また、演習・協議を通して、より実践的に学びを深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 141	初任者研修「中学校教科教育２」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　6月29日（木）13:30～17:00	講座のねらい	教科の特質を生かした単元（題材）構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業設計の基本的な在り方、観点別学習状況の評価の趣旨や評価と評定の在り方について動画視聴により、各自で学びを深める。また、演習・協議を通して、より実践的に学びを深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 142	初任者研修「中学校教科教育３」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　8月　3日（木）13:30～17:00	講座のねらい	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義後）	定　員	※詳細は別途連絡
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業構想の基本や授業設計、特別支援教育の視点、ＩＣＴの効果的な活用について学びを深める。「指導と評価の一体化」の実現に向けて演習・研究協議を通して考える。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド 集合

No. 143	初任者研修「中学校教科教育３」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　8月　3日（木）13:30～17:00	講座のねらい	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義後）※技術・家庭科（技術分野）担当教諭は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業構想の基本や授業設計、特別支援教育の視点、ＩＣＴの効果的な活用について学びを深める。「指導と評価の一体化」の実現に向けて演習・研究協議を通して考える。 ※技術・家庭科（技術分野）担当教諭は８月９日（水）１０：３０～１７：００に行います。　※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 144	初任者研修「中学校教科教育４」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　9月28日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、研究協議等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 145	初任者研修「中学校教科教育４」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　9月28日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、研究協議等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科担当教諭は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 ※保健体育科担当教諭は、９：５０～１６：２０にあやべ・日東精工アリーナで行います。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 146	初任者研修「中学校教科教育５」講座（センター）		
開催日時	令和　5年11月30日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、研究協議等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 147	初任者研修「中学校教科教育５」講座（北部）		
開催日時	令和　5年11月30日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、研究協議等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 148	初任者研修「中学校教科教育６」講座（センター）		
開催日時	令和　6年　1月18日（木）10:30～17:00	講座のねらい	１年間の成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	１年間の教育実践を振り返ることや、２年目に向けての研修計画を構想することを通して、教科指導力の向上への見通しをもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 149	初任者研修「中学校教科教育６」講座（北部）		
開催日時	令和　6年　1月18日（木）10:30～17:00	講座のねらい	１年間の成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	１年間の教育実践を振り返ることや、２年目に向けての研修計画を構想することを通して、教科指導力の向上への見通しをもつ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 150	初任者研修「中学校授業参観」講座		
開催日時	令和　5年11月　2日（木）10:30～17:00	講座のねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府公立中学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業参観の視点及び授業分析の基礎について学ぶとともに、公開授業の参観を通して、自己の授業実践を振り返り、効果的な授業展開や指導と評価の工夫等、授業力向上の方策について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド　オンライン

No. 151	初任者研修「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座		
開催日時	令和　5年10月19日（木）13:30～17:00	講座のねらい	総合的な学習の時間、キャリア教育の基本的な事項について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（中・義後）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	総合的な学習の時間の基本的事項及び実践における具体的な工夫について動画視聴し、今求められている力について考える。 キャリア教育の意義やその実践の在り方等について、講義を通して学び、演習・協議を実施することで中学校で求められるキャリア教育の具体について学びを深める。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 152	初任者研修「高等学校教科教育１」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　5月18日（木）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の在り方や授業設計の基本的な考え方について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について、動画視聴から各自で学びを深める。また、その内容について、演習・協議を実施することでさらに深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 153	初任者研修「高等学校教科教育１」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　5月18日（木）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の在り方や授業設計の基本的な考え方について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について、動画視聴から各自で学びを深める。また、その内容について、演習・協議を実施することでさらに深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 154	初任者研修「高等学校教科教育２」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　6月22日（木）13:30～17:00	講座のねらい	教科の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業設計の基本的な在り方、観点別学習状況の評価の趣旨や評価と評定の在り方について動画視聴から各自で学びを深める。また、演習・協議を通してより実践的に学びを深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 155	初任者研修「高等学校教科教育２」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　6月22日（木）13:30～17:00	講座のねらい	教科の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業設計の基本的な在り方、観点別学習状況の評価の趣旨や評価と評定の在り方について動画視聴から各自で学びを深める。また、演習・協議を通してより実践的に学びを深化させる。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 156	初任者研修「高等学校教科教育３」講座（センター）		
開催日時	令和　5年　8月　2日（水）13:30～17:00	講座のねらい	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業構想の基本や授業設計について、動画視聴によりその学びを深める。また、特別支援教育の視点を生かした指導の工夫や、指導と評価の一体化を目指した授業の実現に向けて、各自の実践を基に演習・協議することで「自らの課題」と目標を設定する。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 157	初任者研修「高等学校教科教育３」講座（北部）		
開催日時	令和　5年　8月　2日（水）13:30～17:00	講座のねらい	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	授業構想の基本や授業設計について、動画視聴によりその学びを深める。また、特別支援教育の視点を生かした指導の工夫や、指導と評価の一体化を目指した授業の実現に向けて、各自の実践を基に演習・協議することで「自らの課題」と目標を設定する。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 158	初任者研修「高等学校教科教育４」講座（センター）		
開催日時	令和　5年10月　5日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、授業参観、研究授業等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）※地歴・公民科担当教諭は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 ※地理歴史科、公民科担当教諭は９月２８日（木）に行います。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 159	初任者研修「高等学校教科教育４」講座（北部）		
開催日時	令和　5年10月　5日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、授業参観、研究授業等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭（高） ※芸術科美術、家庭科担当教諭は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 ※芸術科美術、家庭科担当教諭は９月２８日（木）に行います。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 160	初任者研修「高等学校教科教育５」講座（センター）		
開催日時	令和　5年11月16日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、授業参観、研究授業等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 161	初任者研修「高等学校教科教育５」講座（北部）		
開催日時	令和　5年11月16日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、授業参観、研究授業等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科教諭は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 ※保健体育科担当教諭は、京都トレーニングセンターで行います。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 162	初任者研修「高等学校教科教育６」講座（センター）		
開催日時	令和　5年12月14日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、授業参観、研究授業等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 163	初任者研修「高等学校教科教育６」講座（北部）		
開催日時	令和　5年12月14日（木）10:30～17:00	講座のねらい	模擬授業、授業参観、研究授業等を通して授業実践力の向上を図る。各教科の実状を踏まえた実践や演習を通して理論と実践の往還により教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭（高） ※芸術科美術、家庭科担当教諭は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「自らの課題」と「令和の日本型学校教育」を意識した授業改善を目指し、その達成に向けた方策を見いだす。授業実践力・教科指導力の向上を図るために、演習・協議を通して「自らの課題」を解決するための方策を具現化する。 ※芸術科美術、家庭科担当教諭は１１月３０日（木）に行います。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 164	初任者研修「高等学校教科教育７」講座（センター）		
開催日時	令和　6年　1月25日（木）10:30～17:00	講座のねらい	１年間の成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、工業科、商業科、福祉科担当教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	１年間の教育実践を振り返ることや、２年目に向けての研修計画を構想することを通して、教科指導力の向上への見通しをもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 165	初任者研修「高等学校教科教育７」講座（北部）		
開催日時	令和　6年　1月25日（木）10:30～17:00	講座のねらい	１年間の成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭 ※芸術科美術、家庭科担当教諭は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	１年間の教育実践を振り返ることや、２年目に向けての研修計画を構想することを通して、教科指導力の向上への見通しをもつ。 ※芸術科美術、家庭科担当教諭は１月１８日（木）に行います。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 166	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座		
開催日時	令和　5年10月19日（木）13:30～17:00	講座のねらい	総合的な探究の時間、キャリア教育の基本的な事項について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（高）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	総合的な探究の時間の基本的事項及び実践における具体的な工夫について動画視聴し、今求められている力について考える。 キャリア教育の意義やその実践の在り方等について、講義を通して学び、演習・協議を実施することで高等学校で求められるキャリア教育の具体について学びを深める。　※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 167	初任者研修「特別支援学校１」講座		
開催日時	令和　5年　5月18日（木）10:30～17:00	講座のねらい	京都府における特別支援教育の施策について知り、特別支援学校の教職員としての使命及び教育課程編成の基本について理解する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権　学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都府の特別支援教育の施策や、特別支援学校の教職員としての使命及び教育課程編成の基本について学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

オンライン

No. 168	初任者研修「特別支援学校２」講座		
開催日時	令和　5年　6月22日（木）10:30～17:00	講座のねらい	個別の指導計画や学習指導案の役割を知り、作成及び活用の方法や留意点を理解する。 児童生徒のアセスメントについて学び、指導・支援に生かす。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権　学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	平安女学院大学　教授　清水　里美 個別の指導計画や学習指導案の役割を知り、具体的な作成及び活用方法について学ぶ。 アセスメントの基本的事項について知り、アセスメントに基づく指導の在り方について学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

オンデマンド

集合

No. 169	初任者研修「特別支援学校３」講座		
開催日時	令和　5年　8月　2日（水）13:30～17:00	講座のねらい	実技等の指導を伴う教科について、学習指導要領や各教科の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所 ※内容参照		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権　学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	講義及び実習を通して実技を伴う教科の指導について学ぶ。全４教科を取扱うが、うち２教科は所属校での事前動画視聴とする。 ※図画工作科、家庭科：オンデマンド研修 ※音楽科、体育科：集合研修 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 170	初任者研修「特別支援学校４」講座		
開催日時	令和　5年　9月21日（木）10:30～17:00	講座のねらい	知的障害の学習上の特性を踏まえた授業づくりについて理解を深める。 具体的な実践から特別支援学校におけるキャリア教育の在り方を理解する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権 **学習** 生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	知的障害の学習上の特性を知り、学習指導要領の主旨を踏まえた指導の在り方について学ぶ。 実践発表から特別支援学校におけるキャリア教育の実際を知り、その在り方について考える。 授業実践の交流を通して、効果的な授業の展開や工夫について考える。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 171	初任者研修「特別支援学校５」講座		
開催日時	令和　5年10月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	ＩＣＴを活用した指導における基本的な考え方や留意点等を理解する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権 **学習**	ステージ	ステージⅠ
内　　容	特別支援学校におけるＩＣＴを活用した指導・支援について、講義や実践発表、演習を通して学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 172	初任者研修「特別支援学校６」講座		
開催日時	令和　5年11月30日（木）10:30～17:00	講座のねらい	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由教育の基本を理解する。 授業研究を通して、効果的な指導内容や指導方法を学び、指導力を高める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権 **学習** 生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由のある児童生徒への指導の実際を知り、障害種に応じた指導方法や留意点を学ぶ。 授業研究を通して、効果的な指導内容や方法について考える。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

オンライン

No. 173	初任者研修「特別支援学校７」講座		
開催日時	令和　6年　1月25日（木）10:30～17:00	講座のねらい	病弱教育の基本について理解する。 医療や福祉等関係機関との連携の重要性について理解するとともに、特別支援学校が果たす役割について理解する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権　学習　生指　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都府発達障害者支援センターはばたき　元センター長　長谷川　福美 病弱教育の基本、校内外の各関係者・組織・機関との連携の重要性とその実際及び特別支援学校が果たすべき役割について学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

集合

No. 174	初任者研修「特別支援学校授業参観」講座		
開催日時	令和　5年　7月　6日（木）10:30～17:00	講座のねらい	授業参観や講義を通して、児童生徒の障害特性に応じた授業の在り方について理解する。
会　　場	京都府立井手やまぶき支援学校		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権　学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都教育大学　教授　相澤　雅文 授業参観や講義を通して、児童生徒の障害特性に応じた授業の在り方について学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

集合

No. 175	新規採用者研修「幼稚園教諭・保育教諭１」講座		
開催日時	令和　5年　4月28日（金）10:30～17:00	講座のねらい	幼児教育の基本的な考え方と具体的な指導・支援の在り方について理解する。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】教諭（幼・こ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	人権　学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	幼児の心を育てるための教師の役割や適切な援助の在り方について理解し、指導力の向上を図る。 講義や演習、研究協議で学んだことや自分の課題意識を基に、テーマ研修のテーマについて考え、今後の見通しをもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 176	新規採用者研修「幼稚園教諭・保育教諭２」講座		
開催日時	令和　5年　6月27日（火）10:30～17:00	講座のねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼小の接続を踏まえた幼児への指導や支援について理解し、自園の接続カリキュラムの実践につなげる。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】教諭（幼・こ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指　マネ	ステージ	ステージⅠ
内　　容	横浜市立恩田小学校　校長　寶來　生志子 幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児教育と小学校入学後の教育について理解し、接続カリキュラムの意義や作成について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 177	新規採用者研修「幼稚園教諭・保育教諭３」講座		
開催日時	令和　5年　9月26日（火）10:30～17:00	講座のねらい	幼児理解に基づく質の高い保育について学び、指導力の向上を図る。また、テーマ研修に向けての見通しをもつ。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】教諭（幼・こ）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた環境構成と援助の在り方について学ぶ。 研究協議を通して明らかになった課題意識を踏まえて「テーマ研修計画」の交流を行い、対話を通して課題解決に向けた具体的な見通しをもつ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 178	新規採用者研修「養護教諭１」講座		
開催日時	令和　5年　6月　8日（木）10:30～17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の充実について考える。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について考える。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	チーム　養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学級、ホームルーム経営の基本について理解するとともに、課題解決に向けた具体的な方策について協議し、今後の実践に生かす。 教育相談の基本的な考え方や児童生徒理解の重要性について学び、児童生徒や保護者との信頼関係づくりや対応について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 179	新規採用者研修「養護教諭２」講座		
開催日時	令和　5年　6月13日（火）10:30～17:00	講座のねらい	学校環境衛生活動の意義と救急処置について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】養護教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	綾部市立病院　院長　高升　正彦 学校薬剤師 学校環境の衛生管理に関わる基本となる内容と実践的な指導方法、救急処置について理解し、演習を通して心肺蘇生法やＡＥＤの使用方法などの実践的指導を学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 180	新規採用者研修「養護教諭３」講座		
開催日時	令和　5年　7月　7日（金）10:30～17:00	講座のねらい	食物アレルギーに対する理解を深める。 保健室経営の実際を学び、保健室の機能や養護教諭の役割について理解を深め、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター及び京都府立高等学校		
受講対象	【新採】養護教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	チーム　養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都府立医科大学　小児科　土屋　邦彦 児童生徒が学校で安心・安全に過ごせるようにアレルギー疾患の知識や養護教諭として求められる対応について学ぶ。 児童生徒の健康づくりを効果的に推進するため、保健室の機能や養護教諭の役割について理解を深める。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 181	新規採用者研修「養護教諭４」講座		
開催日時	令和　5年　8月　8日（火）10:30～17:00	講座のねらい	今、求められている養護教諭としての役割についての理解を深め、ＩＣＴ活用による職務の効率化を図る。 これからの学校保健活動を推進するための方策を考える。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都女子大学　教授　大川　尚子 児童生徒に対する睡眠と疲労と不登校に関する研究で得られた知見から、養護教諭に必要な知識と初期対応について学ぶ。 子どものこころとからだを支援し、「チーム学校」の中で活躍できる養護教諭の新たな役割について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 182	新規採用者研修「養護教諭５」講座		
開催日時	令和　5年　9月　5日（火）10:30～17:00	講座のねらい	感染症予防に関する基礎的な知識を学ぶ。 保健室経営の実際を学ぶとともに、保健管理・保健教育について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】養護教諭		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	国立病院機構舞鶴医療センター　感染管理認定看護師　井上　かおり 感染症予防に関する基礎的な知識や感染症拡大を防ぐ工夫の仕方等を具体的に学ぶ。 保健室経営の充実に向けて、学校保健活動の計画策定の基本を学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 183	新規採用者研修「養護教諭６」講座		
開催日時	令和　5年10月17日（火）10:30～17:00	講座のねらい	歯・口の健康及び教育相談に関する基礎的な知識を学ぶ。実践発表や研究協議を通して、チーム学校における養護教諭としての職務と役割について理解を深め、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】養護教諭		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学校歯科医 歯・口の健康に関する基礎知識を学び、歯・口の健康づくりについて理解する。 教育相談における基本的な知識を学び、適切な対応と養護教諭としての役割や連携について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 184	新規採用者研修「養護教諭７」講座		
開催日時	令和　5年12月　5日（火）10:30～17:00	講座のねらい	学校における感染症の現況と対応や特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方について学び、指導力の向上を図る。 自身の研修テーマにおける課題解決のための展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	養護	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学校医 学校における感染症の現状について理解し、学校医及び医療機関・保健所などの専門機関との連携の在り方について学ぶ。 研修テーマにおける課題を明確にし、解決のための方策を見いだす。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 185	新規採用者研修「栄養教諭１」講座		
開催日時	令和　5年　6月　8日（木）10:30～17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の充実について考える。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について考える。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	チーム　栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学級、ホームルーム経営の基本について理解するとともに、課題解決に向けた具体的な方策について協議し、今後の実践に生かす。 教育相談の基本的な考え方や児童生徒理解の重要性について学び、児童生徒や保護者との信頼関係づくりや対応について考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 186	新規採用者研修「栄養教諭２」講座		
開催日時	令和　5年　6月13日（火）10:30～17:00	講座のねらい	栄養教諭としての職務と役割について理解し、安全な学校給食の管理と食に関する指導について理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都府薬剤師会学校薬剤師部会　元部会長　守谷　まさ子 学校給食の衛生管理について学ぶとともに、衛生管理、食物アレルギー対応等を重視し、安心・安全で充実した学校給食を提供するための方策について理解を深める。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 187	新規採用者研修「栄養教諭３」講座		
開催日時	令和　5年　7月　7日（金）10:30～17:00	講座のねらい	食物アレルギーに対する理解を深める。 食品構成を考慮した献立作成の知識や手順についてＩＣＴの活用を含めて理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	チーム　栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	京都府立医科大学　小児科　土屋　邦彦 児童生徒が学校で安心・安全に過ごせるようにアレルギー疾患の知識や栄養教諭として求められる対応について学ぶ。 献立に必要な知識や手順を学ぶとともに、食品構成を考えた献立作成についての知識や実践力を身に付ける。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 188	新規採用者研修「栄養教諭４」講座		
開催日時	令和　5年　7月28日（金）10:30～17:00	講座のねらい	各栄養素の特徴や働きに関する内容について、「日本人の食事摂取基準」策定の背景等を学び、献立作成に生かす。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校　校長　渡邊　智子 「日本人の食事摂取基準」策定の背景等を知るとともに、「日本食品標準成分表（八訂）」の改訂のポイントや学校給食における活用にあたっての留意点等を学び、献立作成に生かす方策について考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 189	新規採用者研修「栄養教諭５」講座		
開催日時	令和　5年　9月12日（火）9:00～16:00	講座のねらい	調理場における作業工程の実際と学校給食管理及び食に関する指導の在り方について学び、衛生管理者としての基礎的知識を習得する。
会　　場	京都府公立学校又は学校給食センター ※詳細は別途通知		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	
指標観点	栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	調理場における実地研修を通して、学校給食における危機管理に配慮した作業工程、作業動線等について学ぶとともに、日々の実践を振り返り改善すべき点等について具体的な方策を見いだす。 また、給食管理や食に関する具体的な指導について学び、栄養教諭の職務について理解を深める。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 190	新規採用者研修「栄養教諭６」講座		
開催日時	令和　5年11月　7日（火）10:30～17:00	講座のねらい	調理場における作業工程の実際と学校給食管理及び食に関する指導の在り方について学び、衛生管理者としての基礎的知識を習得する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	調理場における危機管理に配慮した作業工程や作業動線について学ぶとともに、給食管理や食に関する具体的な指導について学ぶ。 研究協議を通して日々の実践を振り返り、改善すべき点等に関する具体的な方策を見いだす。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 191	新規採用者研修「栄養教諭７」講座		
開催日時	令和　5年12月　5日（火）13:30～17:00	講座のねらい	「食に関する指導に係る全体計画」に基づいて、組織的に食育の推進を図ることの重要性を理解する。 ＩＣＴを効果的に活用した食育の指導について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】栄養教諭	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	チーム　栄養	ステージ	ステージⅠ
内　　容	府内の学校における組織的な食育の推進について学び、学校給食を活用した食に関する指導の在り方について理解する。 ＩＣＴを効果的に活用した食育の指導について体験的に学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 192	新規採用者研修「実習助手１」講座		
開催日時	令和　5年　5月18日（木）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の基本及び実習助手としての基本を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】実習助手	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　　容	各教科・各担当の教育活動を理解し、実習助手としての在り方について考える機会とする。 ※農業科担当実習助手は講座番号１５２の会場・内容参照 ※理科担当実習助手は講座番号１５３の会場・内容参照 ※自立活動担当実習助手は講座番号１６７の会場・内容参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 193	新規採用者研修「実習助手２」講座		
開催日時	令和　5年　6月15日（木）10:30～17:00	講座のねらい	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた学級、ホームルーム経営の充実について考える。 教育相談の基本的な考え方や具体的な対応について考える。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】実習助手	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	生指　チーム	ステージ	ステージⅠ
内　　容	学級、ホームルーム経営の基本について理解するとともに、課題解決に向けた具体的な方策について協議し、今後の実践に生かす。 教育相談の基本的な考え方や児童生徒理解の重要性について学び、児童生徒や保護者との信頼関係づくりや対応について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 194	実習助手「ステップアップ」講座		
開催日時	令和　5年11月　9日（木）13:30～17:00	講座のねらい	実験・実習等を行う上での実務を含む多様な知識を習得する。 実践研究の成果と課題について協議し、実践力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】実習助手		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	実験・実習等をする上での知識や安全管理について学ぶ。 実践研究の成果と課題を明らかにし、今後の目標を明確にする。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 195	新規採用者研修「学校事務職員１」講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	京都府の主要な教育政策について理解する。 事務職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】学校事務職員		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	第２期「京都府教育振興プラン」を通して、京都府の教育施策を理解する。 文書、給与、旅費、就修学支援制度の講義では、基本的な知識と実務を理解し、習得する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 196	新規採用者研修「学校事務職員２」講座		
開催日時	令和　5年　6月20日（火）10:30～17:00	講座のねらい	社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、児童生徒や保護者、地域の方々との人間関係の構築に役立てる。 事務職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校事務職員		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	接遇、電話対応、来客対応等の基礎とともに、社会人としての仕事に対する姿勢を学ぶ。 給与システム、旅費システム、マイナンバーシステムについて、演習を通して、理解を深め、習得する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 197	新規採用者研修「学校事務職員３」講座		
開催日時	令和　5年　7月18日（火）14:30～17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。 今後の業務改善や実務能力向上に向けた展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校事務職員	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	給与・共済・公務災害の基本的な制度を理解し、各実務を習得する。 日常点検や緊急対応処置等安全に配慮した施設維持管理の基礎や公務災害の制度や実務の基本を学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 198	新規採用者研修「学校図書館司書１」講座		
開催日時	令和　5年　6月20日（火）10:30～17:00	講座のねらい	社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、児童生徒や保護者、地域の方々との人間関係の構築に役立てる。 実践発表や図書館見学を通して、図書館経営の実際を学ぶ。
会　　場	京都府総合教育センター及び京都府立高等学校		
受講対象	【新採】学校図書館司書	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	接遇、電話応対、来客応対等の基礎とともに、社会人としての仕事に対する姿勢を学ぶ。 実践発表や図書館見学から図書館経営の実際を学び、今後の図書館経営の在り方、工夫や改善について考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 199	新規採用者研修「学校図書館司書２」講座		
開催日時	令和　5年　8月25日（金）10:30～17:00	講座のねらい	図書館の「学習・情報センター」としての機能を活用し、児童生徒が主体的に学ぶ「探究的な学習」について、授業構想力の向上を図る。
会　　場	京都府立図書館		
受講対象	【新採】学校図書館司書	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	京都女子大学図書館司書課程　講師　桂　まに子 府立図書館による学校支援について理解し、図書館教育についての知見を深める。学習・情報センターとしての学校図書館の在り方について学びを深め「調べ学習」の授業を構想する演習を行う。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 200	新規採用者研修「学校施設管理職員１」講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	京都府の主要な教育政策について理解する。 学校施設管理職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】学校施設管理職員		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	第２期「京都府教育振興プラン」を通して、京都府の教育施策を理解する。 文書、給与、旅費、就修学支援制度の講義では、基本的な知識と実務を理解し、習得する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 201	新規採用者研修「学校施設管理職員２」講座		
開催日時	令和　5年　6月20日（火）10:30～17:00	講座のねらい	社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、児童生徒や保護者、地域の方々との人間関係の構築に役立てる。 事務職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	接遇、電話応対、来客応対等の基礎とともに、社会人としての仕事に対する姿勢を学ぶ。 給与システム、旅費システム、マイナンバーシステムについて、演習を通して、理解を深め、習得する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 202	新規採用者研修「学校施設管理職員３」講座		
開催日時	令和　5年　7月18日（火）14:30～17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。 今後の業務改善や実務能力向上に向けた展望をもつ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	給与・共済・公務災害の基本的な制度を理解し、各実務を習得する。 日常点検や緊急対応処置等安全に配慮した施設維持管理の基礎や公務災害の制度や実務の基本を学ぶ。 ※動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンライン

No. 203	新規採用者研修「学校施設管理職員４」講座		
開催日時	令和　5年　7月26日（水）13:30～17:00	講座のねらい	学校の施設設備の維持管理について学び、業務への対応力を高める。 ＩＣＴ教育環境の基礎を学び、自校の教育活動を支援する力を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は単位制履修制度の概要を参照してください（P．２３～２６）
内　　容	ＩＣＴを活用した農業教育の現状と課題を学ぶとともに、樹木監理についての必要な知識や技術を習得し、安全に配慮した作業の在り方について理解を深める。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド

No. 221	２年目教員「ステップアップ１」講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	２年目教員ステップアップ研修のねらいを理解し、今後の見通しをもつ。 学習指導要領の趣旨や今日的な教育課題等を学び、自身の教育活動に生かす。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【２年目】教諭（小・中・義・高・特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　生指	ステージ	ステージⅠ
内　　容	指定動画コンテンツを視聴し、２年目教員ステップアップ研修の見通しをもつとともに、学習指導要領の内容や今日的な教育課題等について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 222	２年目教員「ステップアップ２」講座ａ（センター）		
開催日時	令和　5年　8月22日（火）10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にするとともに、授業改善に向けての具体的方策を見いだす。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【２年目】教諭（小Ａ・義前Ａ・中・義後・高） ※詳細は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし今後の実践に向けての方策を見いだす。 ※中・義後：国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭 ※高：国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、水産科担当教諭 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 223	２年目教員「ステップアップ２」講座ａ（北部）		
開催日時	令和　5年　8月22日（火）10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にするとともに、授業改善に向けての具体的方策を見いだす。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【２年目】教諭（中・義後・高） ※詳細は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし今後の実践に向けての方策を見いだす。 ※中・義後：理科、音楽科、美術科、保健体育科、家庭分野担当教諭 ※高：理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科書道、家庭科担当教諭 ※技術分野担当教諭は８月９日（水）に行います。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 224	２年目教員「ステップアップ２」講座ｂ（センター）		
開催日時	令和　5年　8月23日（水）10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にするとともに、授業改善に向けての具体的方策を見いだす。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	【２年目】教諭（小Ｂ・義前Ｂ・特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし今後の実践に向けての方策を見いだす。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 225	２年目教員「ステップアップ３」講座（センター）		
開催日時	令和　5年12月25日（月）10:30～17:00	講座のねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、今後の授業力向上に向けての方策を見いだす。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【２年目】教諭（小・中・義・高・特支） ※詳細は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	テーマ研修で取り組んだ授業実践報告を通し、今後の実践への展望をもつ。 ※中・義後：国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭 ※高：国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、情報科、農業科、商業科、水産科担当教諭 ※特別支援学校の教諭はオンライン研修とする。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 226	２年目教員「ステップアップ３」講座（北部）		
開催日時	令和　5年12月25日（月）10:30～17:00	講座のねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、今後の授業力向上に向けての方策を見いだす。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【２年目】教諭（中・義後・高） ※詳細は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージⅠ
内　　容	テーマ研修で取り組んだ授業実践報告を通し、今後の実践への展望をもつ。 ※中・義後：理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭 ※高：理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科書道、家庭科担当教諭 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

基　本　研　修

（中堅教諭等資質向上研修）

No. 251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰａ		
開催日時	令和　5年　6月16日（金）13:30～17:00	講座のねらい	中堅教諭等資質向上研修の意義と内容について理解し、中堅教諭等としての自覚と使命感を高めるとともに、人権意識の高揚と特別支援教育の重要性の理解を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権	ステージ	ステージ2
内　　容	京都府教育振興プランを踏まえ、公教育を担う中堅教諭等としての在り方や期待される京都府の教員像を学ぶとともに、１年間の研修の見通しを持つ。京都府の人権教育や特別支援教育についての理解を深め、あらゆる教育活動を通して推進していくための認識の深化と指導力の向上を図る。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰｂ		
開催日時	令和　5年　6月26日（月）13:30～17:00	講座のねらい	中堅教諭等資質向上研修の意義と内容について理解し、中堅教諭等としての自覚と使命感を高めるとともに、人権意識の高揚と特別支援教育の重要性の理解を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権	ステージ	ステージ2
内　　容	京都府教育振興プランを踏まえ、公教育を担う中堅教諭等としての在り方や期待される京都府の教員像を学ぶとともに、１年間の研修の見通しを持つ。京都府の人権教育や特別支援教育についての理解を深め、あらゆる教育活動を通して推進していくための認識の深化と指導力の向上を図る。 ※動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 253	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱａ		
開催日時	令和　5年　7月24日（月）13:30～17:00	講座のねらい	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善につなげる。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージ2
内　　容	京都大学大学院　准教授　奥村　好美 学習指導要領に基づいた幼児児童生徒の資質能力の育成に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について考えを深める。 ※対面受講希望者は、講座番号２５４を受講すること。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 254	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱｂ		
開催日時	令和　5年　8月　4日（金）13:30～17:00	講座のねらい	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善につなげる。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者、対面受講希望者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習	ステージ	ステージ2
内　　容	京都大学大学院　准教授　奥村　好美 学習指導要領に基づいた幼児児童生徒の資質能力の育成に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について考えを深める。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 255	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲａ		
開催日時	令和　5年　8月18日（金）13:30～17:00	講座のねらい	自校の教育目標を達成するため、カリキュラムの充実と改善を図る方策について学ぶ。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者、対面受講希望者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　マネ	ステージ	ステージ2
内　　容	上越教育大学大学院　教授　安藤　知子 「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメントの意義と各校における実践方法や全教職員で推進する方策について学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 256	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲｂ		
開催日時	令和　5年　8月25日（金）13:30～17:00	講座のねらい	自校の教育目標を達成するため、カリキュラムの充実と改善を図る方策について学ぶ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	学習　マネ	ステージ	ステージ2
内　　容	上越教育大学大学院　教授　安藤　知子 「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメントの意義と各校における実践方法や全教職員で推進する方策について学ぶ。 ※対面受講志望者は、講座番号２５５を受講すること。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

eラーニング

No. 257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳ		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	教育の動向についての理解を深め、中堅教諭等として実践力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	【中堅教諭等】	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　京都	ステージ	ステージ2
内　　容	佛教大学　副学長　原　清治 教育実践を行うために求められる教育政策や教育問題に関する最新の知識・情報の習得を目指すとともに、今日的な教育課題についての理解を深める。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合
オンライン

No. 258	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴａ		
開催日時	令和　6年　1月22日（月）13:30～17:00	講座のねらい	幼児児童生徒理解の視点から、教育相談や生徒指導を充実させるために必要な知識・技能を学び、学び続ける教師として今後のキャリアステージにおける職能成長への意欲を高める。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が奇数の対象者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　生指	ステージ	ステージ2
内　　容	京都連合教職大学院・京都産業大学　教授　角田　豊 幼児児童生徒の心を育む学校臨床力を学び、幼児児童生徒と教師のかかわり合いを省察する「プロセスレコード」について演習から学び実践につなげる。 自らの意識や行動の変容を振り返り、今後の在りたい姿を明確にする。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合
オンライン

No. 259	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴｂ		
開催日時	令和　6年　2月　9日（金）13:30～17:00	講座のねらい	幼児児童生徒理解の視点から、教育相談や生徒指導を充実させるために必要な知識・技能を学び、学び続ける教師として今後のキャリアステージにおける職能成長への意欲を高める。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※受講者番号が偶数の対象者	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　生指	ステージ	ステージ2
内　　容	京都連合教職大学院・京都産業大学　教授　角田　豊 幼児児童生徒の心を育む学校臨床力を学び、幼児児童生徒と教師のかかわり合いを省察する「プロセスレコード」について演習から学び実践につなげる。 自らの意識や行動の変容を振り返り、今後の在りたい姿を明確にする。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

専　門　研　修

（基本的資質能力）

オンデマンド

No. 301	ビジネスマナー講座（企業連携）		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、児童生徒や保護者、地域の方々との人間関係の構築に役立てる。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	定員を定めない
指標観点	**基本**	ステージ	**ステージ1（選択）**　ステージ2　ステージ3　ステージ4
内　　容	社会人として必要なビジネスマナーを身に付け、児童生徒や保護者、地域の方々との人間関係の構築に役立てる。 ※事務職員指定講座番号９５１ 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンライン

No. 302	コミュニケーション講座～信頼関係の構築に生かす～（企業連携）		
開催日時	令和　5年　8月21日（月）13:30～17:00	講座のねらい	児童生徒、保護者及び他の教職員とよりよい人間関係・信頼関係を構築するための積極的なコミュニケーション能力を身に付ける。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	**基本**　生指　マネ　チーム　京都	ステージ	ステージ1　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	社会人としてのコミュニケーションの基本知識から、児童生徒や保護者とのコミュニケーションに必要な傾聴スキルや、学校内外の様々な場面での対応に生かすことができるコミュニケーションスキルについて、講義だけでなくワーク等を通して学ぶ。 ※事務職員指定講座番号９５２ 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンライン

No. 303	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）		
開催日時	令和　5年　9月22日（金）13:30～17:00	講座のねらい	多忙化に対応し、効率的な業務の遂行に向けて業務改善を図るため、生産性の高い仕事を実現するためのセルフマネジメントの考え方を学ぶ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	**基本**　マネ　チーム	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	求められる役割や期待について理解を深め、セルフマネジメントの重要性を理解する。また、周囲との効果的な連携の手法や、生産性の高い仕事の実現に向けたスキルや考え方について講義・ワーク等を通して学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 304 これからのＩＣＴ教育講座

eラーニング

開催日時	P.189参照	講座のねらい	学習指導要領に示されている情報活用能力の育成等を踏まえて、現在の情報教育の動向を理解し、学校におけるＩＣＴ活用や情報活用能力の指導力向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	500名
指標観点	基本 / 人権 / 学習 / 生指	ステージ	ステージ１（選択） / ステージ２（選択） / ステージ３ / ステージ４
内　　容	園田学園女子大学　教授　堀田　博史 児童生徒の情報活用能力を育成するために、学校におけるＩＣＴ活用や情報教育の最新動向等を知り、授業づくりの方法を学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 305 校長講座

集合　オンライン

開催日時	令和　5年　7月14日（金）13:30～17:00	講座のねらい	社会や教育をめぐる今日的課題について学び、校（園）長として学校経営の充実と改善に生かす。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	校（園）長（幼・小・中・義・高・特支）	定　員	400名（集合200名、オンライン200名）
指標観点	基本 / 人権 / マネ / チーム	ステージ	ステージ４
内　　容	総合地球環境学研究所　所長　山極　壽一（元京都大学　総長） 講義と各校種校長とのパネルディスカッションにより教育の今日的課題と今後の展望について考える。 ※研修形態については、申込時に受講管理システムの備考欄に「集合」、「オンライン」のいずれかを入力してください。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 306 副校長・教頭・事務長講座

集合　オンライン

開催日時	令和　5年10月23日（月）13:30～17:00	講座のねらい	社会や学校が抱える今日的課題を踏まえ、副校長・教頭、事務長としての見識を高め、自校の学校経営の充実と改善を図る。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	副・頭、事務長（小・中・義・高・特支） ※３０７・３０８講座の対象者は必ず受講	定　員	450名
指標観点	基本	ステージ	ステージ４
内　　容	京都府立大学　文学部長　教授　　菱田　哲郎（元副学長） 株式会社綿善（綿善旅館）代表取締役　小野　雅世 ※研修形態については、申込時に受講管理システムの備考欄に「集合」、「オンライン」のいずれかを入力してください。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 307	府立学校副校長講座シリーズⅠ		
開催日時	令和　5年　8月　1日（火）13:30～17:00	講座のねらい	学校経営にあたる一員としての自覚を高めるとともに、学校経営・管理についての知識・理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	発令後２年目の府立学校首席副校長・副校長		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　マネ　チーム	ステージ	ステージ4
内　　容	※シリーズⅠ・Ⅱ（講座番号３０７・３０８）を全て受講すること（申込不要）。 ※講座番号３０６も必ず受講すること（申込必要）。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 308	府立学校副校長講座シリーズⅡ		
開催日時	令和　5年10月　2日（月）13:30～17:00	講座のねらい	学校経営にあたる一員としての自覚を高めるとともに、学校経営・管理についての知識・理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	発令後２年目の府立学校首席副校長・副校長		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　マネ　チーム	ステージ	ステージ4
内　　容	※シリーズⅠ受講該当者は必ず受講すること（申込不要）。 ※講座番号３０６も必ず受講すること（申込必要）。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

eラーニング

No. 309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	校長の方針のもと、自校の特色、課題を踏まえ明確なビジョンを持ち、円滑な教育活動及び学校経営の充実と改善を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	新任副・頭、新任事務長（小・中・義・高・特支）		
		定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　マネ　チーム	ステージ	ステージ4
内　　容	リーダーとして不断の研鑽に励み、自らの人格や調整力等の資質能力を高めながら、学校経営に参画することについて学ぶ。 また、自校の課題を踏まえ、人権や危機管理に配慮した学校経営の充実と改善について学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 310	新任管理職「ハラスメント防止」講座		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	管理職として「ハラスメント」について理解を深め、職員の勤務環境及び児童生徒の学習環境を守り、学校経営の充実と改善に生かす。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	新任校（園）長、新任副校長・新任教頭、新任事務長、新任総括主事（小・中・義・高・特支）	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　人権　マネ　チーム	ステージ	ステージ4
内　　容	京都府教育庁管理部教職員企画課　服務・安全係 「ハラスメント」について、管理職として必要な知識、果たすべき役割について学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 311	府立特別支援学校総括主事講座		
開催日時	令和　5年　6月12日（月）13:30～17:00	講座のねらい	学校経営にあたる一員としての自覚を高めるとともに、円滑な教育活動及び学校経営についての知識・理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	府立特別支援学校総括主事 ※詳細は内容参照	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	基本　マネ　チーム	ステージ	ステージ4
内　　容	管理職として必要な資質を向上するとともに、自校の課題を踏まえ、総括主事として果たすべき役割について学ぶ。 ※受講対象者は別途通知（申込不要） 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 312	管理職「教育の情報化推進」講座		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	ＩＣＴ教育について理解を深め、自校の学校経営の充実と改善を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	校（園）長、副・頭、事務長、総（幼・小・中・義・高・特支）	定　員	500名
指標観点	基本　学習　マネ　チーム	ステージ	ステージ4
内　　容	佛教大学　客員教授　古市　文章 最新の社会や国の動向と学校が目指すべき姿・ビジョンを踏まえた学校ＤＸについて学び、学校経営の充実と改善に生かす。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 313	教職員のメンタルヘルス講座		
開催日時	令和　5年10月31日（火）13:30～17:00	講座のねらい	メンタルヘルスについての知識や心理学的理解を深め、ストレスへの実践的な対処法を体験的に学び、教職員のこころの健康づくりに生かす。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	基本	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	公立学校共済組合近畿中央病院 メンタルヘルスケアセンター　副センター長　井上　麻紀 メンタルヘルスの視点から、教職員が職場で健康に過ごし、働くことができるための知識や対処法について、体験的に学ぶ。 ※事務職員指定講座番号９５３ 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		

集合

No. 314	絵本のひみつ～絵本の仕掛けと読み聞かせの意義を探る～研修講座（奈良県連携）		
開催日時	令和　5年　8月　4日（金）13:00～17:00	講座のねらい	読み聞かせの意義や実践方法について理解を深め、子どもに本の魅力を伝えるための方途を探り、家庭まで届く読書活動の方法を学ぶ。
会　　場	奈良県立教育研究所		
受講対象	校長、副・頭、総、教諭、養、栄（小・中・義・高・特支）	定　員	20名
指標観点	基本　マネ	ステージ	ステージ1　**ステージ2**　ステージ3　ステージ4
内　　容	鳴門教育大学大学院　教授　余郷　裕次 絵本にかくされた仕掛けと絵本の読み聞かせや音読による効果を学ぶ。子どもから家庭にまで、読書の楽しみを届けられるようなスキルを探る。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

専　門　研　修
（　人　権　）

集合

No. 351	スクールソーシャルワーク講座		
開催日時	令和　5年　7月27日（木）13:30～17:00	講座のねらい	ソーシャルワークの視点から、児童虐待、いじめ、不登校等の防止と解決に必要な視点について学び、他職種、専門機関と連携して支援できる力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※まなび・生活アドバイザーの聴講も可	定　員	100名
指標観点	人権　生指	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都府まなび・生活アドバイザー　スーパーバイザー 社会福祉士　　長澤　哲也 子どもと保護者を支援するためのスクールソーシャルワークについて学ぶ。主に学校が担うプラットフォームとしての役割と、他職種・専門機関との連携について理解を深める。 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		

集合

No. 352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～		
開催日時	令和　5年　8月　9日（水）10:30～17:00	講座のねらい	現代的な課題を踏まえた人権教育の指導の在り方について学び、主体的かつ組織的に人権教育を推進するための校内研修の工夫や改善に生かす。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	人権　マネ　チーム　京都	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	大阪多様性教育ネットワーク　共同代表　土田　光子 実践発表から、人権教育の具体について学ぶ。 演習を通して、人権学習、集団の中での人間関係づくりを知り、共生社会を創造していく人権学習の方策を学ぶ。 ※事務職員指定講座番号９５４ 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンライン

No. 353	人権教育講座Ⅱ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～		
開催日時	令和　5年11月21日（火）13:30～17:00	講座のねらい	人権教育を推進するための基本的な考え方や人権教育の指導の在り方等について理解を深め、的確に実践できる指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	人権　チーム	ステージ	**ステージ1（選択）**　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都教育大学　教授　浜田　麻里 外国にルーツをもつ児童生徒に係る指導や支援の在り方について理解を深め、具体例をもとに自校での実践に生かす。 ※事務職員指定講座番号９５５ 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 354	子どもの貧困と学習支援講座		
開催日時	令和　5年　7月　3日（月）13:30～17:00	講座のねらい	子どもの貧困の現状を理解し、プラットホームとしての学校に求められる支援について理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	50名
指標観点	人権	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	立命館大学　特任教授　野田　正人 子どもの貧困問題を理解し、学校が取り組むべき支援の流れとその具体策について学ぶ。また、研究協議により、自校における課題や今後の取組について、具体的方策を考える。 ※申込・動画視聴については、P．１８５参照 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンデマンド

集合

専　門　研　修

（学習指導）

オンデマンド
オンライン

No. 401	小学校国語科教育講座		
開催日時	令和　5年　7月　7日（金）14:00～17:00	講座のねらい	主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業づくりの実際について、演習を通して具体的に学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・義前・特支）	定　員	70名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 国立教育政策研究所　教育課程調査官　大塚　健太郎 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業づくりの実際について、効果的なＩＣＴ活用や学習評価とも関連付けながら学ぶ。 ※申込・動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンライン

No. 402	小・中・高国語科の授業におけるＩＣＴ活用講座		
開催日時	令和　5年　8月　8日（火）13:30～17:00	講座のねらい	国語科における効果的なＩＣＴの活用について、理論と実践を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	国語科担当教諭（小・中・義・高・特支）	定　員	70名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	都留文科大学　教授　野中　潤 基本的な理論に加え、全国のさまざまな校種の近年の実践例から、国語科における効果的なＩＣＴの活用について理解を深めるとともに、演習を通してＩＣＴの活用を効果的に位置付けた具体的な授業場面や単元について考える。 ※受講用の端末と演習で使用する端末の２台を準備する。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド
オンライン

No. 403	中高国語科教育講座		
開催日時	令和　5年　6月　9日（金）14:00～17:00	講座のねらい	指導と評価の一体化を踏まえた単元構想について学び、授業実践力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	国語科担当教諭（中・義後・高・特支）	定　員	70名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	文部科学省初等中等教育局　視学官 国立教育政策研究所　教育課程調査官・学力調査官　大滝　一登 指導と評価の一体化についての理解を深めるとともに、具体的な教材を用いた単元構想や考査問題作成の演習を行い、評価の在り方等について学ぶ。 ※申込・動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 404 小学校社会科教育講座

オンデマンド　オンライン

開催日時	令和　5年　6月16日（金）14:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について、演習を通して具体的に学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・義前・特支）	定　員	70名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4

内　容

文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官
国立教育政策研究所　教育課程調査官　小倉　勝登

学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導や、社会科における問題解決的な学習過程の充実について、演習を通して具体的に学ぶ。

※申込・動画視聴についてはP．１８７参照

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

No. 405 中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座

オンデマンド　オンライン

開催日時	令和　5年　6月13日（火）14:30～17:00	講座のねらい	中学校社会科公民的分野及び高等学校公民科における、主権者教育やＩＣＴを活用した授業実践から授業構想を行い、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	社会科担当教諭（中・義後・特支）、地理歴史科・公民科担当教諭（高・特支）	定　員	70名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4

内　容

文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官
国立教育政策研究所　教育課程調査官　磯山　恭子

主権者教育やＩＣＴを活用した授業実践について理解を深め、単元構想や授業改善について、演習を通して具体的に学ぶ。

※申込・動画視聴についてはP．１８７参照

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

No. 406 小中算数科・数学科教育講座

集合

開催日時	令和　5年　6月　2日（金）10:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえながら、小中９年間を見通して数学的な見方・考え方を育てるための、算数科・数学科の授業の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭（小・義前・特支）、数学科担当教諭（中・義後・特支）	定　員	60名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4

内　容

国立教育政策研究所　教育課程調査官　笠井　健一
国立教育政策研究所　教育課程調査官　水谷　尚人

数学的な見方・考え方を育てるための算数科・数学科の授業の在り方や教材研究の方策、ＩＣＴの有効な活用法を学ぶ。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

集合

No. 407	高等学校数学科教育講座 ～ＩＣＴを効果的に活用した授業例から学ぶ～		
開催日時	令和　5年　7月　3日（月）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえながら、明日の授業に生かせる具体的な教材とその展開例をもとに、評価規準、評価方法等について理解を深め、指導力向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	数学科担当教諭（高・特支）	定　員	32名
指標観点	学習	ステージ	ステージ１（選択）　ステージ２（選択）　**ステージ３**　ステージ４
内　　容	奈良学園大学　教授　吉田　明史 数学的な見方・考え方を育てるための授業を構築するにあたり、高等学校数学科の具体的な教材とその展開例から学習指導要領改訂のポイント、指導と評価の在り方や授業におけるＩＣＴの効果的な活用方法について学び、具体的な方策を考える。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 408	小学校実技どんとこい！理科＆家庭科講座		
開催日時	令和　5年　8月　9日（水）10:30～17:00	講座のねらい	理科の実験と家庭科の実習に関する基礎的・基本的な技能を習得し、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭（小・義前・特支） ※６年目までの教諭は受講が望ましい	定　員	32名
指標観点	学習	ステージ	**ステージ１（選択）**　ステージ２（選択）　ステージ３　ステージ４
内　　容	理　科：顕微鏡や双眼実体顕微鏡などの観察用具、薬品やガラス器具の安全な扱い方等を習得する。 家庭科：ミシンの取扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、製作についての指導方法を考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

オンデマンド

集合

No. 409	中学校理科授業づくり講座【授業構想編】 ～小中のつなぎとＩＣＴ活用を意識して～		
開催日時	令和　5年　8月21日（月）13:30～17:00	講座のねらい	小学校・中学校の学びの接続を意識し、より豊かで確かな「理科の見方・考え方」を身に付け科学的思考力を育む授業を創造する力を高める。
会　　場	京都教育大学		
受講対象	理科担当教諭（中・義後・特支） ※講座番号４１０が受講できる者	定　員	24名
指標観点	学習	ステージ	**ステージ１（選択）**　ステージ２（選択）　ステージ３
内　　容	京都教育大学　教授　谷口　和成 動画の内容を踏まえ、「理科の見方・考え方」を育てる実践例をもとに、小・中学校をつないだ科学的思考力を育む理科の授業づくりについて考える。学んだことをもとにグループで指導案を作成し、2学期の実践につなげる。 ※講座番号４１０を必ず受講　※申込・動画視聴についてはＰ．１８５参照 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 410 中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】～小中のつなぎとＩＣＴ活用を意識して～

集合

開催日時	令和　6年　1月26日（金）13:30～17:00	講座のねらい	小学校・中学校の学びの接続を意識し、より豊かで確かな「理科の見方・考え方」を身に付け科学的思考力を育む授業を創造する力を高める。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	理科担当教諭（中・義後・特支） ※講座番号４０９を受講した者	定　員	24名
指標観点	学習	ステージ	ステージ１（選択）　ステージ２（選択）　ステージ３
内　　容	授業構想編で作成した指導案をもとに授業を行い、そこで得られた成果と課題を持ち寄り、研究協議を行う。 ※講座番号４０９受講者は必ず受講すること（申込不要）。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 411 高等学校理科実験講座～ＩＣＴを活用した実験を授業へ～

集合

開催日時	令和　5年　7月31日（月）13:30～17:00	講座のねらい	高等学校理科において、実験でＩＣＴを活用する方法を体験的に学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	理科担当教諭（高・特支）・実習助手（理科）	定　員	16名
指標観点	学習	ステージ	ステージ１（選択）　ステージ２（選択）　ステージ３　ステージ４
内　　容	九州産業大学　准教授　猪本　修 物理分野の実験を例に、センサーと連携したＩＣＴ活用及び実験でのデータの活用の仕方や授業の在り方などを演習等を通して体験的に学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 412 最先端科学から学ぶ講座

集合

開催日時	令和　5年10月20日（金）10:30～17:00	講座のねらい	先進的な研究施設において、第一線の研究者からの講義等を通して、最先端技術と実生活との関連や探究の方法等をどのように授業に生かすかを考える。
会　　場	京都大学百周年時計台記念館（午前） 京都大学総合博物館（午後）		
受講対象	教諭（小・義・特支）、理科担当教諭（中・義・高・特支）、実習助手（理科）	定　員	40名
指標観点	学習	ステージ	ステージ１　ステージ２（選択）　ステージ３　ステージ４
内　　容	京都大学アジア・アフリカ地域研究科　准教授　木下　こづえ 京都大学野生動物研究センター　教　授　平田　　聡 助　教　徳山　奈帆子 チンパンジーやボノボなど動物に関する最新の研究について学び、これからの教育との関わりや授業への生かし方について考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 413	幼小特支「図画工作科の授業づくり」講座 ～造形遊びの指導とＩＣＴ活用～		
開催日時	令和　5年　8月23日（水）13:30～17:00	講座のねらい	造形遊びの指導とＩＣＴ活用について学び、表現や鑑賞の教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭（幼・小・義前・特支）、美術科担当教諭（中・義後・特支）	定　員	50名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	鳴門教育大学　教授　山田　芳明 講義・演習を通して、造形遊びの指導と評価について学ぶ。 造形遊びにおけるICTの効果的な活用について理解する。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 414	小学校実技どんとこい！ 「つくってみよう」音楽科＆図画工作科講座		
開催日時	令和　5年　7月26日（水）10:30～17:00	講座のねらい	音楽科と図画工作科の表現の活動における基本的な実技を通して教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭（小・義前・特支） ※６年目までの教諭の受講が望ましい	定　員	32名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	音　楽　科：児童が楽しみながら思いや意図をもって音楽創作できる指導を考える。 図画工作科：児童が自分の思いをもって表現できる指導を考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 415	箏×尺八　合わせて奏でる和楽器基礎実技講座		
開催日時	令和　5年　8月24日（木）13:30～17:00	講座のねらい	我が国の伝統的な楽器の基礎奏法を学び、和楽器アンサンブルを通して和楽器の効果的な指導方法を考える。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭（小・義前・特支）、音楽科担当教諭（中・義後・特支） 芸術科音楽担当教諭（高・特支）	定　員	25名
指標観点	学習　京都	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3
内　　容	箏演奏家　　立道　明美 尺八演奏家　塚本　芽山 箏と尺八を事前に選んで受講することとし、琴柱の立て方や演奏姿勢を含む基礎奏法を学ぶと共に、和楽器アンサンブルを通して、伝統音楽の効果的な指導方法や効果的なＩＣＴ活用を考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 416	中高音楽 「能の節を謡ってみよう＆タブレットでお囃子を創ろう」講座		
開催日時	令和　5年　8月17日（木）13:30～17:00	講座のねらい	能「敦盛」と「羽衣」の謡の実技とタブレット端末での囃子創作を通して、能楽の理解を深め、能の学習を通して育む資質・能力を考える。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	音楽科担当教諭（中・義後・特支）、芸術科音楽担当教諭（高・特支）	定　員	30名
指標観点	学習　京都	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	東京藝術大学　准教授　水上　優 能楽「敦盛」と「羽衣」の謡の実習を通して、強吟と弱吟の違いを理解し、謡の歌唱技能を身に付ける。 伝統音楽の指導におけるＩＣＴ活用を考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 417	中高美術講座～映像メディア表現～		
開催日時	令和　5年12月　1日（金）13:30～17:00	講座のねらい	映像メディアの特質を生かした表現や鑑賞について学び、教科指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	美術科担当教諭（中・義後・特支）、芸術科美術、芸術科工芸担当教諭（高・特支）	定　員	30名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都市立芸術大学　教授　石橋　義正 映像メディア表現の豊かな表現の可能性、意図と工夫などを学び、発想や構想、鑑賞などの指導に生かすヒントを得る。タブレット端末を用いた映像制作についても触れ、美術の幅広い創造活動を支える授業力を高める。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～		
開催日時	令和　5年　8月　9日（水）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて学ぶとともに、危険を伴う実習に対する安全管理や指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	技術・家庭科（技術分野）担当教諭（中・義後・特支）	定　員	16名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都教育大学　教授　原田　信一 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて考え、木工やハンダ付けなどの危険を伴う実習の指導方法や安全管理について実技を通して学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 419	小学校家庭科講座～深める授業づくりのためのＩＣＴ活用～		
開催日時	令和　5年　8月　8日（火）13:30～17:00	講座のねらい	家庭科の学習場面に応じたＩＣＴ活用と授業づくりについて学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭（小・義前・特支）	定　員	40名
指標観点	学習	ステージ	ステージ１（選択）　**ステージ２（選択）**　ステージ３　ステージ４
内　　容	兵庫教育大学　教授　永田　智子 学習指導要領の趣旨を踏まえた家庭科の学習について理解し、学習場面に応じたＩＣＴ活用と授業に生かす方法を体験的に学び、これからの授業づくりについて考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

オンライン

No. 420	中高家庭科講座 ～これからの学習評価とＩＣＴを活用した授業づくり～		
開催日時	令和　5年10月20日（金）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領における学習評価について理解し、授業づくりにどのように生かすかを考える。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	技術・家庭科（家庭分野）担当教諭（中・義後・特支）、家庭科担当教諭（高・特支）	定　員	50名
指標観点	学習	ステージ	ステージ１（選択）　**ステージ２（選択）**　ステージ３　ステージ４
内　　容	三重大学　准教授　村田　晋太朗 学習評価を授業設計に生かす重要性について学び、魅力的な授業にするための方策について考える。校種の接続と内容の系統性を重視した家庭科の授業の在り方について考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

オンデマンド

オンライン

No. 421	小中外国語教育講座～言語活動を通した授業設計と評価～		
開催日時	令和　5年　7月　4日（火）14:00～17:00	講座のねらい	児童生徒に身に付けさせたい外国語の力について理論と事例から具体的に学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・義前・特支）、外国語科担当教諭（中・義後・高・特支）	定　員	70名
指標観点	基本　学習　京都	ステージ	ステージ１（選択）　**ステージ２（選択）**　**ステージ３**　ステージ４
内　　容	岐阜聖徳学園大学　准教授　加藤　拓由 言語活動を通して、コミュニケーションを楽しみながら児童生徒と共に作る授業について考える。適切に評価するための方策を学ぶ。 ※申込・動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 422 中高外国語科教育講座Ⅰ～授業でできる即興型英語とディベート～

集合

開催日時	令和　5年　8月　8日（火）13:30～17:00	講座のねらい	外国語科の４技能を活用しながら生徒の論理的な思考力、発信力、プレゼンテーション力が身に付く授業の構成について学ぶ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	外国語科担当教諭（中・義・高・特支）	定　員	50名
指標観点	基本　**学習**　京都	ステージ	ステージ１(選択)　**ステージ２(選択)**　**ステージ３**　ステージ４

内　　容

大阪公立大学　准教授　中川　智皓

即興型の英語ディベートを通して、実際のコミュニケーションでの目的や場面に応じて思考し、発信できる生徒を育成するための実践的な指導方法について学ぶ。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

No. 423 中高外国語科教育講座Ⅱ～言語活動をデザインする～

オンライン

開催日時	令和　5年12月　5日（火）13:30～17:00	講座のねらい	技能統合型の言語活動を効果的にデザインする方法について学び、授業構想力・指導力・指導技術の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	外国語科担当教諭（中・義・高・特支）	定　員	70名
指標観点	**学習**　京都	ステージ	ステージ１　**ステージ２(選択)**　**ステージ３**　ステージ４

内　　容

群馬大学　講師　津久井　貴之

学習評価の具体を通して、技能統合型の言語活動をデザイン・修正・カスタマイズする方法を学ぶ。

言語活動を円滑に行うための「支援」につながる教師と生徒の英語によるやり取りやＩＣＴ活用について実践例から具体的な方策を学ぶ。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

No. 424 道徳科の授業実践力向上講座

集合

開催日時	令和　5年　6月30日（金）13:30～17:00	講座のねらい	「特別の教科　道徳」の授業における指導改善の方策を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	70名
指標観点	基本　**学習**	ステージ	ステージ１(選択)　**ステージ２(選択)**　ステージ３　ステージ４

内　　容

四天王寺大学　教授　杉中　康平

「特別の教科　道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について演習を通して学び、授業改善に生かす。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

オンデマンド
オンライン

No. 425 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座

開催日時	令和　5年10月27日（金）13:30～17:00	講座のねらい	今、求められている総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方について理解し、創意工夫あふれる探究的な単元づくりを構想する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	学習　チーム	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4

内　容

文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官
国立教育政策研究所　教育課程調査官　齋藤　博伸

動画視聴により総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方について理解を深める。実践的な事例や演習を通して、質の高い探究的・協働的な単元づくりについての方策を学ぶ。※申込・動画視聴についてはP．１８７参照

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

オンデマンド

No. 426 中堅期へのジャンプアップ講座 ～個別最適化された学びを実現するＩＣＴ活用～

開催日時	P.184参照	講座のねらい	学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」について考えるとともに、ステージ２（中堅期）への展望をもつ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支） ※３年目から６年目までの教諭は受講が望ましい。	定　員	100名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2

内　容

放送大学　客員准教授　倉澤　昭

学習指導要領における資質・能力の育成のための指導と評価について理解を深め、主体的・対話的で深い学びを実現する授業におけるＩＣＴの効果的な活用法を学ぶ。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

集合

No. 427 幼児教育と小学校教育の架け橋講座

176合同

開催日時	令和　5年　6月27日（火）10:30～17:00	講座のねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼小の接続を踏まえた幼児児童への指導や支援について理解を深め、自校（園）の接続カリキュラムの実践につなげる。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	学習　生指　マネ	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4

内　容

横浜市立恩田小学校　校長　寶來　生志子

幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児教育と小学校入学後の教育について理解を深め、接続カリキュラムの意義や作成について学ぶ。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

No. 428	育ちと学びをつなぐ幼児教育＆生活科講座 ～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～		
開催日時	令和　5年10月　2日（月）10:30～17:00	講座のねらい	幼児理解に基づく質の高い保育について学び、自校の教育に取り入れる視点をもち、指導力の向上を図る。また、幼児教育の手法を生活科の指導に生かす方策について理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	**学習**　生指　マネ	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	武庫川女子大学　准教授　藤本　勇二 学習指導要領の趣旨を踏まえた生活科の指導の具体について学ぶ。また、幼児理解に基づく幼児教育の手法について理解を深め、生活科の指導に生かす方策について見いだす。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 429	学力充実講座		
開催日時	令和　5年12月12日（火）13:30～17:00	講座のねらい	指導と評価の一体化の具体について理解を深め、求められる資質・能力を育成するための単元を構想する実践力を培う。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支） ※6月講座で申込（2回で1講座とする）	定　員	50名
指標観点	**学習**　チーム	ステージ	ステージ1　ステージ2（選択）　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	國學院大學　教授　田村　学 １回目：事前の動画を視聴し、授業改善の視点について理解を深める。 ２回目：令和５年１２月１２日（火） 自己の実践を振り返り、質の高い単元づくりについての方策を学ぶ。 ※申込・動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 430	全国学力・学習状況調査活用講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	令和５年度全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、英語）の結果から児童生徒の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策等について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	学力向上担当教諭（小・中・義・特支）	定　員	300名
指標観点	**学習**	ステージ	ステージ1　ステージ2　ステージ3　ステージ4
内　　容	令和５年度全国学力・学習状況調査質問紙の結果に見られる本府児童生徒の状況について学ぶ。 指定動画コンテンツを視聴し、学習指導要領に基づいた効果的な授業の在り方を考え、実践に活かす。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 431	図書館教育講座 ～調べ学習を支援する学習・情報センターとしての在り方～		199合同
開催日時	令和　5年　8月25日（金）10:30～17:00	講座のねらい	図書館の「学習・情報センター」としての機能を活用し、児童生徒が主体的に学ぶ「探究的な学習」について、授業構想力の向上を図る。
会　　場	京都府立図書館		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都女子大学図書館司書課程　講師　桂　まに子 府立図書館による学校支援について理解し、図書館教育についての知見を深める。学習・情報センターとしての学校図書館の在り方について学びを深め、「調べ学習」の授業を構想する演習を行う。 ※事務職員指定講座番号９５６ 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

集合

No. 432	小学校プログラミング教育講座		
開催日時	令和　5年　9月　8日（金）10:30～17:00	講座のねらい	人間がコンピュータに意図した処理を行うように指示できることを理解し、児童に体験させる指導方法について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭（小・義前・特支）	定　員	30名
指標観点	基本　学習　生指	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3
内　　容	ＮＰＯ法人学習開発研究所　理事（代表） 千里金蘭大学　名誉教授　高橋　参吉　ほか プログラミング教育の考え方を学ぶ。 問題解決の目的や状況に応じて、情報と情報技術を効果的に活用するための考え方を理解する。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 433	中学校・高等学校プログラミング教育講座		
開催日時	令和　5年　9月　4日（月）10:30～17:00	講座のねらい	人間がコンピュータに意図した処理を行うように指示できることを理解し、生徒に体験させる指導方法について学び、指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	技術・家庭科（技術分野）担当教諭（中・義後・特支）、情報科担当教諭（高・特支）	定　員	30名
指標観点	基本　学習　生指	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	大阪電気通信大学　特任講師　大村　基将 学習指導要領における中学校・高等学校でのプログラミング教育についての基本的な考え方を学ぶ。 手順を論理的に示すアルゴリズムやプログラミングの基礎的な学習、データサイエンスに関する指導方法について学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 434	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ⅰ		
開催日時	令和　5年　5月26日（金）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領に示されている情報活用能力の育成等を踏まえて、現在の情報教育の動向を理解し、学校におけるＩＣＴ活用や情報活用能力、デジタルシティズンシップ教育の指導力向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	450名
指標観点	基本　人権　**学習**　生指	ステージ	ステージ１（選択）　ステージ２（選択）　ステージ３　ステージ４
内　　容	茨城大学　准教授　小林　祐紀 情報活用能力の育成やＩＣＴ活用に関する現状と活用事例を知り、各校の取り組み状況について協議を行うことを通して効果的なＩＣＴ活用の手法について理解を深める。 ※申込・動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 435	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ⅱ		
開催日時	令和　5年11月21日（火）13:30～17:00	講座のねらい	学習指導要領に示されている情報活用能力の育成等を踏まえて、現在の情報教育の動向を理解し、学校におけるＩＣＴ活用や情報活用能力、デジタルシティズンシップ教育の指導力向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	450名
指標観点	基本　人権　**学習**　生指	ステージ	ステージ１（選択）　ステージ２（選択）　ステージ３　ステージ４
内　　容	茨城大学　准教授　小林　祐紀 情報活用能力の育成とＩＣＴを活用した研究協力校の実践発表を通して、勤務校における効果的なＩＣＴ活用の手法について理解を深める。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 436	最新ＩＣＴ動向講座～Society5.0社会を学ぶ～		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	Society5.0社会に向けた最新のＩＣＴ動向について幅広い見識を養い、ＶＵＣＡ時代に生きる児童生徒が必要な資質能力への理解を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	300名
指標観点	基本　**学習**	ステージ	ステージ１（選択）　ステージ２（選択）　ステージ３　ステージ４
内　　容	福知山公立大学　副学長　西田　豊明 教　授　畠中　利治 准教授　渡邉　扇之介 ＡＩ（人工知能）やデータサイエンスの展望、教育ビッグデータの活用と今後の方向性、プログラミング教育に必要な最適化処理を学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 437	授業に生かすファシリテーション講座（企業連携）		
開催日時	令和　5年　7月10日（月）10:30～17:00	講座のねらい	主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たすためのファシリテーションスキルを体得する。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	70名
指標観点	基本　人権　**学習**　生指　マネ	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	児童生徒の意欲と能力を最大限に引き出す教育コーチングの基本的な考え方を理解する。生徒の主体的な学びを支援する伴走者としてのファシリテーションスキルを、講義やワーク、ロールプレイング等の演習を交えながら実践的に学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 438	地球環境学講座		
開催日時	令和　5年　6月　5日（月）10:30～17:00	講座のねらい	地球環境問題に対し、地球規模でどのように人と自然の関係を築き上げていくべきかを文理融合的に考えることで、教科横断的な指導力の向上を図る。
会　　場	総合地球環境学研究所		
受講対象	全教職員	定　員	40名
指標観点	基本　**学習**　京都	ステージ	**ステージ1（選択）**　**ステージ2（選択）**　**ステージ3**　**ステージ4**
内　　容	総合地球環境学研究所　教授　阿部　　健一 教授　林　　健太郎 教授　新城　　竜一 「子どもに伝えたい環境学」、「窒素を手に入れた人類」、「サンゴは何でも知っている」の３つの講義から地球環境問題を学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

オンデマンド

集合

No. 439	特別支援学級における授業づくり講座～知的障害に焦点を当てて～		
開催日時	令和　5年　6月13日（火）13:00～17:00	講座のねらい	知的障害の障害特性について学ぶとともに、授業参観により、特別支援学級における具体的な指導・支援について、理解を深める。
会　　場	京都府立宇治支援学校		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	人権　**学習**	ステージ	**ステージ1（選択）**　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都教育大学　教授　相澤　雅文 知的障害児への効果的な指導・支援を学ぶ。 ※申込・動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 440 聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座

オンデマンド　集合

開催日時	令和　5年　6月19日（月）13:30～17:00	講座のねらい	聴覚障害のある児童生徒への理解を深め、授業づくりの基本的な考え方や必要な配慮について学ぶ。
会　　場	京都府立聾学校		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	人権　**学習**	ステージ	**ステージ1（選択）**　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	授業参観や施設見学等を通して、聴覚障害のある児童生徒の障害理解や、特性に応じた指導・支援の在り方及び効果的な指導方法を学ぶ。 ※申込・動画視聴についてはP．１８５参照 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 441 病弱児童生徒へのオンライン授業を含めた指導・支援講座

オンライン

開催日時	令和　5年　8月18日（金）13:30～17:00	講座のねらい	病弱児童生徒への実際のオンライン授業や事例を通して、具体的な指導・支援等について理解を深める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	50名
指標観点	人権　**学習**　養護　栄養	ステージ	**ステージ1（選択）**　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都女子大学　教授　滝川　国芳 病弱教育の定義や教育課程、現在の制度や課題、授業の工夫（ＩＣＴ活用を含む）高等学校における遠隔授業の取組紹介、病気の子どもや家族の心理について講義を通して学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 442 心理検査から支援を深める講座

特支Co　集合

開催日時	令和　5年　9月12日（火）13:30～17:00	講座のねらい	心理検査を中心とした様々なアセスメント情報から総合的に分析し、支援を提案する力の向上を目指す。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※内容参照	定　員	30名
指標観点	人権　**学習**	ステージ	ステージ1　ステージ2　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	平安女学院大学　教授　清水　里美 アセスメントの分析、支援内容の組立、校内への発信等、実際的な支援の提案を仮想事例を通して学ぶ。 ※教育支援委員会でその業務にあたる等、心理検査経験者を想定 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

専　門　研　修

（生徒指導）

オンライン

No. 451 情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座

開催日時	令和　5年　6月　2日（金）10:30～17:00	講座のねらい	情報社会の特性や最新事情、新たな情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育の基本的な考え方や重要性を学び、指導力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	基本　人権　学習　**生指**	ステージ	**ステージ1（選択）**　**ステージ2（選択）**　**ステージ3**　ステージ4

内　容

鳥取県デジタル・シティズンシップエデュケーター
国際大学ＧＬＯＣＯＭ　客員研究員　今度　珠美

児童生徒を取り巻く情報社会の実情を学び、児童生徒の実態に基づいた効果的な指導や保護者への啓発、児童生徒と共に考える新たな情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育について理解を深める。

連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）

集合

No. 452 特別活動講座～よりよく合意形成を図る話合い活動を目指して～

開催日時	令和　5年　7月　5日（水）13:30～17:00	講座のねらい	特別活動の意義や学校の教育課程における役割、指導方法等の本質を学び、特別活動の充実に向けた実践的な指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	**生指**	ステージ	**ステージ1（選択）**　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4

内　容

文部科学省初等中等教育局　視学官　安部　恭子

特別活動の意義や集団活動を通した児童生徒の自治的能力の育成について学ぶ。話合い活動におけるよりよい合意形成について、演習等を交えて実践的に学ぶ。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

オンデマンド

No. 453 学級、ホームルーム経営講座 ～学級、ホームルーム経営の充実を考える～

開催日時	P.184参照	講座のねらい	学級・ホームルームの在り方や学級・ホームルーム担任としての教師の営みを学び、学級・ホームルーム経営の力量を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	定員を定めない
指標観点	**生指**　チーム	ステージ	**ステージ1（選択）**　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4

内　容

日本大学　教授　藤平　敦

児童生徒の学習や学校生活の基盤である学級・ホームルームの在り方や教師の営みを学び、これからの学級・ホームルーム経営を考える。

連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）

No. 454 キャリア教育講座～学びを生かす実践～

開催日時	令和　5年12月　1日（金）13:30～17:00	講座のねらい	キャリア教育の意義を理論的に整理するとともに、自校の教育目標に応じた今求められるキャリア教育の在り方について考える。
会　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	70名
指標観点	学習 / **生指** / チーム / 京都	ステージ	ステージ1（選択） / **ステージ2（選択）** / ステージ3 / ステージ4
内　容	国立教育政策研究所教育課程研究センター　教育課程調査官　長田　徹 事前の動画視聴を通してキャリア教育について理論的に学ぶ。 オンライン研修では「変化に対応できる力」、「学び続ける姿勢」を育てていくために、納得解を見いだす教育活動の在り方について実践例を踏まえて考える。　※申込・動画視聴についてはP．１８７参照 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 455 生徒指導講座～新しい「生徒指導提要」を理解する～

開催日時	P.184参照	講座のねらい	生徒指導提要（改訂版）に基づいた生徒指導の在り方や考え方を理解し、実践的な指導力の向上を図る。
会　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	定員を定めない
指標観点	**生指** / チーム	ステージ	**ステージ1（選択）** / **ステージ2（選択）** / ステージ3 / ステージ4
内　容	生徒指導提要（改訂版）のポイントを理解し、学校現場での生かし方や保護者、児童生徒への支援を、独立行政法人教職員支援機構立命館大学センター教職員講座の動画から学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

No. 456 はじめての特別支援学級・通級による指導講座

開催日時	P.184参照	講座のねらい	特別支援学級、通級による指導の基礎的な内容について理解する。
会　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	人権 / 学習 / **生指** / 養護 / 栄養	ステージ	**ステージ1（選択）** / ステージ2（選択） / ステージ3 / ステージ4
内　容	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が配信している、各障害種に応じた教育課程や自主活動等に関する動画（１本３０分程度）を３本視聴する。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

オンライン

No. 457	多様性を認め合える教科指導と学級経営講座 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現～		特支Co
開催日時	令和　5年11月24日（金）13:30～17:00	講座のねらい	通常の学級におけるユニバーサルデザインの視点からの教科指導と、多様な児童生徒の学びの在り方とそれを支える学級経営について理解を深める。
会　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	人権 / 学習 / **生指** / 養護 / 栄養	ステージ	ステージ1（選択） / **ステージ2（選択）** / ステージ3 / ステージ4
内　容	関西学院初等部　副校長　村田　辰明 講義や研究協議を通して、ユニバーサルデザイン授業やＩＣＴを活用した多様な児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現について考える。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

オンデマンド

No. 458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】		特支Co
開催日時	P.184参照	講座のねらい	インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援教育の基本的理念や京都府の現状及び最新の動向を学び、コーディネーターとして校内体制を推進する力を身に付ける。
会　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	人権 / **生指** / チーム / 養護 / 栄養	ステージ	ステージ1（選択） / **ステージ2（選択）** / ステージ3 / ステージ4
内　容	京都府におけるインクルーシブ教育システム、コーディネーターの役割等に関する動画（各２０～３０分程度）を４本視聴する。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

集合

No. 459	京都教育大学サテライト 「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座		特支Co
開催日時	令和　5年　9月29日（金）13:30～17:00	講座のねらい	発達障害のある児童生徒の理解と具体的な支援、医療と連携した生涯に渡る一貫した支援について学ぶと共に、自立と社会参加について考える。
会　場	キャンパスプラザ京都		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	人権 / **生指** / 養護 / 栄養	ステージ	ステージ1（選択） / ステージ2（選択） / **ステージ3** / ステージ4
内　容	京都教育大学　准教授　佐藤　美幸 京都教育大学　教授　　小谷　裕実 子どもの発達やＳＳＴの概要及び具体的な支援について学ぶとともに、医療の視点から生涯に渡る一貫した支援について考える。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター・総合教育臨床センター連携講座 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

No. 460	学校における教育相談講座【領域①②③】		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	学校における教育相談活動の留意点や児童生徒理解の視点について学ぶ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	150名
指標観点	**生指** 養護 栄養	ステージ	**ステージ1（選択）** **ステージ2（選択）** ステージ3 ステージ4
内　　容	学校における教育相談活動の留意点を学ぶとともに、深い児童生徒理解につながる見方や考え方の基礎を培う。 ※初級・中級・上級講座受講のためには、本講座を受講することが望ましい。 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法

No. 461	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）		
開催日時	令和　5年　6月30日（金）13:30～17:00	講座のねらい	子どもを理解し、対応するための基本的事項を学び、教育相談における力量の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	**生指** 養護 栄養	ステージ	ステージ1（選択） **ステージ2（選択）** ステージ3 ステージ4
内　　容	京都教育大学大学院　連合教職実践研究科　准教授　安達　知郎 教職員として身に付けたい教育相談の基礎を学ぶ。また、演習を通して児童生徒のこころを感じ、共感的に理解することの大切さについて考える。 ※中級・上級講座の受講には、原則本講座を受講済であること（P．３２参照）。 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法

No. 462	教育相談＜初級＞講座 ～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）		
開催日時	令和　5年　6月23日（金）13:30～17:00	講座のねらい	子どもを理解し、対応するための基本的事項を学び、教育相談における力量の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定　員	75名
指標観点	**生指** 養護 栄養	ステージ	ステージ1（選択） **ステージ2（選択）** ステージ3 ステージ4
内　　容	京都教育大学大学院　連合教職実践研究科　准教授　安達　知郎 教職員として身に付けたい教育相談の基礎を学ぶ。また、演習を通して児童生徒のこころを感じ、共感的に理解することの大切さについて考える。 ※中級・上級講座の受講には、原則本講座を受講済であること（P．３２参照）。 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法

集合

No. 463	教育相談＜中級＞講座Ⅱ ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】		
開催日時	令和　5年11月30日（木）13:30～17:00	講座のねらい	いじめや不登校の防止と解決に必要な教育相談の知識・技能を習得し、子どもを理解し、対応する力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定　員	75名
指標観点	**生指**　養護　栄養	ステージ	ステージ1　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	医療法人社団　ながうちこころのクリニック　理事長・院長　長内　清行 児童生徒のこころと身体の健康や不登校について医療の視点から理解を深め、学校としての対応や医療との連携について学ぶ。 ※受講条件の詳細はP．３２参照 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法

集合

No. 464	教育相談＜中級＞講座Ⅲ ～コロナ禍における不登校の理解と支援～【領域③】		
開催日時	令和　5年　9月　8日（金）13:30～17:00	講座のねらい	いじめや不登校の防止と解決に必要な教育相談の知識・技能を習得し、子どもを理解し、対応する力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定　員	100名
指標観点	**生指**　養護　栄養	ステージ	ステージ1　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	天理大学　教授　千原　雅代 不登校児童生徒を理解するための心理学的な視点を学び、関わりに活かす。また、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、学校における不登校支援の在り方について考える。 ※受講条件の詳細はP．３２参照 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法

集合

No. 465	教育相談＜上級＞講座Ⅰ～思春期の子どものこころーネットの問題がどう影響しているのか～【領域①】		
開催日時	令和　5年11月　6日（月）13:30～17:00	講座のねらい	教育相談に必要な専門的知識・技能の向上とともに、学校の教育相談機能を充実させる中心的な役割を果たすために、子どもの理解を深め、対応する力及びコーディネートする力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定　員	100名
指標観点	**生指**　養護　栄養	ステージ	ステージ1　ステージ2（選択）　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	島根大学　教授　岩宮　恵子 思春期の子どものこころにネットの問題がどのように影響しているのかについて、事例を通して理解を深め、関わりについて考える。 ※受講条件の詳細はP．３２参照 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法

No. 466	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～		
開催日時	令和　5年　8月　4日（金）13:30～17:00	講座のねらい	いじめ、非行、不登校等の諸課題について、子どもたちのこころの視点から見つめ直し、より深い児童生徒理解を促進するとともに、喫緊の教育課題に対する指導力向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	200名
指標観点	生指　養護　栄養	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	奈良女子大学　教授　伊藤　美奈子 子どもが不登校に至る背景や心情など、子どもたちのこころの世界について理解し、必要な対応について学ぶ。 ※事務職員指定講座番号９５７ 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		

No. 467	「今を生きる子どものこころ」講座 ～今、あらためて不登校を考える～《ｅラーニング》		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	いじめ、非行、不登校等の諸課題について、子どもたちのこころの視点から見つめ直し、より深い児童生徒理解を促進するとともに、喫緊の教育課題に対する指導力向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	200名
指標観点	生指　養護　栄養	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	奈良女子大学　教授　伊藤　美奈子 子どもが不登校に至る背景や心情など子どもたちのこころの世界について理解し、必要な対応について学ぶ。 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		

専　門　研　修

（マネジメント）

オンデマンド

No. 501	道徳教育の推進講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	学習指導要領の趣旨を理解し、「特別の教科　道徳」を要とした道徳教育の推進のための方策について考える。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	定員を定めない
指標観点	基本　学習　マネ	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官　浅見　哲也　他 校種に応じた動画を視聴することにより、道徳推進教員としての資質を高める。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

オンデマンド

No. 502	教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	教育法規についての理解を深めるとともに、判例をもとに学校の責任ある行動について考えることを通し、法的思考力を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	基本　マネ	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	指定動画コンテンツを視聴し、講義や判例をもとに学校の責任ある行動について考え、レポートにまとめる。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンデマンド

No. 503	ミドルからはじめるマネジメント講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	これからの教育を見通した学校組織マネジメントについて学び、学校内外に幅広い視野を持ち、地域とともにある学校の実現に向けた学校経営に参画できるミドルリーダーを養成する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	200名
指標観点	マネ	ステージ	ステージ1　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	兵庫教育大学大学院　特任教授　浅野　良一 講義及び協議により、学校組織マネジメントを学校組織の活性化に活用する理念や考え方について理解を深める。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 504 ミドルからはじめる学校の特色づくり講座

オンデマンド

開催日時	P.184参照	講座のねらい	学校内外の環境分析（ＳＷＯＴ分析）の手法を学び、特色ある学校づくりに生かすマネジメント力を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	200名
指標観点	マネ	ステージ	ステージ１　ステージ２(選択)　**ステージ３**　ステージ４
内　　容	滋賀大学教職大学院　教授　大野　裕己 学校内外の環境分析（ＳＷＯＴ分析）の手法を学び、特色ある学校づくりに向けた自身の職務の在り方について考察する。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 505 校内研修の充実講座Ⅰ ～ミドルからはじめるカリキュラム・マネジメントの実践～

オンデマンド

開催日時	P.184参照	講座のねらい	自校の教育目標を達成するための「カリキュラム・マネジメント」の考え方を理解するとともに、勤務校で推進するための実践力を養う。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	200名
指標観点	マネ	ステージ	ステージ１　ステージ２(選択)　**ステージ３**　ステージ４
内　　容	奈良教育大学　教授　赤沢　早人 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、考え方を学ぶとともに、目指す児童生徒の姿に迫るため、組織的に推進する視点や方策について学ぶ。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 506 校内研修の充実講座Ⅱ～ＩＣＴを活用した校内研修～

オンデマンド　集合

開催日時	令和　5年　8月　7日（月）13:30～17:00	講座のねらい	「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団の姿の実現に向けた校内研修改善の視点を学ぶ。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	学習　マネ　チーム	ステージ	ステージ１　ステージ２(選択)　**ステージ３**　ステージ４
内　　容	熊本大学大学院　特任教授　前田　康裕 「新たな教職員の学びの姿」としての「個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた『主体的・対話的で深い学び』」を校内研修において実現させる手立てについて学ぶ。 ※申込・動画視聴については、P. １８５参照 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 507	危機管理講座Ⅰ		
開催日時	令和　5年　7月　7日（金）13:30～17:00	講座のねらい	学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な、学校安全の確保に向けた危機管理能力及び危機対応力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	副・頭、事務長、総、教諭、養、栄、事（小・中・義・高・特支） ※P．１９７参照	定　員	100名
指標観点	マネ	ステージ	ステージ1　ステージ2　ステージ3　**ステージ4**
内　　容	文部科学省総合教育政策局　男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官　森本　晋也 学校安全の現状及び第３次学校安全の推進に関する計画について理解し、各校の安全教育に関する課題を明確にする。また、学校の危機管理及び組織体制の在り方について理解を深め、自校の課題について解決の方策を探る。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 508	危機管理講座Ⅱ		
開催日時	令和　5年　9月29日（金）13:30～17:00	講座のねらい	学校危機の予防策や危機対応の在り方、不審者対応、学校事故等を中心とした学びを通して、危機管理意識の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	副・頭、事務長、総、教諭、養、栄、事（小・中・義・高・特支） ※P．１９７参照	定　員	100名
指標観点	マネ	ステージ	ステージ1　ステージ2　ステージ3　**ステージ4**
内　　容	大阪教育大学　学校安全推進センター長　藤田　大輔 一般財団法人　日本ＡＥＤ財団　理事　　桐淵　　博 学校の教育活動上起こる様々な事故を想定した危機管理マニュアルの的確な運用や校内体制の構築を中心に、危機管理体制と危機管理の在り方について理解を深め、自校の課題について解決の方策を探る。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンライン

No. 509	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座		
開催日時	令和　5年　5月19日（金）13:30～17:00	講座のねらい	年度当初に管理職として必要な特別支援教育、メンタルヘルスの知識を得て、学校経営に生かす。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	校（園）長、副・頭、事務長、総（幼・小・中・義・高・特支）	定　員	200名
指標観点	人権　マネ	ステージ	**ステージ4**
内　　容	鹿児島大学　　名誉教授　松木　　繁 宮城学院女子大学　教授　　梅田　真理 組織的・計画的にメンタルヘルス対策を推進するために、管理職が果たすべき役割について学ぶ。インクルーシブ教育システム構築や合理的配慮の提供等の今日的課題を踏まえ、マネジメントに生かす視点を学ぶ。 連 絡 先　教育相談部（075-612-2959）		

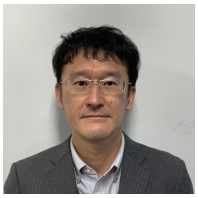
No. 510	最新教育動向講座Ⅰ		
開催日時	令和　5年　6月13日（火）13:30～17:00	講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	150名
指標観点	学習　**マネ**	ステージ	ステージ1　ステージ2　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	大妻女子大学　教授　樺山　敏郎 教務主任・研究主任が学習指導要領のよりよい実施を目指すリーダーとして、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を推進する方策を学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 511	最新教育動向講座Ⅱ		
開催日時	令和　5年11月27日（月）13:30～17:00	講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
会　　場	みやづ歴史の館又は各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	150名
指標観点	**マネ**	ステージ	ステージ3　**ステージ4**
内　　容	岐阜聖徳学園大学　教授　玉置　崇 学校が組織的に機能し、新たな課題にも機動的に対応できる学校運営について学び、各校での実践・改善に繋げる。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

専　門　研　修

（チーム学校）

集合

No. 551	特別支援教育コーディネーター推奨講座【実践】		特支Co
開催日時	令和　5年　8月29日（火）13:30～17:00	講座のねらい	特別支援教育コーディネーターとしての任務内容について具体的実践を基に学ぶとともに、校内の共通理解と支援体制の構築等について学ぶ。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定　員	100名
指標観点	人権　**チーム**	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	兵庫教育大学大学院　教授　岡村　章司 講義や演習を通して、発達障害等への理解を深め、個別最適な支援の在り方、校内の共通理解や支援体制の構築、校内外の連携の在り方について学ぶ。 連 絡 先　特別支援教育部（075-612-2953）		

オンライン

No. 552	コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～（企業連携）		
開催日時	令和　5年10月16日（月）13:30～17:00	講座のねらい	他の教職員の活動に関わり助言・支援することのできるコミュニケーション能力を身に付け、職場での人材育成等に生かす。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	基本　マネ　**チーム**　京都	ステージ	ステージ2　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	教職員の育成にあたり、若手が育つ職場とは何かを考え、ＯＪＴの実践に際しての考え方や計画の立案を学び、コミュニケーションスキルについてグループワーク等を通して学ぶ。 ※事務職員指定講座番号９５８ 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンライン

No. 553	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）		
開催日時	令和　5年10月17日（火）13:30～17:00	講座のねらい	他の教職員の活動に積極的に関わり助言・支援しながら、学校運営に的確に参加し役割を果たすための基本的なコーチングスキルを身に付ける。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	基本　人権　生指　マネ　**チーム**　京都	ステージ	ステージ2（選択）　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	コーチングの基本スキルである傾聴・承認・質問のスキルを用いて、児童生徒や後輩教職員に対する指導・育成手法を学ぶ。また、会議運営の在り方を考える中で、組織の活性化について学ぶ。 ※事務職員指定講座番号９５９ 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 554	企業から学ぶ多様な顧客対応講座 ～信頼関係の構築に向けて～（企業連携）		
開催日時	令和　5年11月17日（金）13:30～17:00	講座のねらい	多様な人材との信頼関係の構築に向けた手法を企業の実践から学ぶ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	80名
指標観点	基本　生指　マネ　**チーム**　京都	ステージ	ステージ2（選択）　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	前半は企業の顧客対応や人材育成、マネジメントの考え方について講義を中心に学ぶことで、学校現場への生かし方を考える。後半は理論についての講義やグループワークを通して、前半の学びを深め信頼関係の構築に向けた具体的方策を考える。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンライン

専　門　研　修

（京都ならではの教育）

集合

No. 601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～		
開催日時	令和　5年　8月　3日（木）13:30～17:00	講座のねらい	地域の歴史、伝統・文化への認識を深め「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用について、構想し実践できる力を養う。
会　　場	京都府立山城郷土資料館		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	学習　京都	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都府立山城郷土資料館　職員 京都府立山城郷土資料館の常設展及び特別展の見学やワークショップ等を通して、地域の歴史と未来について考え、地域教材の活用の方策を考える。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～		
開催日時	令和　5年10月24日（火）13:30～17:00	講座のねらい	地域の歴史、伝統・文化への認識を深め「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用について、構想し実践できる力を養う。
会　　場	京都府立丹後郷土資料館		
受講対象	全教職員	定　員	30名
指標観点	学習　京都	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都府立丹後郷土資料館　職員 京都府立丹後郷土資料館の常設展及び特別展の見学やワークショップ等を通して、地域の歴史と未来について考え、地域教材の活用の方策を考える。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 603	京の教育「みやび」講座		
開催日時	令和　5年　6月13日（火）13:30～17:00	講座のねらい	現在まで受け継がれてきた京都の歴史、伝統・文化の理解を深め、伝統や文化を尊重しつつ多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力を育む教育活動を構想する視点を学ぶ。
会　　場	ちおん舎		
受講対象	全教職員	定　員	50名
指標観点	京都	ステージ	ステージ3　**ステージ4**
内　　容	公益財団法人鷹山保存会 令和４年、鷹山が江戸時代から途絶えていた山鉾巡行に１９６年ぶりに参列し、復活した。保存会の方々から、「伝統を守り継承していくこと」について学び、「京都の伝統と文化を守り、新たな文化を創造する感性の育成」を目指す教育の在り方について考える。　（写真撮影　大道雪代） 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

専　　門　　研　　修

（養護教諭としての専門領域）

集合

No. 651	養護教諭講座		181合同
開催日時	令和　5年　8月　8日（火）13:30～17:00	講座のねらい	今、求められている養護教諭としての役割について理解を深めるとともに、ＩＣＴ活用による職務の効率化と指導力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	養護教諭（幼・小・中・義・高・特支） ※特に、６年目の養護教諭は受講が望ましい	定　員	100名
指標観点	チーム　養護	ステージ	ステージ1（選択）　ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都女子大学　教授　大川　尚子 児童生徒に対する睡眠と疲労と不登校に関する研究で得られた知見から、養護教諭に必要な知識と初期対応について学ぶ。 子どものこころとからだを支援し、「チーム学校」の中で活躍できる養護教諭の新たな役割について学ぶ。 連 絡 先　研修・支援部（075-612-2952）		

専　　門　　研　　修

（栄養教諭としての専門領域）

集合

No. 701	栄養教諭・学校栄養職員講座		188合同
開催日時	令和　5年　7月28日（金）10:30～17:00	講座のねらい	各栄養素の特徴や働きに関する専門的な内容について、「日本人の食事摂取基準」策定の背景等を学ぶことによって深く理解し、献立作成に生かす。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	栄養教諭・学校栄養職員（小・中・義・特支）	定　員	50名
指標観点	栄養	ステージ	ステージ1（選択） ステージ2（選択） ステージ3 ステージ4
内　　容	学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校　校長　渡邊　智子 「日本人の食事摂取基準」策定の背景等を知るとともに、「日本食品標準成分表（八訂）」の改訂のポイントや学校給食における活用にあたっての留意点等を学び、献立作成に生かす方策について考える。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

専　門　研　修

（事務職員講座）

オンデマンド

No. 751	実務初任者「学校事務職員」講座		
開催日時	P.184参照	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	事務職員（小・中・義・高・特支） ※実務担当者のうち概ね６年目までが望ましい。	定　員	30名
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P. ３４～４６）
内　　容	共済事務、給与事務、公務災害・通勤災害、学校施設の維持管理に係る事務能力を養う。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

オンライン

No. 752	校務講座		203合同
開催日時	令和　5年　7月26日（水）13:30～17:00	講座のねらい	学校の施設設備に係る維持管理についての知識技能を高める。ＩＣＴを活用した教育についての現状や課題を学ぶ。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	技術職員、学校施設管理職員（高、特支）	定　員	30名
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P. ３４～４６）
内　　容	ＩＣＴを活用した農業教育の現状と課題を学ぶとともに樹木管理についての必要な知識や技術を習得し、安全に配慮した作業の在り方について理解を深める。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

eラーニング

No. 753	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ		
開催日時	P.189参照	講座のねらい	教育活動への貢献意識を高めるとともに、事務職員としてのＩＣＴを活用した業務改善や実践力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	事務職員（小・中・義・高・特支）、学校施設管理職員（高・特支）	定　員	200名
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P. ３４～４６）
内　　容	ＩＣＴ教育に対する理解を深めるとともにＴｅａｍｓ等を活用した学校業務の改善を考える。 ※事務職員指定講座番号９６０ 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 754	学校事務職員パワーアップ講座Ⅱ		
開催日時	令和　5年10月　6日（金）13:30～17:00	講座のねらい	学校を取り巻く課題について理解を深めるとともに、学校運営に積極的に参画する意識を高め、共同的に解決するための実践力を養う。
会　　場	各所属校（園）又は京都府総合教育センター		
受講対象	事務職員（小・中・義・高・特支）、学校施設管理職員（高・特支）	定　員	200名
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P．３４～４６）
内　　容	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部計画課整備計画室長　廣田　貢 ※研修形態については、申込時に受講管理システムの備考欄に「集合」、「オンライン」のいずれかを入力してください。 ※事務職員指定講座番号９６１ 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 755	府立学校新任事務長講座		
開催日時	令和　5年　5月19日（金）10:30～17:00	講座のねらい	自校の課題解決に向け、学校運営・経営に当たる一員としての知識・理解を深める。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	府立学校新任事務長	定　員	※該当者は全員受講
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P．３４～４６）
内　　容	府立学校事務長 教職員を取り巻く諸課題を把握し、事務長として果たす役割について学ぶ。 ※午後は、講座番号５０９と合同実施 ※講座番号５０９参照 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

指導者養成研修
及び
中核職員養成研修

オンライン

No. 901	小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ	推薦

開催日時	令和　5年　6月　2日（金）13:30～17:00	講座のねらい	理科における主体的・対話的で深い学びへの理解を深め、理科の見方・考え方をはたらかせた授業改善とともに、授業力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・義前） ※教育局長の推薦を受けた者	定　員	20名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都教育大学　教授　谷口　和成 動機付けや認知発達の視点を踏まえた理科の見方・考え方に基づき、科学的思考力を育む理科授業の在り方について学び、自身の授業実践を振り返る。 ※シリーズⅠ～Ⅲを通して受講すること（申込は不要）。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

No. 902	小学校理科授業力向上講座シリーズⅡ	推薦

開催日時	令和　5年　8月24日（木）10:30～17:00	講座のねらい	理科における主体的・対話的で深い学びへの理解を深め、理科の見方・考え方をはたらかせた授業改善とともに、授業力の向上を図る。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭（小・義前） ※教育局長の推薦を受けた者	定　員	20名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都教育大学　教授　谷口　和成 動機付けや認知発達の視点を踏まえた理科の見方・考え方に基づき、科学的思考力を育む理科授業の在り方について作成した指導案を基に研究協議を行い、授業力の向上を図る。 ※シリーズⅠ～Ⅲを通して受講すること（申込は不要）。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

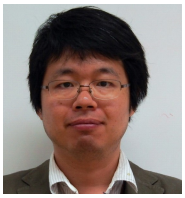
オンライン

No. 903	小学校理科授業力向上講座シリーズⅢ	推薦

開催日時	令和　6年　1月30日（火）13:30～17:00	講座のねらい	理科における主体的・対話的で深い学びへの理解を深め、理科の見方・考え方をはたらかせた授業改善とともに、授業力の向上を図る。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・義前） ※教育局長の推薦を受けた者	定　員	20名
指標観点	学習	ステージ	ステージ1（選択）　**ステージ2（選択）**　ステージ3　ステージ4
内　　容	京都教育大学　教授　谷口　和成 動機付けや認知発達の視点を踏まえた理科の見方・考え方に基づき、科学的思考力を育む理科授業の在り方について、授業実践を基に研究協議を行い、授業力の向上を図る。 ※シリーズⅠ～Ⅲを通して受講すること（申込は不要）。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 904	ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ	推薦	
開催日時	令和　5年　6月20日（火）13:30～17:00	講座のねらい	これからの教育を見通した学校組織マネジメントについて学び、学校内外に幅広い視野を持ち、地域とともにある学校の実現に向けた学校経営に参画できるミドルリーダーを養成する。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支）、事務職員（高・特支の主任、事務主任、専門幹） ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定　員	※詳細は別途連絡
指標観点	マネ	ステージ	ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	兵庫教育大学大学院　特任教授　浅野　良一 講義及び協議により、学校組織マネジメントを学校組織の活性化に活用する理念や考え方について理解を深める。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座 ※シリーズⅠ～Ⅲを通して受講すること（申込不要）。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 905	ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ	推薦	
開催日時	令和　5年　9月19日（火）13:30～17:00	講座のねらい	学校内外の環境分析（ＳＷＯＴ分析）の手法を学び、特色ある学校づくりに生かすマネジメント力を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支）、事務職員（高・特支の主任、事務主任、専門幹） ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定　員	※詳細は別途連絡
指標観点	マネ	ステージ	ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	滋賀大学教職大学院　教授　大野　裕己 学校内外の環境分析（ＳＷＯＴ分析）の手法を学び、特色ある学校づくりに向けた自身の職務の在り方について考察する。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座 ※シリーズⅠ～Ⅲを通して受講すること（申込不要）。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

No. 906	ミドルリーダー養成講座シリーズⅢ	推薦	
開催日時	令和　5年11月10日（金）13:30～17:00	講座のねらい	自校の教育目標を達成するための「カリキュラム・マネジメント」の考え方を理解するとともに、勤務校で推進するための実践力を養う。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	教諭（小・中・義・高・特支）、事務職員（高・特支の主任、事務主任、専門幹） ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定　員	※詳細は別途連絡
指標観点	マネ	ステージ	ステージ2（選択）　ステージ3　ステージ4
内　　容	奈良教育大学　教授　赤沢　早人 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、考え方を学び、カリキュラムを構築、改善及び組織的に推進する視点や方策について学ぶ。 ※シリーズⅠ～Ⅲを通して受講すること（申込不要）。 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 907	小・中学校事務職員リーダー支援講座Ⅰ		推薦
開催日時	令和　5年　6月27日（火）13:30～17:00	講座のねらい	「共同学校事務室」の意義と役割を踏まえ、教育委員会や校長会との連携による推進方策やリーダーとしての役割を考える。
会　　場	京都府総合教育センター		
受講対象	事務職員（小・中・義） ※教育局長の推薦を受けた者	定　員	30名
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P．３４～４６）
内　　容	共同学校事務室の現状や教育委員会、校長会との連携、事務職員育成についての事例を学ぶとともに、事務職員の役割や可能性を探る。また、意見交流を通して対話の手法を学ぶことで、ファシリテーション能力を高める。 ※講座Ⅰ・Ⅱ（講座番号９０７・９０８）を通して受講すること。（申込不要） 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

集合

No. 908	小・中学校事務職員リーダー支援講座Ⅱ		推薦
開催日時	令和　6年　1月23日（火）13:30～17:00	講座のねらい	「共同学校事務室」の意義と役割を踏まえ、教育委員会や校長会との連携による推進方策やリーダーとしての役割を考える。
会　　場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	事務職員（小・中・義） ※教育局長の推薦を受けた者	定　員	30名
指標観点	専門研修（事務職員講座）	ステージ	詳細は研修講座情報一覧（日付順）を参照してください（P．３４～４６）
内　　容	共同学校事務室の１年間の取り組みを通して現状と課題を洗い出し、今後の活性化に向けての解決方策や手法を学ぶ。 ※講座Ⅰ・Ⅱ（講座番号９０７・９０８）を通して受講すること。（申込不要） 連 絡 先　企画研究部（075-612-2950）		

地域教育支援研修

オンライン

No. 510	最新教育動向講座Ⅰ		再掲
開催日時	令和　5年　6月13日（火）13:30～17:00	講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
会　　場	各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	150名
指標観点	学習　マネ	ステージ	ステージ1　ステージ2　**ステージ3**　ステージ4
内　　容	大妻女子大学　教授　樺山　敏郎 教務主任・研究主任が学習指導要領のよりよい実施を目指すリーダーとして、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を推進する方策を学ぶ。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

集合

オンライン

No. 511	最新教育動向講座Ⅱ		再掲
開催日時	令和　5年11月27日（月）13:30～17:00	講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質・能力を高める。
会　　場	みやづ歴史の館又は各所属校（園）		
受講対象	全教職員	定　員	150名
指標観点	マネ	ステージ	ステージ3　**ステージ4**
内　　容	岐阜聖徳学園大学　教授　玉置　崇 学校が組織的に機能し、新たな課題にも機動的に対応できる学校運営について学び、各校での実践・改善に繋げる。 連 絡 先　地域教育支援部（0773-43-2934）		

学校ＤＸ研修

京都府全体のＩＣＴ活用指導力の向上に向けて、
一人一人の活用レベルに応じた研修を実施します。

【市町（組合）立学校】 …… Ｐ．１６７

【府立学校】 …… Ｐ．１７３

京都府総合教育センター
京都府デジタル学習支援センター共催

令和５年度学校ＤＸ研修【市町(組合)立学校】実施要項

１　趣旨

一人一台端末の整備・活用が進む中、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図るとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現し、「主体的・対話的で深い学び」を可能にする効果的なＩＣＴの活用を推進する。

２　受講対象者

京都府内（京都市立の学校を除く。）の市町（組合）立学校の教職員

３　研修メニュー

「学校ＤＸ研修【市町(組合)立学校】講座一覧」（Ｐ．１６９）参照

４　研修形態

オンライン

５　受講申込方法

(1) 受講管理システムにて申込をしてください。
(2) 申込が定員を超過した場合は、人数等を調整することがあります。
(3) 受講管理システムによる申込ができない場合、研修講座受講申込書(様式１)を使用してください。
※研修講座受講申込書（様式１）は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。
(4) 申込に関するお問い合わせは、京都府総合教育センター企画研究部までお願いします。

６　受講申込期間

受講申込期間は、以下のとおりです。

対象講座	受講申込期間
４・５月講座	４/６（木）～４/13（木）
６月講座	４/24（月）～５/８（月）
７月講座	５/22（月）～５/31（水）
８月講座	６/19（月）～６/28（水）
９･10 月講座	７/18（火）～７/27（木）
11･12 月講座	９/４（月）～９/15（金）

７　研修講座の実施要項

京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に、講座実施日の前月 15 日を目途に研修講座の実施要項を掲載しますので、必ず確認してください。(携行品、準備物等を掲載します。)

８　欠席等について

研修講座を欠席・遅刻・早退する場合は、管理職から京都府総合教育センター企画研究部まで連絡してください。

９　受講にあたっての注意事項

⑴ 受講方法

ア　事前に通知するミーティングＩＤ、パスコードを確認し、講座に参加してください。

(ｱ) **マイク、カメラ機能のある端末**を使用し、**原則１人１台**で入室してください。

(ｲ) 通知する入室時間を厳守してください。

イ　表記名は**「氏名_所属校（園）名」（例：京都千太_〇〇立口口小）**としてください。ただし特別な指示がある場合は、その指示に従ってください。

ウ　原則として、資料は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に前日までに掲載します。各自でダウンロードし準備してください。

エ　講座中の背景には個人情報等が映らないよう配慮してください。

⑵ 受講報告

受講後、**原則としてアンケート集計ソフトにより受講報告を提出**してください。（受講報告のＵＲＬリンクは、**講座中**に提示します。）

10　受講履歴

研修履歴一覧表の受講履歴として記録するとともに、単位制履修制度の単位として認定します。

11　その他

⑴ 合理的配慮等

受講の際に合理的配慮が必要な場合は、申込時（講座の１箇月前まで）に管理職から京都府総合教育センター企画研究部まで電話で連絡してください。また、その他、何かありましたらご相談ください。

⑵ 気象警報発表時の対応

気象警報発表時についても、原則として研修講座は実施します。その際に、やむを得ず欠席・遅刻する場合は、管理職から、京都府総合教育センター企画研究部まで連絡してください。

⑶ 問い合わせ先

不明な点は以下にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部　　075-612-2950

〇オンデマンド動画

オンライン講座（対象講座のみ）は、オンデマンド動画として視聴できます。

1　対象となる動画については、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）を御覧ください。

2　オンライン講座実施日の翌月 15 日までに、動画コンテンツを京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載します。

3　資料のある場合は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載します。

4　オンデマンド動画については、**受講報告を提出する必要はありません。**

（受講履歴の記録、単位制履修制度の単位認定はありません。）

学校ＤＸ研修【市町(組合)立学校】講座一覧

初級

801	【初級】校務基礎(Teamsの操作)		オンライン
開催日時	令和５年６月１５日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Teamsの基本操作を学ぶ。 (投稿、共同編集等)		

802	【初級】校務基礎(Formsの操作)		オンライン
開催日時	令和５年６月２１日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Formsの基本操作を学ぶ。 (アンケート作成、収集等)		

803	【初級】校務基礎(情報セキュリティ①)		オンライン
開催日時	令和５年６月２７日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	情報セキュリティについて学ぶ。 (パスワード、データの取扱等)		

804	【初級】授業基礎(iPadの操作)		オンライン
開催日時	令和５年６月２８日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Apple製品エキスパートがお届けするiPad基礎編「iPadを体験しよう」		

805	【初級】授業基礎(ロイロノート①)【808と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１０日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の基本操作について学ぶ。 (資料のやりとり、カード作成等)		

806	【初級】授業基礎(オクリンク①)		オンライン
開催日時	令和５年７月１０日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「オクリンク(ミライシード)」の基本操作について学ぶ。 (ログインから授業活用までの基本操作解説)		

807	【初級】授業基礎(ドリルパーク①)		オンライン
開催日時	令和５年７月１３日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	個別学習ドリル「ドリルパーク(ミライシード)」の基本操作について学ぶ。 (配信・取組状況確認などの基本操作解説)		

808	【初級】授業基礎(ロイロノート①)【805と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月２２日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の基本操作について学ぶ。 (資料のやりとり、カード作成等)		

初級・中級

809	【初級・中級】授業基礎(iPadのカスタマイズ)【810と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年５月１７日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	iPadの便利な設定について学ぶ。 (アクセシビリティ・コントロールセンター)		

810	【初級・中級】授業基礎(iPadのカスタマイズ)【809と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月２７日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	iPadの便利な設定について学ぶ。 (アクセシビリティ・コントロールセンター)		

学校ＤＸ研修【市町(組合)立学校】講座一覧

811	【初級・中級】校務基礎(著作権)		オンライン
開催日時	令和５年８月３日(木)14：00～15：00	定　　員	100名
内　　容	著作権について学ぶ。 (事例から問題点を探る。)		

中級

812	【中級】授業基礎(iPadで動画作品作成)【816と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月７日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学びの成果を簡単にまとめる動画作品の作成について学ぶ。 (Clips)		

813	【中級】授業基礎(iPadでポスター作成)【815と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月８日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	発表用のポスター作成について学ぶ。 (Pages)		

814	【中級】授業基礎(Teams)		オンライン
開催日時	令和５年７月２８日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Teamsを活用した協働型の授業方法について学ぶ。 (課題配信・共同編集等)		

815	【中級】授業基礎(iPadでポスター作成)【813と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月３１日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	発表用のポスター作成について学ぶ。 (Pages)		

816	【中級】授業基礎(iPadで動画作品作成)【812と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月７日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学びの成果を簡単にまとめる動画作品の作成について学ぶ。 (Clips)		

817	【中級】授業基礎(ロイロノート②)【825と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月１９日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の活用方法について学ぶ。 (シンキングツール、テストカード等)		

818	【中級】授業基礎(オクリンク②)		オンライン
開催日時	令和５年９月２２日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「オクリンク(ミライシード)」の活用方法について学ぶ。 (オクリンクのおすすめ活用事例の紹介等)		

819	【中級】校務基礎(情報セキュリティ②)		オンライン
開催日時	令和５年９月２８日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	情報セキュリティについて学ぶ。 (ウイルス対策等)		

820	【中級】授業基礎(iPadの設定)		オンライン
開催日時	令和５年１０月４日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	一人一人に合ったiPadの使い方の工夫について学ぶ。 (ホーム画面の設定等)		

学校ＤＸ研修【市町(組合)立学校】講座一覧

821	【中級】授業基礎(読み書き支援)		オンライン
開催日時	令和５年１０月１７日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	iPadを活用した読むことや書くことへの支援について学ぶ。 (読み上げ機能、音声教材、音声入力等)		

822	【中級】授業基礎(Forms)		オンライン
開催日時	令和５年１０月１９日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Formsを活用した授業方法について学ぶ。 (アンケート・クイズ)		

823	【中級】授業基礎(不登校対応)		オンライン
開催日時	令和５年１１月１日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	ICTを活用した不登校児童生徒への対応について学ぶ。		

824	【中級】授業基礎(ドリルパーク②)		オンライン
開催日時	令和５年１１月９日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	個別学習ドリル「ドリルパーク(ミライシード)」の活用方法について学ぶ。 (自作問題・おすすめ活用事例の紹介等)		

825	【中級】授業基礎(ロイロノート②)【817と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月１４日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の活用方法について学ぶ。 (シンキングツール、テストカード等)		

中級・上級

826	【中級・上級】授業活用(iPadで動画教材作成)【830と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年５月３０日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業用スライドを使った動画教材の作成について学ぶ。 (Keynote・iMovie)		

827	【中級・上級】授業活用(iPadでスライド作成)【831と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月１４日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	デザインを意識したスライド作成について学ぶ。 (Keynote)		

828	【中級・上級】校務活用(iPadの学校行事活用)【832と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月２２日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学校行事での活用について学ぶ。 (カメラ・Keynote・Pages・Garageband)		

829	【中級・上級】校務活用(PowerAutomate①)【833と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月２１日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	欠席連絡の自動化からはじめる校務のデジタル化について学ぶ。		

830	【中級・上級】授業活用(iPadで動画教材作成)【826と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月２２日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業用スライドを使った動画教材の作成について学ぶ。 (Keynote・iMovie)		

学校ＤＸ研修【市町(組合)立学校】講座一覧

831	【中級・上級】授業活用(iPadでスライド作成)【827と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月６日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	デザインを意識したスライド作成について学ぶ。 (Keynote)		

832	【中級・上級】校務活用(iPadの学校行事活用)【828と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月１４日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学校行事での活用について学ぶ。 (カメラ・Keynote・Pages・Garageband)		

833	【中級・上級】校務活用(PowerAutomate①)【829と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月２日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	欠席連絡の自動化からはじめる校務のデジタル化について学ぶ。		

上級

834	【上級】授業活用(ロイロノート)【839と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１３日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」で実現できる協働学習について学ぶ。 (事例の交流、共有ノートの活用方法等)		

835	【上級】校務活用(PowerAutomate②)【838と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月３０日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	活用の要点を整理し、組織的な働き方改革を進めていくための考え方について学ぶ。		

836	【上級】授業活用(オクリンク)		オンライン
開催日時	令和５年９月１９日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習記録管理「カルテ」・教育可視化アプリ「R-PDCA」の活用方法について学ぶ。 (活用の先にあるＩＣＴによる授業改善を目指す。)		

837	【上級】校務活用(情報モラル)		オンライン
開催日時	令和５年１０月２６日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	ネットトラブル対策等について事例から学ぶ。		

838	【上級】校務活用(PowerAutomate②)【835と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月８日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	活用の要点を整理し、組織的な働き方改革を進めていくための考え方について学ぶ。		

839	【上級】授業活用(ロイロノート)【834と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月９日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」で実現できる協働学習について学ぶ。 (事例の交流、共有ノートの活用方法等)		

840	【上級】授業活用(オクリンク・ドリルパーク)		オンライン
開催日時	令和５年１１月１４日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	オクリンク・ドリルパークを活用した先進事例等について学ぶ。 (新機能、協働学習・個別最適学習の実現)		

令和５年度学校ＤＸ研修【府立学校】について

１　趣旨

一人一台端末の整備・活用が進む中、教員のＩＣＴ活用指導力の向上を図るとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現し、「主体的・対話的で深い学び」を可能にする効果的なＩＣＴの活用を推進する。

２　概要

府立学校全教職員（管理職を含む。）を対象として、以下の研修を実施（令和５・６年度）

悉皆研修　　対象者全員がコース毎に指定されたポイント分の講座を選択して受講

○受講対象者

主幹教諭・指導教諭・教諭・実習教諭

○コース

コース		初級コース	中級コース	上級コース
ポイント	Ｒ５	２ポイント	２ポイント	１ポイント
	Ｒ６	２ポイント	２ポイント	１ポイント
受講履歴		研修履歴一覧表に記録		

○研修形態

集合、オンライン、オンデマンド（※）

※オンライン（対象講座のみ）を受講できなかった場合に限り、オンデマンド講座を受講

○申込方法

Excel ファイルに登録（各校で希望をとりまとめて、京都府デジタル学習支援センターへ提出）

○受講までの流れ

受講コース決定・年間受講登録
【学校からの提出期限（４月 26 日（水））】
・希望に応じて、受講コースを決定
・Excel ファイルに希望講座を入力して提出

→

研修受講
【５月～】
・講座を受講
・受講報告を提出

＊詳細は別途通知（令和５年３月下旬）

選択研修　　コースに関わりなく一人一人の希望に応じて受講

○受講対象者

府立学校教職員

○研修形態

オンライン

オンライン講座（対象講座のみ）は、オンデマンド動画として視聴可能（申込不要）

○申込方法

総合教育センター受講管理システムにて申込

「令和５年度教職員研修計画」（Ｐ．１７４）参照

管理職研修　　対象者全員が指定講座（２講座）を受講

○受講対象者

校長・首席副校長・副校長・教頭・総括主事

○研修形態

オンライン、オンデマンド（※）

※オンライン（対象講座のみ）を受講できなかった場合に限り、オンデマンド講座を受講

○申込不要

＊詳細は別途通知（令和５年３月下旬）

令和５年度学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】実施要項

コースに関わりなく一人一人の希望に応じて受講

１　受講対象者

府立学校の教職員

２　研修メニュー

「学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】 講座一覧」（Ｐ．１７６）参照

３　研修形態

オンライン

４　受講申込方法

(1) 受講管理システムにて申込をしてください。

(2) 申込が定員を超過した場合は、人数等を調整することがあります。

(3) 受講管理システムによる申込ができない場合、研修講座受講申込書(様式１)を使用してください。

※研修講座受講申込書（様式１）は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。

(4) 申込に関するお問い合わせは、京都府総合教育センター企画研究部までお願いします。

５　受講申込期間

受講申込期間は、以下のとおりです。

対象講座	受講申込期間
４・５月講座	４/６（木）～４/18（火）
６月講座	４/24（月）～５/11（木）
７月講座	５/22（月）～６/５（月）
８月講座	６/19（月）～７/３（月）
９･10 月講座	７/18（火）～８/１（火）
11･12 月講座	９/４（月）～９/22（金）

６　研修講座の実施要項

京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に、講座実施日の前月 15 日を目途に研修講座の実施要項を掲載しますので、必ず確認してください。(携行品、準備物等を掲載します。)

７　欠席等について

研修講座を欠席・遅刻・早退する場合は、管理職から京都府総合教育センター企画研究部まで連絡してください。

８　受講にあたっての注意事項

(1) 受講方法

ア　事前に通知するミーティングＩＤ、パスコードを確認し、講座に参加してください。

(ｱ) **マイク、カメラ機能のある端末**を使用し、**原則１人１台**で入室してください。

(ｲ) 通知する入室時間を厳守してください。

イ　表記名は**「氏名_所属校（園）名」（例：京都千太_〇〇立□□小）**としてください。ただし特別な指示がある場合は、その指示に従ってください。

ウ　原則として、資料は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に前日までに掲載します。各自でダウンロードし準備してください。

エ　講座中の背景には個人情報等が映らないよう配慮してください。

(2) 受講報告の提出

受講後、**アンケート集計ソフトにより受講報告を提出**してください。（受講報告のＵＲＬリンクは、**講座中**に提示します。）

９　受講履歴

研修履歴一覧表の受講履歴として記録するとともに、単位制履修制度の単位として認定します。

10　その他

(1) 合理的配慮等

受講の際に合理的配慮が必要な場合は、申込時（講座日の１箇月前まで）に管理職から京都府総合教育センター企画研究部まで電話で連絡してください。また、その他、何かありましたらご相談ください。

(2) 気象警報発表時の対応

気象警報発表時についても、原則として研修講座は実施します。その際に、やむを得ず欠席・遅刻する場合は、管理職から、京都府総合教育センター企画研究部まで連絡してください。

(3) 問い合わせ先

不明な点は以下にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部　　075-612-2950

〇オンデマンド動画

オンライン講座（対象講座のみ）は、オンデマンド動画として視聴できます。

1　対象となる動画については、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）を御覧ください。

2　オンライン講座実施日の翌月 15 日までに、動画コンテンツを京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載します。

3　資料のある場合は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載します。

4　オンデマンド動画については、**受講報告を提出する必要はありません。**
（悉皆研修のポイント付与、受講履歴の記録、単位制履修制度の単位認定はありません。）

学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】講座一覧

初級

841	【初級】校務基礎(Teamsの操作)		オンライン
開催日時	令和５年６月１５日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Teamsの基本操作を学ぶ。 (投稿、共同編集等)		

842	【初級】校務基礎(Formsの操作)		オンライン
開催日時	令和５年６月２１日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Formsの基本操作を学ぶ。 (アンケート作成、収集等)		

843	【初級】校務基礎(情報セキュリティ①)		オンライン
開催日時	令和５年６月２７日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	情報セキュリティについて学ぶ。 (パスワード、データの取扱等)		

844	【初級】授業基礎(iPadの操作)		オンライン
開催日時	令和５年６月２８日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Apple製品エキスパートがお届けするiPad基礎編「iPadを体験しよう」		

845	【初級】授業基礎(ロイロノート①)【850と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１０日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の基本操作について学ぶ。 (資料のやりとり、カード作成等)		

846	【初級】授業基礎(Classi①)【849と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１１日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習支援アプリ「Classi」の基本操作について学ぶ。 (機能理解、配信方法、生徒の操作画面等)		

847	【初級】授業基礎(スタディサプリ①)【848と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１２日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	校内活用における「スタディサプリ」の基本操作について学ぶ。 (ログイン、課題配信、学習理解度の把握等)		

848	【初級】授業基礎(スタディサプリ①)【847と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月２０日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	校内活用における「スタディサプリ」の基本操作について学ぶ。 (ログイン、課題配信、学習理解度の把握等)		

849	【初級】授業基礎(Classi①)【846と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月２１日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習支援アプリ「Classi」の基本操作について学ぶ。 (機能理解、配信方法、生徒の操作画面等)		

850	【初級】授業基礎(ロイロノート①)【845と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月２２日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の基本操作について学ぶ。 (資料のやりとり、カード作成等)		

学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】講座一覧

初級・中級

851	【初級・中級】授業基礎(iPadのカスタマイズ)【852と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年５月１７日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	iPadの便利な設定について学ぶ。 (アクセシビリティ・コントロールセンター)		

852	【初級・中級】授業基礎(iPadのカスタマイズ)【851と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月２７日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	iPadの便利な設定について学ぶ。 (アクセシビリティ・コントロールセンター)		

853	【初級・中級】校務基礎(著作権)		オンライン
開催日時	令和５年８月３日(木)14：00～15：00	定　　員	100名
内　　容	著作権について学ぶ。 (事例から問題点を探る。)		

中級

854	【中級】授業基礎(OneNote)		オンライン
開催日時	令和５年５月１８日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	デジタルノートを使う教育的な意義とは？思考の構造化について		

855	【中級】授業基礎(iPadで動画作品作成)【859と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月７日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学びの成果を簡単にまとめる動画作品の作成について学ぶ。 (Clips)		

856	【中級】授業基礎(iPadでポスター作成)【858と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月８日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	発表用のポスター作成について学ぶ。 (Pages)		

857	【中級】授業基礎(Teams)		オンライン
開催日時	令和５年７月２８日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Teamsを活用した協働型の授業方法について学ぶ。 (課題配信・共同編集等)		

858	【中級】授業基礎(iPadでポスター作成)【856と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月３１日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	発表用のポスター作成について学ぶ。 (Pages)		

859	【中級】授業基礎(iPadで動画作品作成)【855と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月７日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学びの成果を簡単にまとめる動画作品の作成について学ぶ。 (Clips)		

学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】講座一覧

860	【中級】授業基礎(ロイロノート②)【870と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月１９日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の活用方法について学ぶ。 (シンキングツール、テストカード等)		

861	【中級】授業基礎(Classi②)【869と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月２０日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習支援アプリ「Classi」の活用方法について学ぶ。 (学習サイクルを意識した活用)		

862	【中級】授業基礎(スタディサプリ②)【868と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月２１日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業内外での幅広い指導サポートに関する「スタディサプリ」の活用法を学ぶ。 (学習・進路・探究指導に活かす。)		

863	【中級】校務基礎(情報セキュリティ②)		オンライン
開催日時	令和５年９月２８日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	情報セキュリティについて学ぶ。 (ウイルス対策等)		

864	【中級】授業基礎(iPadの設定)		オンライン
開催日時	令和５年１０月４日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	一人一人に合ったiPadの使い方の工夫について学ぶ。 (ホーム画面の設定等)		

865	【中級】授業基礎(読み書き支援)		オンライン
開催日時	令和５年１０月１７日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	iPadを活用した読むことや書くことへの支援について学ぶ。 (読み上げ機能、音声教材、音声入力等)		

866	【中級】授業基礎(Forms)		オンライン
開催日時	令和５年１０月１９日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	Microsoft Formsを活用した授業方法について学ぶ。 (アンケート・クイズ)		

867	【中級】授業基礎(不登校対応)		オンライン
開催日時	令和５年１１月１日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	ICTを活用した不登校児童生徒への対応について学ぶ。		

868	【中級】授業基礎(スタディサプリ②)【862と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月１０日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業内外での幅広い指導サポートに関する「スタディサプリ」の活用法を学ぶ。 (学習・進路・探究指導に活かす。)		

869	【中級】授業基礎(Classi②)【861と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月１３日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習支援アプリ「Classi」の活用方法について学ぶ。 (学習サイクルを意識した活用)		

学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】講座一覧

870	【中級】授業基礎(ロイロノート②)【860と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月１４日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」の活用方法について学ぶ。 (シンキングツール、テストカード等)		

中級・上級

871	【中級・上級】授業活用(iPadで動画教材作成)【876と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年５月３０日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業用スライドを使った動画教材の作成について学ぶ。 (Keynote・iMovie)		

872	【中級・上級】校務活用(メタバース)		オンライン
開催日時	令和５年６月６日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	メタバース(仮想空間)とは何か。 事例で学ぶ教育での活用方法		

873	【中級・上級】授業活用(iPadでスライド作成)【877と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月１４日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	デザインを意識したスライド作成について学ぶ。 (Keynote)		

874	【中級・上級】校務活用(iPadの学校行事活用)【878と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年６月２２日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学校行事での活用について学ぶ。 (カメラ・Keynote・Pages・Garageband)		

875	【中級・上級】校務活用(PowerAutomate①)【879と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月２１日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	欠席連絡の自動化からはじめる校務のデジタル化について学ぶ。		

876	【中級・上級】授業活用(iPadで動画教材作成)【871と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月２２日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業用スライドを使った動画教材の作成について学ぶ。 (Keynote・iMovie)		

877	【中級・上級】授業活用(iPadでスライド作成)【873と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月６日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	デザインを意識したスライド作成について学ぶ。 (Keynote)		

878	【中級・上級】校務活用(iPadの学校行事活用)【874と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年９月１４日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学校行事での活用について学ぶ。 (カメラ・Keynote・Pages・Garageband)		

879	【中級・上級】校務活用(PowerAutomate①)【875と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月２日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	欠席連絡の自動化からはじめる校務のデジタル化について学ぶ。		

学校ＤＸ研修【府立学校（選択研修）】講座一覧

880	【中級・上級】授業活用(STEAM教育)		オンライン
開催日時	令和５年１１月６日(月)15：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	STEAM教育について学ぶ。 (STEAMライブラリーの事例から)		

上級

881	【上級】授業活用(スタディサプリ)【889と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１１日(火)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	「スタディサプリ」を活用した先進事例をもとに、学習指導の方法を学ぶ。 (学習効果につながっている具体的な活用方法等)		

882	【上級】授業活用(Classi)【888と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１２日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習支援アプリ「Classi」の先進事例共有と参加先生同士の情報交流		

883	【上級】授業活用(ロイロノート)【887と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年７月１３日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」で実現できる協働学習について学ぶ。 (事例の交流、共有ノートの活用方法等)		

884	【上級】校務活用(PowerAutomate②)【886と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年８月３０日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	活用の要点を整理し、組織的な働き方改革を進めていくための考え方について学ぶ。		

885	【上級】校務活用(情報モラル)		オンライン
開催日時	令和５年１０月２６日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	ネットトラブル対策等について事例から学ぶ。		

886	【上級】校務活用(PowerAutomate②)【884と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月８日(水)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	活用の要点を整理し、組織的な働き方改革を進めていくための考え方について学ぶ。		

887	【上級】授業活用(ロイロノート)【883と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月９日(木)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	授業支援アプリ「ロイロノート」で実現できる協働学習について学ぶ。 (事例の交流、共有ノートの活用方法等)		

888	【上級】授業活用(Classi)【882と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月１０日(金)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	学習支援アプリ「Classi」の先進事例共有と参加先生同士の情報交流		

889	【上級】授業活用(スタディサプリ)【881と同内容】		オンライン
開催日時	令和５年１１月１３日(月)16：00～16：50	定　　員	100名
内　　容	「スタディサプリ」を活用した先進事例をもとに、学習指導の方法を学ぶ。 (学習効果につながっている具体的な活用方法等)		

講座の受講について

１　オンライン研修講座

２　オンデマンド研修講座

３　Ｗｅｂ＋研修（集合）講座

４　Ｗｅｂ＋研修（オンライン）講座

５　ｅラーニング研修講座

Ｗｅｂコンテンツ視聴研修

出前講座

講師対象講座

京の教員特別セミナー

京都府総合教育センター講座の受講について

１　オンライン研修講座

＜遠隔会議システムによる講座の受講＋受講報告提出＞

遠隔会議システムによる講義の受講と受講報告の提出による研修講座です。

研修形態をオンライン研修としている講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する可能性があります。変更等がある場合は事前に通知します。

(1) 受講の流れ・諸注意

ア　事前に通知するミーティングＩＤ、パスコードを確認し、講座に参加してください。

(ｱ) **マイク、カメラ機能のある端末**を使用し、**１人１台**で入室してください。

(ｲ) 通知する入室時間を厳守してください。

イ　表記名は**「氏名_所属校（園）名」（例：京都千太_〇〇立口口小）**としてください。ただし特別な指示がある場合は、その指示に従ってください。

ウ　資料は、原則前日に京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載します。各自でダウンロードしてください。

エ　やむを得ず講座中に一定時間席を離れる場合は、管理職から京都府総合教育センター担当部に電話連絡してください。

オ　講座中の背景には個人情報等が映らないように配慮してください。

(2) 受講報告の提出

「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用)」は、**ＰＤＦ形式**にて講座の実施要項に示されている提出期限までに**担当部宛に電子メール**で提出してください。

また、**電子メールの件名は「講座番号_所属校（園）名」**とし、**ファイル名は「講座番号_氏名_所属校（園）名」**としてください。

なお、受講報告はアンケート集計ソフトを用いて提出する講座もあります。

※講座受講後「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用)」は各所属校（園）にも提出してください。

【提出・連絡先】　※原則、提出された受講報告は返却しません。

担当部	提出アドレス	電話番号
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp	075-612-2950
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp	075-612-2952
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be.ne.jp	075-612-2953
教育相談部	ed-center-soudan@kyoto-be.ne.jp	075-612-2959
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp	0773-43-2934

２　オンデマンド研修講座

＜指定動画コンテンツ視聴＋レポート（受講報告）提出＞

指定動画コンテンツの視聴とレポート（受講報告）の提出による研修講座です。

(1) 令和５年度実施講座

No.	講座名（略称）	指定動画コンテンツ視聴期間	受講申込期間
119	初「地域連携・情報教育」講座	６月５日～７月３日	**不要**
195	新「学校事務職員１」講座	４月18日～５月16日	
200	新「学校施設管理職員１」講座	４月18日～５月16日	
221	２年目教員「ステップアップ１」講座	４月27日～５月12日	
301	ビジネスマナー講座（企業連携）	６月１日～６月30日	**６月講座に準ずる※１**
426	中堅期へのジャンプアップ講座	７月18日～８月25日	**７月講座に準ずる※１**
430	全国学力・学習状況調査活用講座	10月23日～11月30日	**10月講座に準ずる※１**
453	学級、ホームルーム経営講座	８月４日～８月31日	**８月講座に準ずる※１**
455	生徒指導講座	７月24日～８月25日	**７月講座に準ずる※１**
456	はじめての特別支援学級・通級による指導講座※２	６月１日～６月23日	**６月講座に準ずる※１**
458	特別支援教育コーディネーター推奨講座【基礎】※２	７月24日～８月18日	**７月講座に準ずる※１**
501	道徳教育の推進講座	６月１日～９月１日	**６月講座に準ずる※１**
502	教育法規演習講座	８月１日～８月31日	**８月講座に準ずる※１**
503	ミドルからはじめるマネジメント講座	６月28日～７月31日	**６月講座に準ずる※１**
504	ミドルからはじめる学校の特色づくり講座	９月27日～10月31日	**９月講座に準ずる※１**
505	校内研修の充実講座Ⅰ	11月20日～12月25日	**11月講座に準ずる※１**
751	実務初任者「学校事務職員」講座	６月27日～７月18日	**６月講座に準ずる※１**

※１・・・申込についての詳細はＰ．１９７を参照してください。
※２・・・４５６・４５８は動画視聴のための事前登録が必要です。
（下の二次元コードを参照してください。）

なお、上記の講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

(2) 受講の流れ・諸注意

ア　京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）から講義資料等をダウンロードしてください。
※資料等は、原則前日に掲載します。

イ　講座の実施要項を確認し、指定動画コンテンツを視聴してください。

ウ　視聴後、実施要項等で指定された様式にてレポート（受講報告）を作成し、管理職に提出してください。

エ　管理職は提出されたレポート（受講報告）を講座ごとに取りまとめ、**ＰＤＦ形式**にて講座の実施要項に示されている提出期限までに**担当部宛に電子メール**で提出してください。

また、**電子メールの件名は「講座番号_所属校（園）名」**とし、**ファイル名は「講座番号_氏名_所属校（園）名」**としてください。

なお、受講報告はアンケート集計ソフトを用いて提出する講座もあります。

【提出・連絡先】　※原則、提出されたレポート（受講報告）は返却しません。

担当部	提出アドレス	電話番号
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp	075-612-2950
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp	075-612-2952
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be.ne.jp	075-612-2953
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp	0773-43-2934

事前個人登録方法

３　Ｗｅｂプラス（Ｗｅｂ＋）研修（集合）講座

＜指定動画コンテンツ視聴（＋レポート作成）＋センター講座の集合研修を受講＞

集合研修の事前（事後）に指定動画コンテンツ視聴及びレポート作成をする講座です。
動画の視聴方法及び視聴する指定動画コンテンツについては実施要項を参照してください。

(1) 令和５年度実施講座

No.	講座名（略称）	指定動画コンテンツ視聴期間	集合研修実施日	受講申込期間
101	初・新「開講式等」講座（セ）	４月３日～４月19日	４月３日	不要
102	初・新「開講式等」講座（北）	４月３日～４月19日	４月３日	
105	初・新「京の伝統文化体験」講座ａ	７月３日～７月25日	７月25日	
106	初・新「京の伝統文化体験」講座ｂ	７月３日～７月26日	７月26日	
107	初・新「京の伝統文化体験」講座ｃ	７月３日～７月27日	７月27日	
108	初・新「京の伝統文化体験」講座ｄ	７月３日～７月28日	７月28日	
113	初・新「コミュニケーション」講座ａ	８月９日～８月31日	８月31日	
114	初・新「コミュニケーション」講座ｂ	８月18日～９月７日	９月７日	
115	初・新「コミュニケーション」講座ｃ	８月25日～９月14日	９月14日	
116	初・新「コミュニケーション」講座ｄ	９月１日～９月21日	９月21日	
117	初・新「コミュニケーション」講座ｅ	９月22日～10月12日	10月12日	
122	初「道徳教育・生徒指導」講座（セ）	７月27日～８月17日	８月17日	
123	初「道徳教育・生徒指導」講座（北）	７月28日～８月18日	８月18日	
140	初「中学校教科教育２」講座（セ）	６月15日～６月29日	６月29日	
141	初「中学校教科教育２」講座（北）	６月15日～６月29日	６月29日	
142	初「中学校教科教育３」講座（セ）	７月20日～８月３日	８月３日	
143	初「中学校教科教育３」講座（北）	７月20日～８月３日	８月３日	
154	初「高等学校教科教育２」講座（セ）	６月７日～６月22日	６月22日	
155	初「高等学校教科教育２」講座（北）	６月７日～６月22日	６月22日	
156	初「高等学校教科教育３」講座（セ）	７月18日～８月２日	８月２日	
157	初「高等学校教科教育３」講座（北）	７月18日～８月２日	８月２日	
169	初「特別支援学校３」講座	７月19日～８月２日	８月２日	
191	新「栄養教諭７」講座	11月20日～12月５日	12月５日	
197	新「学校事務職員３」講座	６月27日～７月18日	７月18日	
202	新「学校施設管理職員３」講座	６月27日～７月18日	７月18日	
354	子どもの貧困と学習支援講座	６月19日～７月３日	７月３日	**６月講座に準ずる※１**
409	中学校理科授業づくり講座【授業構想編】※２	７月３日～８月10日	８月21日	**７月講座に準ずる※１**
429	学力充実講座	６月５日～６月30日	12月12日	**６月講座に準ずる※１**
439	特別支援学級における授業づくり講座※２	５月25日～６月７日	６月13日	**５月講座に準ずる※１**
440	聴覚障害のある児童生徒の授業づくり講座※２	６月１日～６月14日	６月19日	**６月講座に準ずる※１**
506	校内研修の充実講座Ⅱ	７月３日～８月７日	８月７日	**７月講座に準ずる※１**

※１・・・申込についての詳細はＰ．１９７を参照してください。
※２・・・４０９・４３９・４４０は動画視聴のための事前登録が必要です。
（次頁の二次元コードを参照してください。）

なお、上記の講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

(2) 受講の流れ・諸注意

ア　オンデマンド研修

(ｱ) 京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）から講義資料等をダウンロードしてください。
※資料等は原則前日に掲載します。

(ｲ) 指定された動画コンテンツを視聴してください。

(ｳ) 視聴後、実施要項等で指定された様式にてレポートを作成し、管理職に提出してください。

(ｴ) 管理職は提出されたレポートを取りまとめ、**ＰＤＦ形式**にて講座の実施要項に示されている提出期限までに**担当部宛に電子メール**で提出してください。

また、**電子メールの件名は「講座番号_所属校（園）名」**とし、**ファイル名は「講座番号_氏名_所属校（園）名」**としてください。

なお、レポートはアンケート集計ソフトを用いて提出する講座もあります。

※(ｳ)、(ｴ)が不要となる講座もあります。実施要項を参照してください。

イ　集合研修

(ｱ) 会場にて集合研修を受講してください。

(ｲ) 講座受講後、「研修講座の受講報告（総合教育センター提出用）」を会場で提出してください。
なお、「研修講座の受講報告（学校提出用）」は各所属校（園）に提出してください。

【提出・連絡先】　※原則、提出されたレポートは返却しません。

担当部	提出アドレス	電話番号
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp	075-612-2950
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp	075-612-2952
特別支援教育部	ed-center-tokushi@kyoto-be.ne.jp	075-612-2953
教育相談部	ed-center-soudan@kyoto-be.ne.jp	075-612-2959
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp	0773-43-2934

事前個人登録方法

４　Ｗｅｂプラス（Ｗｅｂ＋）研修（オンライン）講座

＜指定動画コンテンツ視聴（＋レポート作成）＋センター講座のオンライン研修を受講＞

オンライン研修の事前（事後）に指定動画コンテンツ視聴及びレポート作成をする講座です。
動画の視聴方法及び視聴する指定動画コンテンツについては実施要項を参照してください。

(1) 令和５年度実施講座

No.	講座名（略称）	指定動画コンテンツ視聴期間	ｵﾝﾗｲﾝ研修実施日	受講申込期間
109	初・新「健康安全教育」講座ａ	５月11日～５月25日	５月25日	不要
110	初・新「健康安全教育」講座ｂ	５月18日～６月１日	６月１日	
124	初「小学校教科教育１」講座Ａ	４月13日～４月27日	４月27日	
125	初「小学校教科教育１」講座Ｂ	４月20日～５月11日	５月11日	
128	初「小学校教科教育３」講座Ａ	７月６日～７月27日	７月27日	
129	初「小学校教科教育３」講座Ｂ	７月５日～７月26日	７月26日	
138	初「中学校教科教育１」講座（セ）	４月20日～５月11日	５月11日	
139	初「中学校教科教育１」講座（北）	４月20日～５月11日	５月11日	
151	初「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座	10月５日～10月19日	10月19日	
152	初「高等学校教科教育１」講座（セ）	４月27日～５月18日	５月18日	
153	初「高等学校教科教育１」講座（北）	４月27日～５月18日	５月18日	
166	初「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座	10月５日～10月19日	10月19日	
182	新「養護教諭５」講座	８月22日～９月５日	９月５日	
192	新「実習助手１」講座	４月27日～５月18日	５月18日	
251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ｉａ	６月16日～６月23日	６月16日	
252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ｉｂ	６月26日～７月３日	６月26日	
401	小学校国語科教育講座	６月19日～７月７日	７月７日	**６月講座に準ずる※１**
403	中高国語科教育講座	５月22日～６月９日	６月９日	**５月講座に準ずる※１**
404	小学校社会科教育講座	５月29日～６月16日	６月16日	**５月講座に準ずる※１**
405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座	５月30日～６月13日	６月13日	**５月講座に準ずる※１**
421	小中外国語教育講座	６月６日～７月４日	７月４日	**６月講座に準ずる※１**
425	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	10月10日～10月27日	10月27日	**10月講座に準ずる※１**
434	新時代の学びを支えるＩＣＴ教育講座Ｉ	４月19日～12月22日	５月26日	**４月講座に準ずる※１**
454	キャリア教育講座～学びを生かす実践～	11月１日～12月１日	12月１日	**11月講座に準ずる※１**

※１・・・申込についての詳細はＰ．１９７を参照してください。

なお、上記の講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

(2) 受講の流れ・諸注意

ア　オンデマンド研修

(ｱ) 京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）から講義資料等をダウンロードしてください。
※資料等は原則前日に掲載します。

(ｲ) 指定された動画コンテンツを視聴してください。

(ｳ) 視聴後、実施要項等で指定された様式にてレポートを作成し、管理職に提出してください。

(ｴ) 管理職は提出されたレポートを取りまとめ、**ＰＤＦ形式**にて講座の実施要項に示されている提出期限までに**担当部宛に電子メール**で提出してください。

また、**電子メールの件名は「講座番号_所属校（園）名」**とし、**ファイル名は「講座番号_氏名_所属校（園）名」**としてください。

なお、レポートはアンケート集計ソフトを用いて提出する講座もあります。

※(ｳ)、(ｴ)が不要となる講座もあります。実施要項を参照してください。

イ　オンライン研修

(ｱ) 京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）から講義資料等をダウンロードしてください。
※資料等は原則前日に掲載します。

(ｲ) 各所属校（園）にて、オンライン研修を受講してください。

(ｳ) 講座受講後、「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用）」を作成してください。

(ｴ) 「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用）」は、**ＰＤＦ形式**にて講座の実施要項に示されている提出期限までに**担当部宛に電子メール**で提出してください。

また、**電子メールの件名は「講座番号_2_所属校（園）名」**とし、**ファイル名は「講座番号_2_氏名_所属校（園）名」**としてください。

なお、受講報告はアンケート集計ソフトを用いて提出する講座もあります。

※講座受講後「オンライン研修の受講報告（オンライン受講提出用)」は各所属校（園）にも提出してください。

【提出・連絡先】　※原則、提出されたレポート・受講報告は返却しません。

担当部	提出アドレス	電話番号
企画研究部	ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp	075-612-2950
研修・支援部	ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp	075-612-2952
地域教育支援部	ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp	0773-43-2934

５　ｅラーニング研修講座

＜指定動画コンテンツ視聴（＋確認テスト・レポート等の課題）＞

指定動画コンテンツ視聴及び確認テストやレポート等の課題を実施する講座です。
動画の視聴方法及び視聴する指定動画コンテンツについては実施要項を参照してください。

(1) 令和５年度実施講座

No.	講座名（略称）	指定動画コンテンツ視聴期間	受講申込期間
257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳ	11月８日～11月29日	**不要**
304	これからのＩＣＴ教育講座	６月14日～７月５日	**６月講座に準ずる※1**
309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座	５月17日～６月７日	**５月講座に準ずる※1**
310	新任管理職「ハラスメント防止」講座	８月９日～９月６日	**８月講座に準ずる※1**
312	管理職「教育の情報化推進」講座	７月12日～８月２日	**７月講座に準ずる※1**
436	最新ＩＣＴ動向講座	８月９日～９月６日	**８月講座に準ずる※1**
460	学校における教育相談講座【領域①②③】	５月17日～６月７日	**５月講座に準ずる※1**
467	「今を生きる子どものこころ」講座～今、あらためて不登校を考える～《ｅラーニング》	９月13日～10月４日	**９月講座に準ずる※1**
753	学校事務職員パワーアップ講座Ⅰ	５月17日～６月７日	**５月講座に準ずる※1**

※１・・・申込についての詳細はＰ．１９７を参照してください。

なお、上記の講座以外にも、感染症拡大防止等の対応のため、講座の実施形態等を変更する場合があります。変更等がある場合は事前に通知します。

(2) 受講の流れ・諸注意

ア　実施要項記載の方法によりｅラーニング外部サイトへアクセスしてください。
イ　ログインＩＤ/パスワードは、別途通知を御確認ください。
ウ　資料は、ｅラーニング外部サイトからダウンロードしてください。
エ　指定動画コンテンツを選び、視聴してください。
オ　動画視聴後は、コンテンツ内の指示により課題に取り組んでください。
　※従来の「研修講座の受講報告」は提出不要です。

(3) その他

不明な点は各講座担当部にお問い合わせください。

担当部	アドレス	電話番号
企画研究部	**ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp**	**075-612-2950**
教育相談部	**ed-center-soudan@kyoto-be.ne.jp**	**075-612-2959**
地域教育支援部	**ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp**	**0773-43-2934**

Ｗｅｂコンテンツ視聴研修

（※受講管理システムからの申込は必要ありません。）

＜Ｗｅｂコンテンツ視聴＋レポート提出＞

下に示す研究機関や大学のＷｅｂコンテンツを視聴し、レポートを作成・提出することで単位制履修制度における単位が認定される研修です。

１　令和５年度対象Ｗｅｂコンテンツ

	コンテンツ配信機関	視聴動画数	提出レポート数	事前登録
1	独立行政法人教職員支援機構 「ＮＩＴＳのオンライン講座『校内研修シリーズ』」	２コンテンツ	２枚	不要
2	独立行政法人教職員支援機構立命館大学センター 「オンライン教職員研修講座」	１コンテンツ	１枚	不要
3	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 「インターネットによる講義配信」	２コンテンツ	２枚	必要
4	国立大学法人京都教育大学 「先生を“究める”Ｗｅｂ講義」	２コンテンツ	２枚	必要

２　研修の流れ・諸注意

事前個人登録方法

(1) 管理職に連絡の上、対象Ｗｅｂコンテンツを視聴してください。
※独立行政法人国立特別支援教育総合研究所及び国立大学法人京都教育大学のＷｅｂコンテンツ視聴には事前登録が必要です。

(2) 視聴後、「動画（Ｗｅｂ）コンテンツ　視聴レポート」（様式３）を作成してください。
ア　１コンテンツにつき１枚作成してください。
イ　「動画（Ｗｅｂ）コンテンツ　視聴レポート」（様式３）は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。

(3) 作成したレポートを、管理職に提出してください。

３　レポートの提出

管理職は提出された視聴レポート（様式３）を取りまとめ、**ＰＤＦ形式**にて提出期間中に**京都府総合教育センター企画研究部（ed-center-kikaku@kyoto-be.ne.jp）宛に電子メール**で提出してください。

なお、**電子メールの件名は「999_所属校（園）名」**とし、**ファイル名は「999_氏名_所属校（園）名」**としてください。

【提出期間】　※原則、提出されたレポートは返却しません。
前期受付　令和５年７月３日（月）～令和５年８月31日（木）
後期受付　令和５年11月１日（水）～令和５年12月22日（金）

４　単位の認定

(1) 京都府総合教育センターにて視聴レポート（様式３）の内容について審査し、単位認定します。

(2) 単位制履修制度における当該分野の単位として認定し、「総単位数」に充当します。（選択単位には充当されません。）

(3) 採用１年目の教職員についても「総単位数」に充当します。ただし、初任期育成研修で視聴した動画については「Ｗｅｂコンテンツ視聴研修」としての単位認定はしません。

５　その他

不明な点はお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部　075-612-2950

出前講座

学校等のニーズに応え、充実した研修を支援するために出前講座を実施します。

１　派遣先、形態等

派　遣　先	形　　態
○学校出前講座 （小、中、義務教育学校、府立学校） ○学校外出前講座 （市町（組合）教育委員会、教育局、教育研究会等）	センター所員等が学校等を訪問して実施するものです。 ※オンラインによる実施も可能です。

２　内容

「**７　出前講座一覧**」を参考にしてください。
出前講座の内容等の詳細については別途配付する「**出前講座の実施一覧表**」を参照してください。

３　実施時期

(1) 期　間：令和５年６月１日（木）～令和６年２月２９日（木）
日程等の調整は、夏季休業中・夏季休業中以外に分けて行います。
(2) 時間帯：平日の午前９時から午後５時までの必要な時間（90分から半日程度）

４　実施回数

(1) 同一校又は同一機関での同一講座の実施は、**年２回**まで可能です。
京都府小学校教育研究会研究協力校での実施は、年３回までとします。
(2) 実施可能な回数には限度があるため、以下の調整等を行います。
ア　申込状況によっては、希望される日程でお受けできない場合があります。
イ　夏季休業中は、学校からの申込を優先します。

５　申込

(1) 申込方法
ア　実施内容の希望に応じ、「**７　出前講座一覧**」又は別途配付する「**出前講座の実施一覧表**」の**「担当部等」に、電話で問い合わせてください。**
イ　内容、日時等を調整の後、「担当」からの連絡を受け「出前講座」実施申込書（様式４）を電子メール（demae@kyoto-be.ne.jp）又はＦＡＸ（075-612-3267）で提出してください。
電子メールでの申込は、**件名に派遣希望講座の番号及び講座名を明記**してください。
※「出前講座」実施申込書（様式４）は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。

(2) 実施時期及び申込受付期間

実施時期	申込受付期間	決定までの経過
夏季休業中 ７月21日（金） ～ ８月31日（木）	４月19日（水） ～ ５月12日（金）	①担当と電話で内容、日時等を調整 ②受付期間終了後、５月22日（月）までに担当から学校等に日程と担当者等の決定を連絡 ③担当からの連絡を受けて、様式４を電子メール（又はＦＡＸ）で提出
夏季休業中以外	４月20日（木） ～ 申込順に日程調整	①担当と電話で内容、日時等を調整 ②担当からの連絡を受けて、実施可の場合、様式４を電子メール（又はＦＡＸ）で提出

(3) 注意点
夏季休業中の実施を希望する場合、申込時に希望する日時を第３希望までお知らせください。

６　出前講座受講者の旅費

受講者の会場への移動に係る旅費については、センター研修に係る旅費に該当しません。

７　出前講座一覧

番　号	講　座　名	担　当　部　等
Ｄ０１ Ｄ０２ Ｄ０３ Ｄ０４ Ｄ０５	小学校国語科教育講座 小学校社会科教育講座 小学校算数科教育講座 小学校外国語教育講座 小学校道徳教育講座	研修・支援部 075-612-2952
Ｄ０６ Ｄ０７ Ｄ０８ Ｄ０９	小学校理科教育講座 小学校音楽科教育講座 小学校図画工作科教育講座 小学校家庭科教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934
Ｄ１１ Ｄ１２ Ｄ１３ Ｄ１４ Ｄ１５	中学校学力向上講座 中学校国語科教育講座 中学校数学科教育講座 中学校外国語科教育講座 中学校道徳教育講座	研修・支援部 075-612-2952
Ｄ１６ Ｄ１７ Ｄ１８ Ｄ１９	中学校理科教育講座 中学校音楽科教育講座 中学校美術科教育講座 中学校技術・家庭科（家庭分野）教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934
Ｄ２１ Ｄ２２	情報教育講座 カリキュラム・マネジメント講座	企画研究部 075-612-2950
Ｄ３１ Ｄ３２ Ｄ３３	特別支援教育基礎・理解講座 特別支援教育授業づくり講座 特別支援教育におけるＩＣＴ活用講座	特別支援教育部 075-612-2953
Ｄ４１ Ｄ４２	教育相談講座 事例研究講座	教育相談部 075-612-2959
Ｄ５１ Ｄ５２	学校事務職員支援講座 キャリア教育推進講座	地域教育支援部 0773-43-2934
Ｄ６１	ＩＣＴ出前レッスン講座	デジタル学習支援センター 075-606-1323
Ｄ９９	その他 ※上記以外でセンターが必要と認めたもの	企画研究部 075-612-2950

※実施する講座や講座内容の詳細については、別途配付する「出前講座の実施一覧表」で確認してください。

講師対象講座

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の常勤・非常勤講師（講師経験年数を問わない。）を対象とし、講師対象講座を実施します。

１　講師対象講座Ⅰ（Ｎｏ．ＫＴ１）

(1) ねらい

特別支援教育や学習指導における基本事項、生徒指導の基本的な在り方について学び、指導力の向上を図る。

(2) 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の常勤・非常勤講師及び部活動指導員のうち、勤務校の校長が推薦する者

(3) 開催日時・会場

Ｎｏ．ＫＴ１　講師対象講座Ⅰ（センター）

開催日時：令和５年５月 29 日（月）　13：30～17：00

会　　場：京都府総合教育センター

(4) 内容

講義Ⅰ「特別支援教育の基本的な視点」

講義Ⅱ・協議Ⅰ「学習指導の基本事項」（校種別）

講義Ⅲ・協議Ⅱ「生徒指導の在り方」

※Ｎｏ．ＫＴ２で実施する「道徳教育」の講座動画が後日視聴できるパスワードを発行します。

２　講師対象講座Ⅱ（Ｎｏ．ＫＴ２）

(1) ねらい

特別支援教育や学習指導における基本事項、道徳教育の基本的な在り方について学び、指導力の向上を図る。

(2) 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の常勤・非常勤講師及び部活動指導員のうち、勤務校の校長が推薦する者

(3) 開催日時・会場

Ｎｏ．ＫＴ２　講師対象講座Ⅱ（北部）

開催日時：令和５年５月 30 日（火）　13：30～17：00

会　　場：京都府総合教育センター北部研修所

(4) 内容

講義Ⅰ「特別支援教育の基本的な視点」

講義Ⅱ・協議Ⅰ「学習指導の基本事項」（校種別）

講義Ⅲ・協議Ⅱ「道徳教育」

※Ｎｏ．ＫＴ１で実施する「生徒指導の在り方」の講座動画が視聴できるパスワードを発行します。

３　受講申込

(1) 定員

Ｎｏ．ＫＴ１　講師対象講座Ⅰ（センター）　100 名

Ｎｏ．ＫＴ２　講師対象講座Ⅱ（北部）　　70 名

(2) 申込方法　※受講管理システムからの申込はできません。

管理職は受講対象者から希望があった場合、講師対象講座受講申込書（様式５）を使用して申込をしてください。講師対象講座受講申込書（様式５）は京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。

【申込期間】

「研修講座の申込等について　２　受講申込期間」の４・５月講座（Ｐ．１９７を参照してください。）

【申込先】

・小学校、中学校、義務教育学校

所管する市町（組合）教育委員会に申込

・府立学校

京都府総合教育センター企画研究部（ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp）宛に電子メールにて直接申込

４　その他

(1) 受講者の旅費については、センター研修に係る旅費とします。

(2) 受講者の単位認定は行いません。

(3) Ｎｏ．ＫＴ１を受講した者には、「道徳教育」の講座動画が視聴できるパスワードを発行します。

(4) Ｎｏ．ＫＴ２を受講した者には、「生徒指導の在り方」の講座動画が視聴できるパスワードを発行します。

(5) この講座の受講の有無については、教員採用選考には関係しません。

(6) 不明な点は以下にお問い合わせください。

京都府総合教育センター企画研究部　075-612-2950

京の教員特別セミナー

小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校小・中学部の教諭・常勤講師を対象とし、京都大学と京都府教育委員会の連携事業「京の教員特別セミナー　令和５年度小中学校教員理科研修」を実施します。

１　京の教員特別セミナー　令和５年度小中学校教員理科研修（Ｎｏ．９７１）

(1) ねらい

最先端の研究をしている京都大学の様々な分野の研究者からの講義を受けることにより、児童生徒の知的好奇心をくすぐる授業改善に役立てることを目的とする。

(2) 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校小・中学部の教諭・常勤講師

(3) 開催日時・会場

開催日時：令和５年７月 25 日（火）から 27 日（木）までの連続３日間

１日目	７月 25 日（火）	10：00～17：00
２日目	７月 26 日（水）	９：30～17：00
３日目	７月 27 日（木）	９：30～17：00

会　　場：京都大学総合博物館等

(4) テーマ・概要

テーマ　「やってみよう！感じよう！理科の楽しさと不思議さを！」

概　要　京都大学総合博物館等での３日間の研修です。京都大学の先生をはじめ様々な分野の研究者の講演や演習から新たな知識や視点を得て、最終日には受講者間で協働して教材づくり・模擬授業を行います。

２　受講申込

(1) 定員

20名

(2) 申込方法

受講管理システムにて申込をしてください。

※受講管理システムによる申込ができない場合は、研修講座受講申込書（様式１）を使用してください。

３　その他

(1) 詳細については、５月上旬に学校宛通知します。

(2) 不明な点は以下にお問い合わせください。

京都府総合教育センター地域教育支援部　0773-43-2934

研修講座の申込等

研修講座の申込等について

研修講座の申込・欠席等に係る手続きは、以下の内容を確認してください。

１　受講申込方法

(1) 必修講座は、申込不要です。
(2) 選択講座は、受講管理システムにて申込をしてください。
(3) 受講管理システムによる申込ができない場合に、研修講座受講申込書(様式１)を使用してください。
　研修講座受講申込書（様式１）は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。
(4) 推薦講座は、教育局長、府立学校長の推薦が必要です。
(5) 事務職員の指定講座は、「単位制履修制度の概要（Ｐ．２５～２６)」を参照してください。
(6) 出前講座、講師対象講座はそれぞれのページ（Ｐ．１９１～１９４）を参照してください。
(7) 申込に関する問い合わせは、**京都府総合教育センター企画研究部（075-612-2950）**にお願いします。

２　受講申込期間

	小学校、中学校、義務教育学校	府立学校（附属中学校含む。）
４・５月講座	４/６(木)～４/13(木)	４/６(木)～４/18(火)
６月講座	４/24(月)～５/８(月)	４/24(月)～５/11(木)
７月講座	５/22(月)～５/31(水)	５/22(月)～６/５(月)
８月講座	６/19(月)～６/28(水)	６/19(月)～７/３(月)
９･10 月講座	７/18(火)～７/27(木)	７/18(火)～８/１(火)
11･12 月講座	９/４(月)～９/15(金)	９/４(月)～９/22(金)
１・２月講座	10/30(月)～11/13(月)	10/30(月)～11/16(木)

該当者が全員受講対象となっている講座

	申込が必要な講座（受講対象）	
５月講座	No. 309	新任副校長・新任教頭・新任事務長講座 （新任の副校長・教頭・事務長）
	No. 755	府立学校新任事務長講座 （新任の事務長）
７月講座	No. 507	危機管理講座Ⅰ （未受講の副校長・教頭、事務長）
８月講座	No. 310	新任管理職「ハラスメント防止」講座 （新任の校（園）長、副校長・教頭、事務長、総括主事）
９月講座	No. 508	危機管理講座Ⅱ （未受講の副校長・教頭、事務長）
10 月講座	No. 306	副校長・教頭・事務長講座 （No. 307、No. 308 講座の対象者）

申込が不要な講座
〈必修講座〉 （No. 101～No. 259） ・初任期育成研修 ・中堅教諭等資質向上研修 〈推薦講座〉 （No. 901～No. 911） 〈その他〉 （No. 307・No. 308）

３　定員について

申込が定員を超過した場合は、人数等を調整することがあります。

４　欠席・遅刻連絡について

(1) 欠席について

研修講座を欠席する場合は、管理職から電話で連絡してください。特に下の講座は、連絡先等にご注意ください。

	電話連絡先	備考
初任者・新規採用者研修	研修・支援部（075-612-2952）と 市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）	欠席届提出が必要（注） （研修・支援部へ提出） ed-center-kensyu@kyoto-be.ne.jp
ステップアップ研修	「研修講座の実施概要（Ｐ．９９～１０１）」に記載の連絡先	欠席届不要
中堅教諭等資質向上研修	地域教育支援部（0773-43-2934）と 市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）	欠席届提出が必要（注） （地域教育支援部へ提出） ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp
選択・推薦・指定講座	「研修講座の実施概要（Ｐ．１０７～１６５）」に記載の連絡先	欠席届不要

（注）日程等の変更ができる場合は欠席届不要

※欠席届（様式２）（又は、様式９：初任期育成研修 実施の手引き様式等）は、京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）からダウンロードしてください。

(2) 遅刻・早退について

研修講座に遅刻・早退する場合は、管理職から「研修講座の実施概要（Ｐ．６０～１６５）」に記載の連絡先に電話で連絡してください。

５　研修講座の実施要項

京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に、講座実施日の前月 15 日を目処に研修講座の実施要項を掲載しますので、必ず確認してください（携行品、準備物、事前の課題等を掲載します）。

６　受講に当たっての注意事項

(1) 感染症拡大防止の観点から、当日の健康状態等により受講をお断りする場合があります。

(2) 自家用車（自動車、バイク、自転車等）での来所（外部会場を含む。）はお断りします。公共の交通機関を利用してください。

(3) 受講の際に合理的配慮が必要な場合は、申込時（講座日の１箇月前まで）に管理職から京都府総合教育センター担当部（実施概要の連絡先）まで電話で連絡してください。また、その他、何かありましたらご相談ください。

例：身体的理由等の事情で自家用車を利用する。手話通訳、資料の点訳等が必要である。

７　気象警報発表時の対応

気象警報発表時（計画運休を含む。）についても、原則として研修講座は実施します。その際に、やむを得ず欠席・遅刻等する場合は、管理職から、京都府総合教育センターまで連絡してください。

公共交通機関の運休等でやむを得ず中止する場合は京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）に掲載します。

様　式

（様式１）　※受講管理システムによる申込ができない場合に使用
〈学校用〉

令和　　年　　月　　日

京都府総合教育センター所長　様

立　　学　校（園）長
（公印不要）

研修講座受講申込書（　　月分）

受講講座名・受講者氏名等（**氏名の間は、スペース不要**）

講座番号	講座名	実施日	職名	氏　名	教職経験	備考

教職経験欄に**２～６年目研修**の選択講座受講の場合は**「1」（半角）**、
７～15年目研修の選択講座受講の場合は**「2」（半角）**、
16年目以降の研修の場合は**「4」（半角）**を記入してください。
※**講師**が受講する場合は**「0」（半角）**を記入してください。

受講の際に特別な配慮が必要な場合は、申込時に総合教育センター担当部まで御連絡ください。

（様式２）
（様式９：初任期育成研修 実施の手引き）

令和　　年　　月　　日

京都府総合教育センター所長　様

立　　学校（園）

校（園）長　　**（公印不要）**

欠　　席　　届

下記の職員は「　　」の受講を予定しておりましたが、以下の理由により、欠席（します・しました）のでお届けします。

記

職　　名

氏　　名

欠席期日　　令和　　年　　月　　日（　　）

理　　由

校　　務　（　　）

病　　気

そ の 他　（　　）

（様式３）

動画（Ｗｅｂ）コンテンツ　視聴レポート

講 座 番 号※1		講　座　名	
視聴動画名※2	（機関名：　　）		
所 属 校 名	立　　学校　　分校		
職　　名		氏　　名	

※1）Ｗｅｂコンテンツ視聴研修は「９９９」としてください。

※2）Ｗｅｂプラス（Ｗｅｂ＋）講座は記入不要です。

１　動画（Ｗｅｂ）コンテンツの中で学んだ内容を記入してください。

	重要と考えるキーワード	気　付　き　や　感　想　等
1		
2		

２　動画（Ｗｅｂ）コンテンツの内容について、今後の教育実践に役立てたいことを記入してください。

※提出方法、提出先については、教職員研修計画の以下のページを確認してください。

⑴ オンデマンド研修講座（Ｐ．１８４）

⑵ Ｗｅｂプラス（Ｗｅｂ＋）研修講座（Ｐ．１８５～）

⑶ Ｗｅｂコンテンツ視聴研修（Ｐ．１９０）

（様式４）

令和　　年　　月　　日

京都府総合教育センター所長　様

立　　学校（団体名）

校　長　　（公印不要）
（団体責任者）

「出前講座」実施申込書

下記のとおり、申し込みます。

記

1　派遣希望出前講座

番号	出前講座名

2　研修会等の名称

3　参加予定者数

4　日　時：　令和　　年　　月　　日（　　）　　時　　分　～　　時　　分

5　場　所：

6　事前調整

学校等担当者名	学校等担当者連絡先 電話番号	学校等担当者連絡先 メールアドレス
センター担当部	センター担当者	調整日時
		月　　日（　） 調整済

7　連絡事項

（様式５）

令和　　年　　月　　日

京都府総合教育センター所長　様

立　　学校長
（公印不要）

講師対象講座受講申込書

受講講座名・受講者氏名等（**氏名の間は、スペース不要**）

講座番号	講座名	実施日	学校名（○○立○○小学校）	職名	氏　名	校種	選択	備考

受講の際に特別な配慮が必要な場合は、申込時に京都府総合教育センター企画研究部（075-612-2950）まで御連絡ください。

提出先

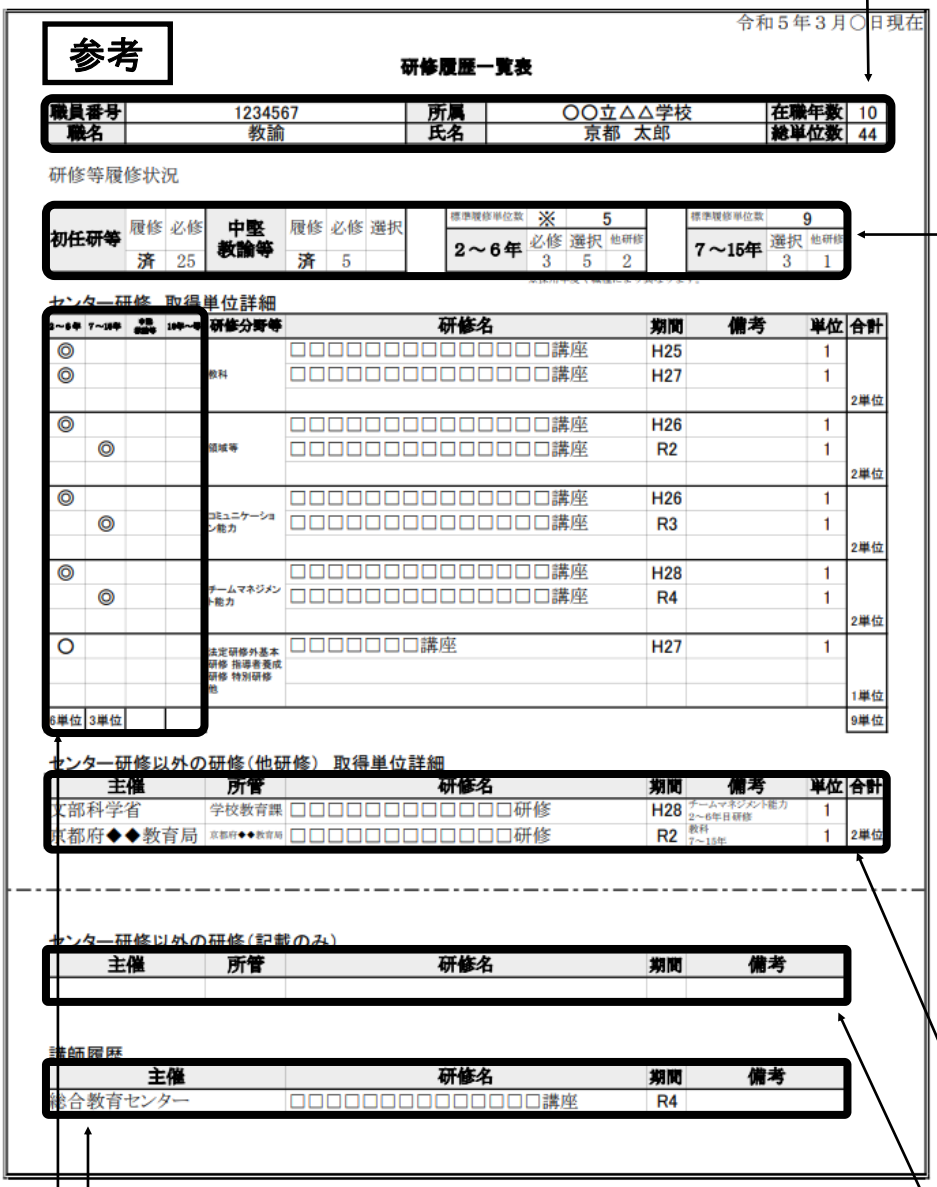
市町（組合）立学校　→　各市町（組合）教育委員会担当課

府立学校　→　京都府総合教育センター企画研究部
（ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp）

研修履歴一覧表の見方

研修履歴一覧表の見方（教諭の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。
総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。



参考

令和５年３月〇日現在

研修履歴一覧表

職員番号	1234567	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	教諭	氏名	京都　太郎	総単位数	44

研修等履修状況

初任研等	履修	必修
	済	25

中堅教諭等	履修	必修	選択
	済	5	

標準履修単位数	※	5		
2～6年	必修	選択	他研修	
	3	5	2	

標準履修単位数	9	
7～15年	選択	他研修
	3	1

センター研修　取得単位詳細

2～6年	7～15年	必修講座	16年～等	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
◎				教科	□□□□□□□□□□□□□□講座	H25		1	
◎					□□□□□□□□□□□□□□講座	H27		1	2単位
◎				領域等	□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	
	◎				□□□□□□□□□□□□□□講座	R2		1	2単位
◎				コミュニケーション能力	□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	
	◎				□□□□□□□□□□□□□□講座	R3		1	2単位
◎				チームマネジメント能力	□□□□□□□□□□□□□□講座	H28		1	
	◎				□□□□□□□□□□□□□□講座	R4		1	2単位
○				法定研修 外基本研修 指導者養成研修 特別研修 他	□□□□□□□講座	H27		1	1単位
6単位	3単位								9単位

センター研修以外の研修（他研修）　取得単位詳細

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	□□□□□□□□□□□□研修	H28	チームマネジメント能力 2～6年目研修	1	
京都府◆◆教育局	京都府◆◆教育局	□□□□□□□□□□□□研修	R2	教科 7～15年	1	2単位

センター研修以外の研修（記載のみ）

主催	所管	研修名	期間	備考

講師履歴

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	□□□□□□□□□□□□□□講座	R4	

研修等履修状況について以下の４つの分類で確認できます。

・「初任研等」
　・・・初任者・新規採用者研修
・「中堅教諭等」
　・・・中堅教諭等資質向上研修
・「２～６年」
　・・・２年目教員ステップアップ研修を含む、２～６年目研修
・「７～15年」
　・・・７～15年目研修

※「初任研等」「中堅教諭等」には必要単位数を満たすと「履修」欄に**「済」**を記載しています。

※「２～６年」「７～15年」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「中堅教諭等」「２～６年」「７～15年」の「選択」欄には「センター研修　取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。

※「２～６年」「７～15年」の「他研修」欄には「センター研修以外の研修（他研修）取得単位詳細」の単位数を記載しています。

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。

講座講師の履歴を記載しています。
（京都府総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座の年期ごとの履修状況について記載しています。

年期ごとの履歴状況を以下の４つの分類で確認できます。

・「２～６年」　・・・２～６年目研修
・「７～15年」　・・・７～15年目研修
・「中堅教諭等」・・・中堅教諭等資質向上研修
・「16年～等」　・・・16年目以降の研修

※初任者・新規採用者研修、中堅教諭等資質向上研修、２年目研修（２年目教員ステップアップ研修）の必修講座については記載していません。
※履修した講座について「◎」又は「〇」を記載しています。
※該当講座が各年期の選択講座の場合には「◎」、該当年期外の場合は「〇」を記載しています。

研修履歴一覧表の見方（事務職員の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。
総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

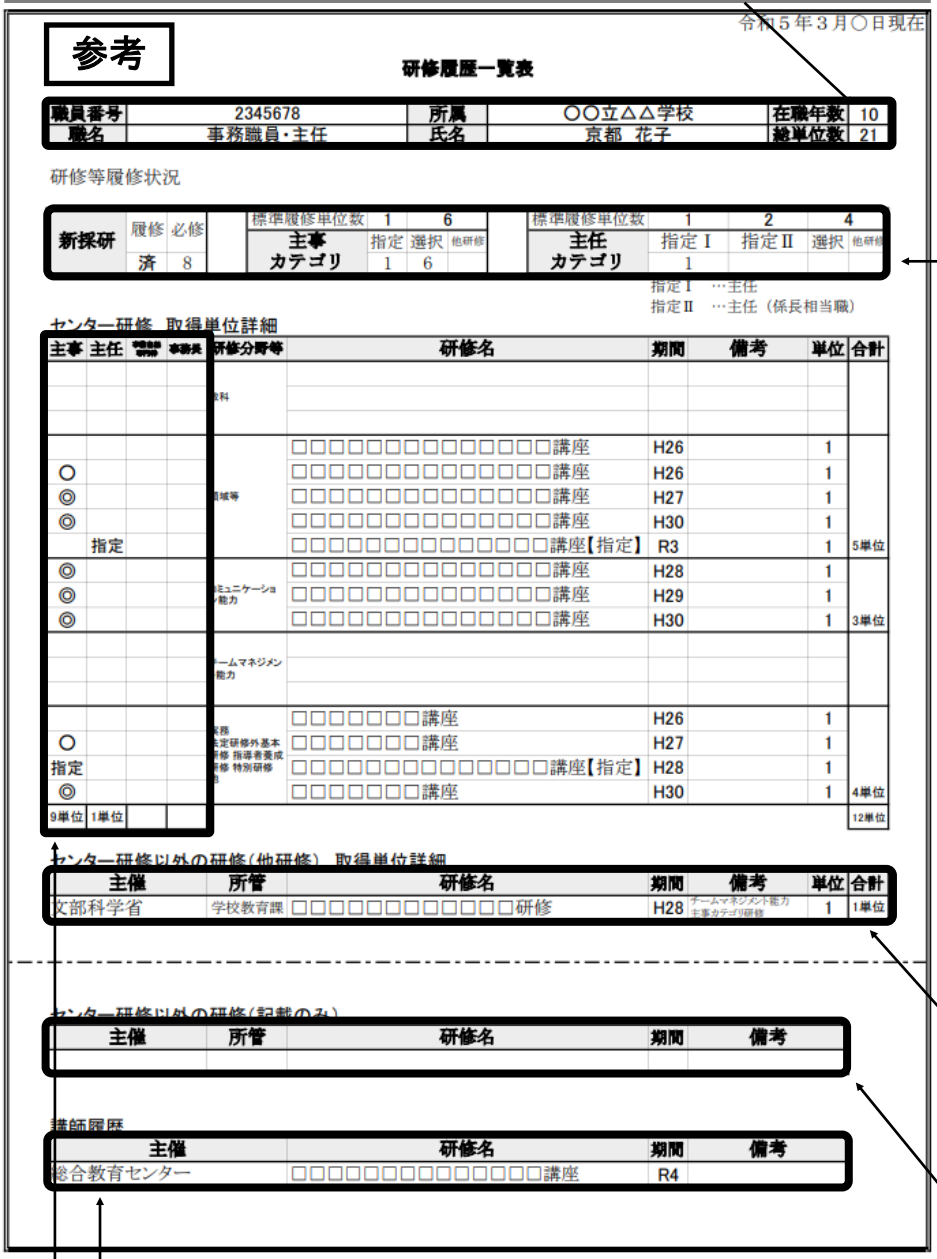
研修等履修状況について以下の３つの分類で確認できます。

- 「新採研」
  ･･･新規採用者研修
- 「主事カテゴリ」
  ･･･主事１・２級在位中に履修の研修
- 「主任カテゴリ」
  ･･･主任・主任（係長相当職）在位中に履修の研修

※「新採研」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「**済**」を記載しています。

※「主事カテゴリ」「主任カテゴリ」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「選択」欄には「センター研修　取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。「指定」欄には「センター研修取得単位詳細」の「指定」の取得単位数を記載しています。「他研修」欄には「センター研修以外の研修（他研修）取得単位詳細」の単位数を記載しています。（平成26年度から）



参考

令和５年３月〇日現在

研修履歴一覧表

職員番号	2345678	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	事務職員・主任	氏名	京都　花子	総単位数	21

研修等履修状況

新採研	履修	必修	標準履修単位数	1	6		標準履修単位数	1	2	4	
	済	8	主事カテゴリ	指定	選択	他研修	主任カテゴリ	指定Ⅰ	指定Ⅱ	選択	他研修
				1	6			1			

指定Ⅰ　…主任
指定Ⅱ　…主任（係長相当職）

センター研修　取得単位詳細

主事	主任	指導主事	事務長	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
				教科					
○				領域等	□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	
◎					□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	
◎					□□□□□□□□□□□□□□講座	H27		1	
	指定				□□□□□□□□□□□□□□講座	H30		1	
◎					□□□□□□□□□□□□□□講座【指定】	R3		1	5単位
◎				コミュニケーション能力	□□□□□□□□□□□□□□講座	H28		1	
◎					□□□□□□□□□□□□□□講座	H29		1	
◎					□□□□□□□□□□□□□□講座	H30		1	3単位
				チームマネジメント能力					
○				実務	□□□□□□□講座	H26		1	
				主任研修外基本	□□□□□□□講座	H27		1	
指定				研修 指導者養成	□□□□□□□□□□□□□□講座【指定】	H28		1	
◎				研修 特別研修	□□□□□□□講座	H30		1	4単位
9単位	1単位								12単位

センター研修以外の研修（他研修）　取得単位詳細

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	□□□□□□□□□□□研修	H28	チームマネジメント能力 主事カテゴリ研修	1	1単位

センター研修以外の研修（記載のみ）

主催	所管	研修名	期間	備考

講師履歴

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	□□□□□□□□□□□□□□講座	R4	

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。（研修等履修状況への記載については、平成26年度から）

講座講師の履歴を記載しています。
（京都府総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座のキャリアステージごとの履修状況について記載しています。

キャリアステージごとの履歴状況を以下の４つの分類で確認できます。

- 「主事」　　･･･主事１・２級在位中に履修の研修
- 「主任」　　･･･主任・主任（係長相当職）在位中に履修の研修
- 「事務主任　専門幹」　･･･事務主任・専門幹在位中に履修の研修
- 「事務長」　　･･･事務長在位中に履修の研修

※新規採用者研修の必修講座については記載していません。
※履修した講座について「◎」「○」「指定」を記載しています。（平成26年度から）
※該当講座が各キャリアステージごとの選択講座の場合は「◎」、指定講座の場合は「指定」、該当キャリアステージ以外の場合は「○」を記載しています。
※平成25年度までに履修の講座については、総単位数にのみ反映しています。

京都府総合教育センター	〒612-0064	京都市伏見区桃山毛利長門西町 TEL (075)612-3266(代)
北部研修所	〒623-0012	綾部市川糸町堀ノ内 TEL (0773)43-2934

京都府総合教育センターホームページ（ＩＴＥＣ）
ＵＲＬ https://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/
E-mail ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp

発行：京都府総合教育センター